

**第6次軽井沢町長期振興計画策定に係る
町民等意向調査（アンケート）
報告書**

**令和3年1月
軽井沢町 総合政策課**

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法・回収状況	1
3	調査結果の見方	2
II	町民アンケート調査結果.....	3
1	回答者属性	3
2	現状について	6
3	地域活動・ボランティア活動について	29
4	軽井沢町の情報発信について	31
5	防災や減災について	33
6	新型コロナウイルスの影響について	34
7	自由意見	37
III	町民評価に基づくCS分析.....	39
IV	別荘所有者アンケート調査.....	44
1	回答者の属性	44
2	軽井沢町について	46
3	自由意見	76
V	町外アンケート.....	78
1	回答者の属性	78
2	都市について	79
3	軽井沢町について	92

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第5次軽井沢町長期振興計画 後期基本計画」を見直し、「第6次軽井沢町長期振興計画」を策定するにあたり、町民及び別荘所有者の方々のまちづくりに関する意見や評価を把握すること、また外部からの視点として東京在住の方の都市イメージを把握し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2 調査の方法・回収状況

本調査においては、対象者別に次の3種類のアンケート調査を実施しました。

① 町民アンケート			
調査の対象	区に加入する全世帯 (区未加入世帯についてはインターネット回答及び窓口配布)		
調査期間	令和2年9月18日(金)～10月26日(月)		
実施方法	【紙】 区長配布・窓口配布による調査票記載 郵送回収 【Web】 配布調査票・広報誌にて、QRコードを表記 インターネット上にて回答		
回収状況	配布数	回収数	回収率
	5,099 票	1,724 票	33.8%
	※区未加入者からの回答は103票あり、合計1,827票の回答 アンケート結果は、1,827票でまとめた		

② 別荘所有者アンケート			
調査の対象	軽井沢町に別荘を所有する方(無作為抽出)		
調査期間	令和2年9月18日(金)～10月12日(月)		
実施方法	【紙】 調査票記載 郵送での配布・回収 【Web】 配布調査票にて、QRコードを表記 インターネット上にて回答		
回収状況	配布数	回収数	回収率
	1,000 票	477 票	47.7%

③ 町外（東京都在住）アンケート		
調査の対象	東京都在住者（リサーチ会社登録者）	
調査期間	令和2年11月19日（木）～11月20日（金）	
実施方法	リサーチ会社が対象者に向けてメールやアプリで配信 インターネット上にて回答	
回答状況	回答数	
	1,236	

3 調査結果の見方

- ◇ 設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- ◇ タイトルの横には、質問形態を記載しています。

SA＝単数回答：「1つに○」など選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA＝複数回答：「あてはまるものすべてに○」など2つ以上の選択を選ぶ質問形態

FA＝文字記述回答

- ◇ 各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示しています。
- ◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- ◇ グラフ・表には、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ◇ 各比率は、小数点第1位以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ◇ 集計結果のコメントでは、○が単純集計について、●がクロス集計についてのコメントを記載しています。
- ◇ 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ◇ 記述回答部分において、施設（事業所）名等を特定できる事項の記載については、黒塗り（記載方法：【●●●】）としている場合があります。

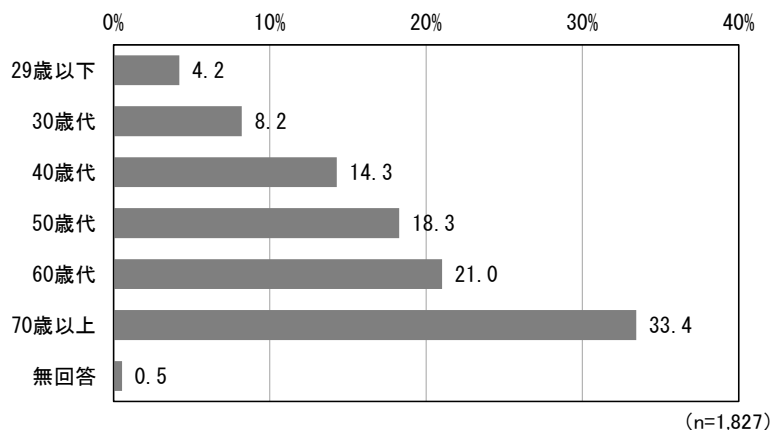
Ⅱ 町民アンケート調査結果

1 回答者属性

Q 1. ①年齢

【SA】

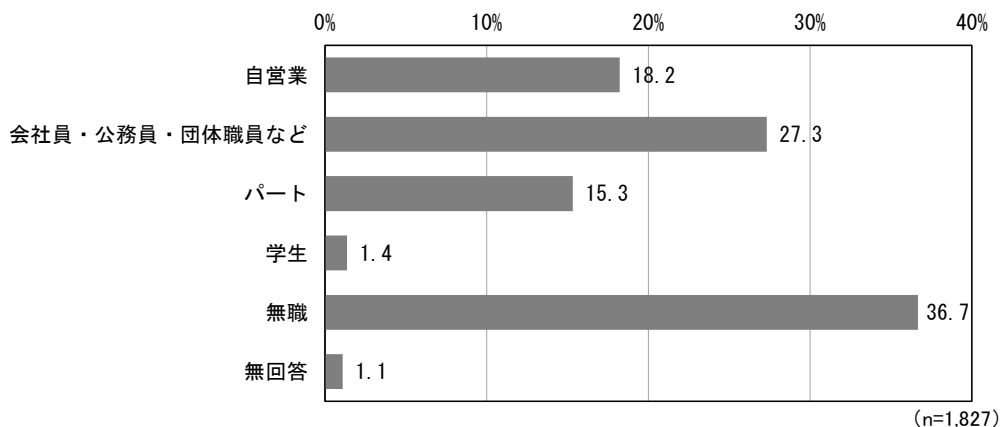
○回答者の年齢は、「70 歳以上」が 33.4%と最も高く、次いで「60 歳代」が 21.0%、「50 歳代」が 18.3%の順となっています。



Q 1. ②職業

【SA】

○回答者の職業は、「無職」が 36.7%で最も高く、次いで「会社員・公務員・団体職員など」が 27.3%、「自営業」が 18.2%の順となっています。



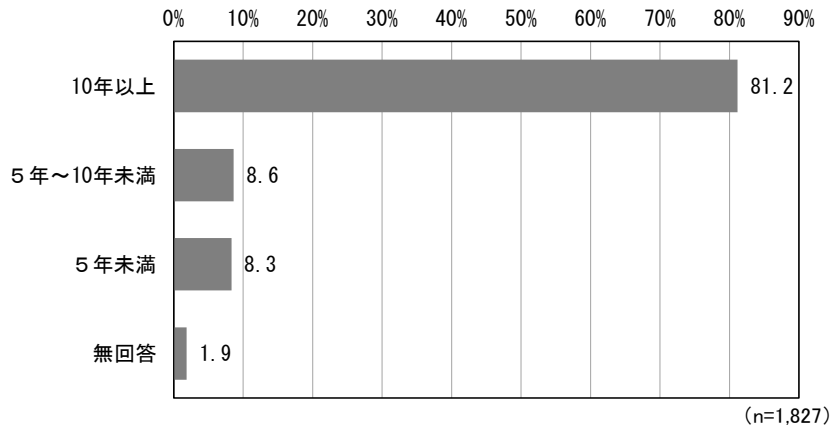
Q1. ③居住歴

【SA】

○軽井沢町での居住歴は、「10 年以上」が 81.2%と最も高く、次いで「5 年～10 年未満」が 8.6%、「5 年未満」が 8.3%の順となっています。

●“30 歳代”及び“40 歳代”は、「5 年～10 年未満」及び「5 年未満」の割合が、他の年齢区分と比較して高くなっています。

●“西地区”は「5 年未満」が 11.0%と他の地区と比較して高くなっています。



		合計	Q1 ③居住歴			
			10年以上	5年～10年未満	5年未満	無回答
全体		1827	1483	158	152	34
		100.0	81.2	8.6	8.3	1.9
Q1 ①年齢	29歳以下	77	66	4	7	0
		100.0	85.7	5.2	9.1	0.0
	30歳代	150	96	23	31	0
		100.0	64.0	15.3	20.7	0.0
	40歳代	261	191	34	34	2
		100.0	73.2	13.0	13.0	0.8
	50歳代	334	268	32	28	6
		100.0	80.2	9.6	8.4	1.8
Q1 ④住まい地区	60歳代	384	321	30	30	3
		100.0	83.6	7.8	7.8	0.8
	70歳以上	611	540	35	21	15
		100.0	88.4	5.7	3.4	2.5
	東地区	357	308	28	18	3
		100.0	86.3	7.8	5.0	0.8
	中地区	757	606	72	65	14
		100.0	80.1	9.5	8.6	1.8
	南地区	143	125	7	9	2
		100.0	87.4	4.9	6.3	1.4
	西地区	545	432	47	60	6
		100.0	79.3	8.6	11.0	1.1

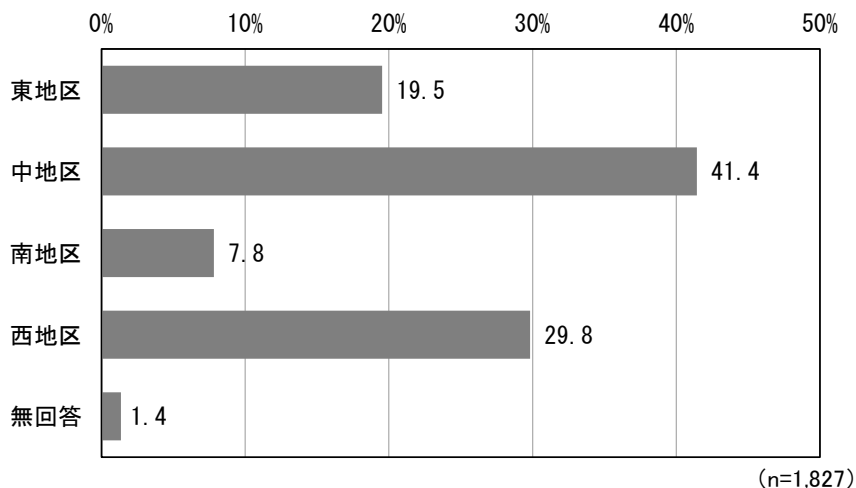
Ⅱ 町民アンケート調査結果

Q1. ④住まい地区

【SA】

○軽井沢町での居住地区については、「中地区」が41.4%で最も高く、次いで「西地区」が29.8%、「東地区」が19.5%、「南地区」が7.8%の順となっています。

●“29歳以下”は、「西地区」40.3%と最も高くなっています。



		合計	Q1 ④住まい地区				
			東地区	中地区	南地区	西地区	無回答
全体		1827 100.0	357 19.5	757 41.4	143 7.8	545 29.8	25 1.4
Q1 ① 年 齢	29歳以下	77 100.0	14 18.2	27 35.1	5 6.5	31 40.3	0 0.0
	30歳代	150 100.0	25 16.7	62 41.3	11 7.3	52 34.7	0 0.0
	40歳代	261 100.0	48 18.4	115 44.1	23 8.8	74 28.4	1 0.4
	50歳代	334 100.0	57 17.1	151 45.2	26 7.8	97 29.0	3 0.9
	60歳代	384 100.0	76 19.8	141 36.7	39 10.2	123 32.0	5 1.3
	70歳以上	611 100.0	137 22.4	261 42.7	38 6.2	167 27.3	8 1.3

※居住地区は下記のとおり

東地区（峠町、小瀬、旧軽井沢、新軽井沢、成沢、南ヶ丘、離山）

中地区（塩沢、中軽井沢、古宿、星野、塩壺、千ヶ滝中区、千ヶ滝西区、鳥井原、油井）

南地区（南軽井沢、馬取、上発地、下発地、杉瓜、風越団地、ニュータウン）

西地区（借宿、大日向、追分、三ツ石、茂沢、浅間台、つくしヶ丘）

2 現状について

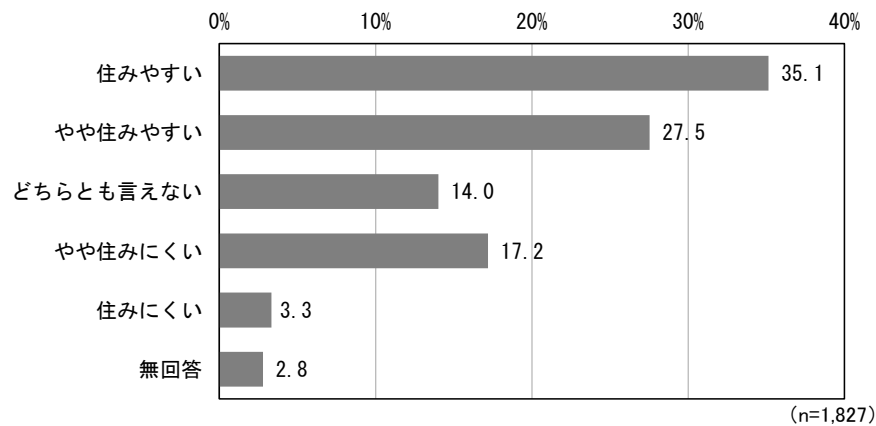
Q2. 軽井沢町の住みやすさについて

【SA】

○住みやすさは、「住みやすい」が 35.1%で最も高く、次いで「やや住みやすい」が 27.5%、「やや住みにくい」が 17.2%の順となっています。

●“29 歳以下”及び“30 歳代”が「やや住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『住みにくい』の割合が高くなっており、それぞれ 26.0%及び 28.7%となっています。

●“南地区”は『住みにくい』の割合が他の地区と比較して高く、25.9%となっています。



		合計	Q2 軽井沢町の住みやすさ					
			住みやすい	やや住みやすい	どちらとも言えない	やや住みにくい	住みにくい	無回答
全体		1827 100.0	642 35.1	503 27.5	256 14.0	314 17.2	61 3.3	51 2.8
Q1 ① 年 齢	29歳以下	77 100.0	22 28.6	20 26.0	15 19.5	16 20.8	4 5.2	0 0.0
	30歳代	150 100.0	41 27.3	47 31.3	18 12.0	42 28.0	1 0.7	1 0.7
	40歳代	261 100.0	79 30.3	85 32.6	28 10.7	52 19.9	11 4.2	6 2.3
	50歳代	334 100.0	125 37.4	89 26.6	38 11.4	64 19.2	11 3.3	7 2.1
	60歳代	384 100.0	120 31.3	117 30.5	65 16.9	71 18.5	7 1.8	4 1.0
	70歳以上	611 100.0	254 41.6	145 23.7	91 14.9	69 11.3	27 4.4	25 4.1
	Q1 ④ 住 ま い 地 区	東地区	357 100.0	124 34.7	89 24.9	45 12.6	70 19.6	18 5.0
	中地区	757 100.0	304 40.2	207 27.3	91 12.0	114 15.1	23 3.0	18 2.4
	南地区	143 100.0	43 30.1	36 25.2	19 13.3	37 25.9	6 4.2	2 1.4
	西地区	545 100.0	166 30.5	166 30.5	97 17.8	92 16.9	12 2.2	12 2.2

Ⅱ 町民アンケート調査結果

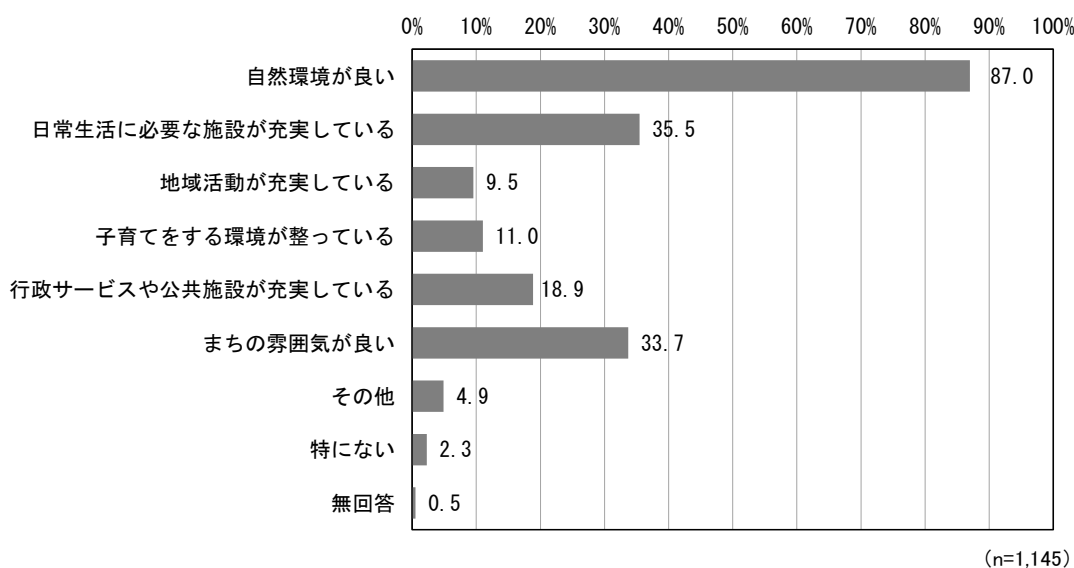
Q2-1 住みやすいと思う点

【MA】

Q2で「住みやすい・やや住みやすい」を選択した方限定

○住みやすいと思う点は、「自然環境が良い」が87.0%で最も高く、次いで「日常生活に必要な施設が充実している」が35.5%、「まちの雰囲気が良い」が33.7%の順となっています。

- 「まちの雰囲気が良い」は、年齢が低くなるにつれて割合が高くなる傾向となっています。
- 「子育てをする環境が整っている」は、“30歳代”及び“40歳代”で他の年齢区分と比較して割合が高くなっています。



		合計	Q2-1 住みやすいと思う点								
			自然環境 が良い	日常生活 に必要な 施設が充 実してい る	地域活動 が充実し ている	子育てを する環境 が整って いる	行政サー ビスや公 共施設が 充実して いる	まちの雰 囲気が良 い	その他	特にな い	無回答
全体		1145 100.0	996 87.0	406 35.5	109 9.5	126 11.0	216 18.9	386 33.7	56 4.9	26 2.3	6 0.5
Q1 ① 年 齢	29歳以下	42 100.0	38 90.5	13 31.0	2 4.8	7 16.7	4 9.5	20 47.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	88 100.0	76 86.4	18 20.5	9 10.2	23 26.1	17 19.3	44 50.0	4 4.5	3 3.4	1 1.1
	40歳代	164 100.0	146 89.0	53 32.3	6 3.7	36 22.0	26 15.9	64 39.0	8 4.9	4 2.4	1 0.6
	50歳代	214 100.0	184 86.0	76 35.5	18 8.4	23 10.7	29 13.6	79 36.9	11 5.1	5 2.3	0 0.0
	60歳代	237 100.0	214 90.3	100 42.2	15 6.3	17 7.2	57 24.1	77 32.5	12 5.1	5 2.1	0 0.0
	70歳以上	399 100.0	337 84.5	146 36.6	59 14.8	20 5.0	83 20.8	102 25.6	21 5.3	9 2.3	4 1.0

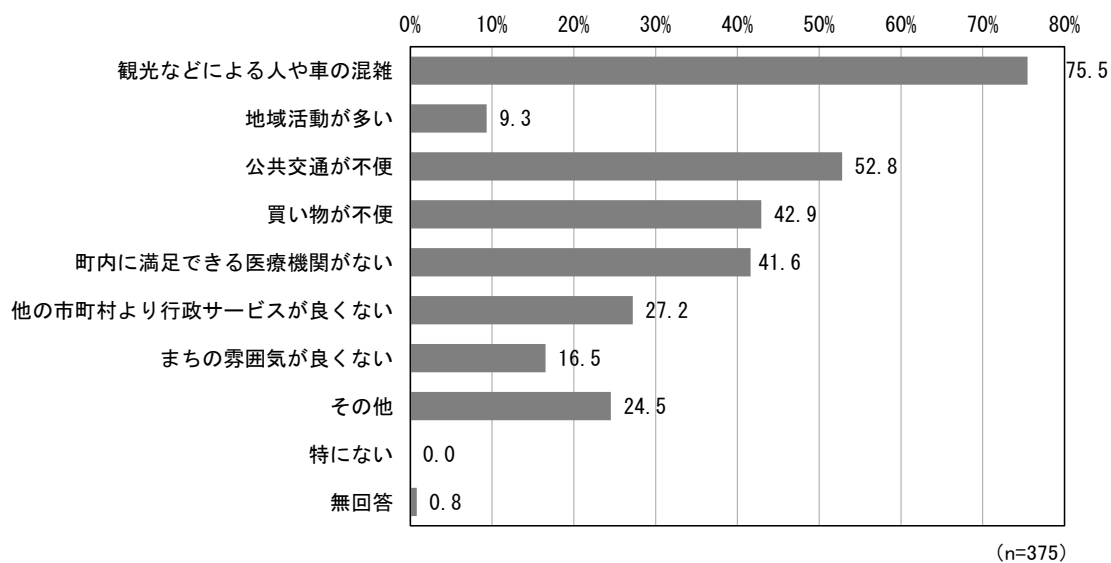
Q2-2 住みにくいと思う点

【MA】

Q2で「住みにくい・やや住みにくい」を選択した方限定

○住みにくいと思う点は、「観光などによる人や車の混雑」が75.5%と最も高く、次いで「公共交通が不便」が52.8%、「買い物が不便」が42.9%の順となっています。

●“40 歳代”で「買い物が不便」及び「町内に満足できる医療機関がない」が他の年齢区分と比較して割合が高くなっています。



		合計	Q2-2 住みにくいと思う点									
			観光など による人 や車の混 雑	地域活動 が多い	公共交通 が不便	買い物が 不便	町内に満 足できる 医療機関 がない	他の市町 村より行 政サービ スが良く ない	まちの雰 囲気が良 くない	その他	特にない	無回答
全体		375 100.0	283 75.5	35 9.3	198 52.8	161 42.9	156 41.6	102 27.2	62 16.5	92 24.5	0 0.0	3 0.8
Q1 ① 年 齢	29歳以下	20 100.0	16 80.0	0 0.0	12 60.0	8 40.0	7 35.0	5 25.0	3 15.0	6 30.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	43 100.0	41 95.3	6 14.0	24 55.8	13 30.2	19 44.2	12 27.9	4 9.3	12 27.9	0 0.0	0 0.0
	40歳代	63 100.0	45 71.4	5 7.9	36 57.1	36 57.1	36 57.1	18 28.6	15 23.8	15 23.8	0 0.0	1 1.6
	50歳代	75 100.0	58 77.3	7 9.3	36 48.0	31 41.3	32 42.7	16 21.3	15 20.0	19 25.3	0 0.0	0 0.0
	60歳代	78 100.0	62 79.5	10 12.8	39 50.0	27 34.6	30 38.5	23 29.5	9 11.5	19 24.4	0 0.0	0 0.0
	70歳以上	96 100.0	61 63.5	7 7.3	51 53.1	46 47.9	32 33.3	28 29.2	16 16.7	21 21.9	0 0.0	2 2.1

Ⅱ 町民アンケート調査結果

【Q. 2－2 住みにくい点「1. 観光などによる人や車の混雑」の改善策】

- 「1. 観光などによる人や車の混雑」を選択していない人も含め 80 人から 92 件の記述回答がありました。

記述内容	件数
道路、信号等整備	35
道路の車線数を増やす。あるいは首都高速のように高架を造る	
主要幹線等の右折車線設置（例：軽井沢バイパス、南ヶ丘、南原入り口）主要幹線沿い等の開発時（ホテル、スーパー等規模による）における右折車線設置（例：パチンコ、100 万ドル入り口、軽井沢バイパスホテルマリオット）	
①中部小学校入り口→道路を拡張し、上り車線に右折車線を②離山信号で旧軽方面からの車が渋滞してしまうので、郷土館方面に迂回路を。③千ヶ滝西武管理事務所方面から千ヶ滝通り右折時困難→ゴールデンウィークやお盆の混雑時だけ信号設置④軽井沢病院から国道右折困難→感知式信号設置⑤プリンス通り高架下をずっと 2 車線にする。そして東軽井沢信号をプリンス通りから六本辻方面へ直進出来るようにする	
佐久 I C から軽井沢町内（国道）を経由せず、軽井沢 I C へ抜ける道路の整備（災害時、高速通行止めへの対応、大型トラック通行への対応）	
・鳥井原、中軽井沢西交差点に右折信号機設置。・農協通り新幹線側道信号を以前の赤、黄信号点滅に戻す。・農協通り、しなの鉄道踏切を高架化、或いはアンダー化。・新幹線側道を延伸し、プリンス通り、バイパス合流まで繋げる。・旧碓氷峠道を安中市と協同し、拡幅・再整備し車の流れをそちらへ回す	
全体的に歩道を広くして、特に中軽井沢あたりは自転車道を作った方がいい	
AI など現在のテクノロジーを駆使し、信号の切り替え頻度などの交通整備を状況に応じ対応するなど	
信濃追分駅周辺道路の拡張	
渋滞緩和のためのバイパスの新設	
交通規制、交通緩和策	17
観光バス、観光目的の車は町に入れない→公共交通手段を充実させる（松江市の様に）	
パークアンドライドを推進	
町内に入る車を有料とする	
町外者の車で来る軽については、通行税等を課す事を考えてもらいたい	
車の混雑に対して、パークアンドライドを進めてほしい	
18 号線バイパス、146 号線以外の町内は車の速度を 30 km 以下とする。特に居住地区（別荘含む）は必須。速度を遅くする事により、騒音をかなり小さく出来る	
1.混雑時期の交通規制（一方通行や時間帯進入制限など）2.渋滞ポイントの交通信号の最適化。例：軽中前信号の点滅を止める。常時左折進入を可能にするなど。	
通り抜け禁止などの看板を有効活用してほしい	
中心部は公共交通機関による交通のみとし、乗用車（観光客等）は周辺の駐車場に停めておく形にする。軽井沢駅～旧軽銀座ロータリー～離山通り～中軽井沢間と路面電車で運行する。（出来れば旧軽ロータリー～峰の茶屋間にも。）	
町内への観光客の車の流入を何とか防ぐ抜本的な方法を考えるしかない。町内の駐車場は、町営以外をなくし、郊外に広い駐車場を確保して、シャトルバスなどで町内へ人を運ぶなどが考えられる。	

Ⅱ 町民アンケート調査結果

記述内容	件数
公共交通の充実	7
18号沿いに路線バスを走らす。三ツ石⇄大賀ホール前まで、往復。渋滞知らずで利用者が増えるでしょう！学生も便利	
循環バスの増便と高齢者観光客 Pass 発行による自家用車数削減	
観光用の路線バスを作る	
西地区のバス便が少ない。スーパーなどの近くに行くバスがあれば、渋滞時もバスを使って行ける	
しなの鉄道等の公共交通を充実させる。	
誘導、混む時間帯表示等	5
混雑する施設に協力いただいてスムーズな誘導をしていただけるよう、ホームページの充実、混む時間表示などしていただく	
プリンスショッピングセンターの駐車場満車が予想できた時点で、色々なツールを利用して情報発信してもらう	
車の混雑の為、渋滞になるのは私道に誘導する際のルールが不十分ではないか？例えば【●●●】への誘導員の教育をする	
インターに向かうしか方法がない人は仕方ありませんが、東京方面へ向かうなら、碓氷バイパスから松井田 IC をすすめることも、分散できていいのではないのでしょうか	
もっと町の渋滞の状態をアナウンス（スマホなど）して、少しでも早く目的地に着くようにしてあげないと、かわいそう。パーキングを広げるのはダメだと思う	
観光客等の受け入れ制限	5
宿泊施設の受入を、たとえば 90%にするなど制限をして頂く	
町のサイズに合った観光客数（400 万人まで）	
観光業の関係者は軽井沢への入客数の拡大を求め、留める事をしない。私のような住民は静かな環境での生活を軽井沢に求めている。バランスの良い入客制限をして欲しい	
トップシーズンに町外者の車の流入を規制する	
県外からの観光客・別荘客に制限をかける	
交通マナー等の順守啓発	4
自転車の交通ルール（軽井沢では歩道を走行）がほとんど認知されていないように思う	
観光客や別荘の方に町のルールやマナーを教える	
交通のマナーを守ってもらえるように対策があると良い	
観光客に人間としての「常識やマナーを守る」協力依頼が必要	
観光依存からの脱却	3
観光に依存しすぎない、住民及び別荘民を見た町政をする	
観光に頼るあまり上記の住みにくさとなっている。観光重視から脱却し、真に「美しい村」とは何かを真剣に考えるべき	
これ以上観光に頼らない事	
車両の使用の減少	3
歩道、自転車道を整備（幅を広げ、段差をなくす）して、車両の使用を少なくする	
マイカー規制	
Ride Share bike（自転車）の夏期導入。道路の舗装が足りていない。公共道路の舗装を促進すれば、自転車も更に乗りやすい	

Ⅱ 町民アンケート調査結果

記述内容	件数
街路樹の管理	3
街路樹の管理（例：予冷库前街路樹の枝が道路に出ている為、大型車が道路真ん中を走行）	
せまい道路にはみ出している樹木切り、広く使えるようにしてほしい	
歩道に段差があったり、狭かったり、自転車で運転するには危険な個所が多すぎる。木も覆い茂り、枝も伸びて道が暗い。毎年整備してほしい	
案内表示、道路情報の提供	2
土地勘のない人が、道路検索で細道へ入り、右往左往しているのが困るので、案内をうまく出来る方法を勘案する	
軽井沢バイパスから借宿バイパス線への道が通り、御代田、佐久方面への移動は楽になった。ただ、マップで調べて実際通るまではどこへつながっているのかわからず、周知不足だなと感じた	
その他	8
繁忙期は我慢	
六本辻、ラウンドアバウトが出来てからの異常な渋滞。ない頃のが渋滞なんてなかった	
シーズン中は外出を控えている	
スーパーなど開店から 1 時間は住民（住所のある人だけにカードを作るなどして）だけの優先時間などを設けてもらいたい	
買いだめをして対応	
観光客が集中する施設と町とで道路・施設混雑の緩和を協議してもらいたい	
スーパーなどでネット宅配や飲食店でのデリバリー(ウーバーイーツなど)を検討して欲しい	
別荘族、地元民共に嫌いですが、地元民を追い出して別荘族だけにすればいい	
合 計	92

Ⅱ 町民アンケート調査結果

【Q. 2－2 住みにくい点「2. 地域活動が多い」の改善策】

○「2. 地域活動が多い」を選択していない人も含め 10 人から 10 件の記述回答がありました。

記述内容	件数
活動の精査、廃止	4
現在たくさんの役がありますが、本当に必要なのでしょうか？良く考え話し合い吟味しても良いのではないのでしょうか？役ばかり多くて受けてくれる人数が足りません。何でも前年に倣いではどうなのでしょう	
区内清掃が年 3 階有り、必要ないと思う（個人的に自宅の回りを清掃すればいいと思う）	
コロナをきっかけに、時代に合わない事業や地域活動は見直した方がよいと思う	
地区活動（回覧板や神社の掃除、班長、防犯ノート）の廃止	
自治会加入の促進	4
区は行政機関の末端であり、住民の連帯に不可欠のものであろう。新たに住民になった方々に対して、区に加入することを条例で義務付ける	
ゴミ収集場所の掃除当番負担です。（自治会加入者の方が少ないため、自治会に加入しない方が楽だと思ってしまう。）真面目にゴミを出しているのが、バカらしく思ってしまうのは良くない	
となり組に入らない人がいます。50 年も組費払ってきました。入らなくても済むのでしたら、もうやめようと思っています。一戸建てに住んでいる人は組費払うようすべき	
新しく町に住む人は地区の活動は絶対条件	
その他	2
地域活動につきましては、各地域に丸投げするのではなく、行政が指導すべきと思います。時代に見合ったやり方で進めたくても、古い方の押し付けがひどくストレスです。小学生の子を持つ親ですが、母親クラブというやりたくもない役員をやらされ、予算を使い切るために必死にイベントの準備から集客までやらされる。仕事も持っている親が通常になっている現代で、その休日をこの役員に費やし、本当にあり得ません。どこに話したら改善されるのでしょうか。実際に母親たちが声をあげても、全然改善しようとしませんよね。やらせるのではなく、それほどやりたければ自分たちでやって下さい	
ごみ拾いは日時を指定しない方が参加しやすい	
合 計	10

Ⅱ 町民アンケート調査結果

【Q. 2－2 住みにくい点「3. 公共交通が不便」の改善策】

○「3. 公共交通が不便」を選択していない人も含め 67 人から 80 件の記述回答がありました。

記述内容	件数
バスの本数、時刻、ルートの改善	34
運行時間、本数を増やす	
バスルートの拡充	
しなの鉄道に乗れるように、バスの時刻を調整希望。朝と夕方、特に中学校、高校の登校時間に合わせ、北廻り、西廻りのバスの本数を増やして欲しい	
町内巡回バスの便利さの調整、巡回路改革、小型化	
循環バスの（西コース追分地区）停留所を増やして欲しい	
軽井沢だけでなく、御代田、佐久にいくバスの便など考えてほしい	
バスは2時間に1本という時間帯があり、「しな鉄」や「新幹線」のダイヤと連動されていないため、とても不便を感じます。ダイヤを合わせることは費用がかかるそうですが、そういう時こそ町が費用を出してもよいのでは	
大日向ですが、軽井沢駅まで行くコミュニティバスがない。午前早朝、午後夕方だけでもいい	
バスが病院止まりなので、軽井沢駅まで走ってほしい	
町内循環バスの本数が少なく、最寄りの停車場が遠くて利用できず大変不便である。本数は1時間に1～2本に増やし、18号バイパスの「ゆとりろ軽井沢ホテル」の辺りに停車場を設けていただきたい	
現行のバス路線では時間が不確かすぎる上、本数が少ない。烏井原方面から発地方面経由での循環は距離が長すぎるため、遅延が生じると思われる。そこでツルヤで中継地点として二つの循環をさせた方が発地、塩沢方面へのアクセスが容易になると思われる	
高齢者のために、佐久・小緒方面の路線バス（大病院への足のため）が絶対必要	
町内バスはせめて1時間に1本、ルートもきめ細かく考えてほしい。又、鉄道も何とか30分に1本運行してもらえないものか。パーク＆ライドなどを推進しようとしても、1時間に1本程度の鉄道では誰も協力しないと思われる	
東京行きの長距離バスの本数も増やしてほしい	
その他交通手段、交通システムの充実	17
必要な方が、必要時に利用できる乗合タクシーのシステムの導入	
デマンド型交通システムの導入。民間委託にて、フレキシブルな交通システム（乗合シティバス、タクシー）	
路面電車やケーブルカー、ロープウェイ	
東京までの在来線があればと思う	
タクシーの乗り合い制（デマンド）	
追分駅などの整備も進めて、信濃鉄道やシャトルバスの利用に依って、軽井沢に向かう拠点とする施策をするべき	
住民と外来者、通過交通による二酸化炭素の排出量はたいへんな量になっていると思われる。軽井沢・横川間の鉄道復活をさせれば世界に名が轟くことでしょう	
循環バスは不要（バス停まで歩けない）。オンデマンドバスの導入を急ぐべき	

Ⅱ 町民アンケート調査結果

記述内容	件数
その他バス関連対策	8
バスの時刻表を一個にまとめて、よりわかりやすく	
「手をあげる」と乗車、「病院医院」前での停車化、などの高齢者（化）対策。「バス停」などの再検討を	
冬、除雪する時もバス停に雪を寄せてしまい、バスの乗り降りに困る。車を所有し車生活の方々にはおわかりにならないと思うが、交通弱者にも心を寄せて欲しい	
バスの停留所を増やしてもらいたい	
高齢者が町を自由に行き来できるよう、年間バスが無料で乗れるパスポートを発行して頂きたい	
タクシーのようなバスの停留所の設定	
巡回バスの停留所を、自由乗降制にしてもらいたい。高齢者が免許返納などで、バスを使う際と停留所が遠いと不便	
マイクロバス、ミニバスの運行	7
一日一往復でも佐久医療センター行きのマイクロバスや乗合タクシーを出してほしい	
公共バスの小型化増便	
これから益々高齢化社会になり、車も運転できなくなるので小さなバスで町内をぐるぐる回ってもらいたい	
ワンボックス車両などでの循環バスを町内至る場所でいつでも利用できるようにして欲しい	
通学の利便性の向上	6
中学へ行くバスの本数が少ない。朝は混んで乗れないという事も聞く。中学行き専用バスがあってもいいのでは	
中学生対象のマイクロバス等を用意していただけるととても助かる	
交通手段、交通機関の充実	4
車の免許を返納した場合の交通手段を充実させてほしい	
公共交通が「空バス」が何台も走っているが、街から離れた地区の場合、きめの細かい公共交通がまったくない	
その他	4
タクシー券の販売をして欲しい。バスの本数を増やすのは難しいと思うので	
町内の移動手段のアイデアを募り、若者の声を聞いてはどうか	
タクシーの運転マナー向上	
住民が公共交通を利用するように促すことが必要	
合 計	80

Ⅱ 町民アンケート調査結果

【Q. 2－2 住みにくい点「4. 買い物が不便」の改善策】

○「4. 買い物が不便」を選択していない人も含め 23 人から 27 件の記述回答がありました。

記述内容	件数
気楽に行ける飲食店を増やす	6
気楽に行ける飲食店を増やす。別荘族向けの高い飲食店だけではなく、リーズナブルな飲食店を増やしてほしい	
観光客向けのオシャレで素敵なレストランが多いのは、とてもいいことですが、小さな子供がいる私にとっては、外食のハードルがかなり高い。座敷があって、子供連れでも気軽に利用できるお店や「ガスト」など、ファミリーレストランがあるとありがたい	
おいしくて安い食べ物屋さん欲しい。いつも町外へ出て食べている。チェーン店開店できるようにお願いしたい	
食料品以外の店の充実	6
住みやすいけど、買い物（食料品以外）は不便すぎる。【●●●】はできても、修理はできないし、売っていないものが多すぎる。携帯ショップが遠すぎる。今の時代にありえない。ドコモの人ばかりじゃないので、考えてほしい。100 均は絶対ほしい	
ベビー用品の買い物に不便。オムツやミルクは薬局でも購入できますが、それでも品数は少なく不十分。衣類は佐久まで行かないと購入できないことがほとんど。ベビー用品専門店（西松屋、バースデーなど）を作っていただきたい	
買物など佐久へ行かないとないものがある。買物が気軽に出来るお店が欲しい	
本屋などのお店が欲しい	
コンビニ、スーパーの充実	3
町内にスーパーが 2 店しかない。もう 1 店あれば、かたよらず分散できるのでは。混雑している時は町外に行ってしまう	
【●●●】の混雑が異常！別荘族、観光客の入店できない”純正の軽井沢住民”のための【●●●】でも作ってほしい。	
【●●●】の混雑を改善していただけたら助かる。ネットスーパーを始めて頂けると助かる人々も多いと思う	
買い物バスの運行	3
ツルヤスーパーなどがお買い物バスを運行して、それを自治体で援助、サポートして欲しい	
買物専用のバス、たとえば、地区のある地点より（スーパーつるや迄）の直通のバスが週二回位出して頂けるとありがたい	
大型店への定期バスの運行があれば良い	
身近な場所に店をつくる	3
町の中にお店を作った方が良い。発地市場みたいに遠くの方に建て、年寄りが不便がってこぼしている	
小売店がなくなり（スーパー）のみで、足がなく不便さがある	
風越市場もあんな遠くの方に作って何を考えているのだろうと思う。もっと近くの人の方に目を向けてほしい。買物難民が多くいるが、みんな黙っている。買物をするお店を作り補助をしていくようにすれば。商工会（町の人）等と連携していかないと役場の人等だけでは発展しないと思う	

Ⅱ 町民アンケート調査結果

記述内容	件数
値段が高い	3
発地市の値段の高さには情けない思いをする。花や、みやげ等、なぜ高いものばかり置くのだろうか。道の駅のイメージは、新鮮かつ値が安いはずなのに。まるでその反対の気がする。軽井沢ブランドをここに押し出すのは住民無視だと思う	
物価が高すぎる	
物価が高い外食系	
その他	3
せめて必需品を自動車なしで購入できる環境がほしい。年配などはかなりご苦労しているようだ	
高齢者、障がい者にとって買い物が不便に対して、社会福祉の充実を考えてもらいたい	
店の分散	
合 計	27

Ⅱ 町民アンケート調査結果

【Q. 2－2 住みにくい点「5. 町内に満足できる医療機関がない」の改善策】

- 「5. 町内に満足できる医療機関がない」を選択していない人も含め 37 人から 37 件の記述回答がありました。

記述内容	件数
軽井沢病院の充実	17
軽井沢病院の外来診療の診療日や診療内容（例えば眼科の場合、新患はだめと言われ、受け付けてもらえませんでした）だめの理由の説明等をホームページ、広報などへくわしく説明すべき	
軽井沢病院のスタッフが長く定着しない。特に医師はなぜすぐ変わってしまうのだろうか。スタッフがもっと働きやすい病院にしてほしい	
軽井沢病院の医師含め、人間的な質の向上	
週 1 しかやっていない科（病院）が多くとても不便なのと、予約がなかなか取れないので、必要な時にわざわざ佐久まで出向く必要がある（出向いた方が所要時間短い）医師の確保をお願いしたい	
軽井沢病院がもう少ししっかり利用しやすい病院になってほしい。町民によりそい、町民のための医療機関であってほしい。やはり、何かあれば佐久まで行ってしまう。救急車を呼ぶほどでもなく、子供がつかうようにしていると 30 分かけて行くのは正直、大変しんどい	
軽井沢病院に町としてももっとお金を出してレベルアップをお願いしたい	
軽井沢病院には毎日診察できる診療科が少ないことなどから、病院の一層の充実策が必要	
医師などの待遇を良くし、良質な医療従事者を増やす。こういう事に多くのお金が使われるべき	
軽井沢病院の診療科目拡大と保険予防医療制度の最新化と強化、特に人間ドックの検査項目がなさすぎる（毎年の胃力メラは不要！）	
産婦人科医、常勤・非常勤も含め、遠方まで行かなくて済むように総合受診可能な医療体制導入	
軽井沢病院の信用性を高めるよう改善して欲しい。救急の際、全く役に立っていない	
町で負担いただき病院内設備と所属する医師を充実させる	
すべての科がいつでも安心して診てもらえる（常勤務医）こと	
医療機関の充実	7
医療機関について更なる向上をお願いしたい	
耳鼻科、皮膚科を増やしてほしい（現在、佐久方面で通院している為	
町内に産科がないのは不便	
町外に行かずにすむ医療を実現して欲しい	
その他	4
医療機関については、住民と非住民で分けるなど。対策ができるのでは	
住民の事を少し考えてほしい。病院支払いカウンターの不親切さ、愛想でなくもう少し良い受け答えをしてほしい	
予防医療に力を入れる	
軽井沢病院では 3 密をさけなければいけない時に、事務員の送別会をやっていたのか、小さな部屋から 14～15 人出て来た時にはビックリした。これも町の問題だ！	

Ⅱ 町民アンケート調査結果

記述内容	件数
軽井沢病院への不満	9
軽井沢病院はパソコンばかりみている医者だし、夜体調悪く電話しても、「整形の先生だからよそへ」とか、平気でいう受付の人？おかしいでしょ。税金の無駄！ろくに入院患者を診ていないから、コロナにも職員がならない	
開業医がいくつも有るが、安心出来る医者とは思わないし、軽井沢病院も安心出来ない	
とくに軽井沢病院は最悪。院長をそろそろ代えてもらいたい。(院長の評判が悪すぎる)	
軽井沢病院の信頼性？	
小さい子供がいる。軽井沢病院へ緊急で TEL しても「みれません」「医療センターへ TEL して」と言われたことがある。不親切だと思う。結局佐久の方に行くことが増えたら佐久市の方が活性化すると思う。病院なのに地域に根付いて運営されているとはとても思えない。軽井沢町に長く住んでいても、軽井沢病院へ行って見てもらおうと思ったことは1度もない	
軽井沢病院へ掛かろうと思わないし、二度といかない。	
「軽井沢病院」は悪いうわさ、悪い評判をよく耳にします。利用している私も納得してしまうことがあります。良医はすぐやめてしまい、昔からいるやめてほしい人が残っているような気がします。もちろん、ドクターばかりが問題ではないと思いますが	
軽井沢病院が全く役に立っていないし、当てにしていない。いらないのでは？	
町立軽井沢病院、不満足。なんとかしてほしい！	
合 計	37

Ⅱ 町民アンケート調査結果

【Q. 2-2 住みにくい点「6. 他の市町村より行政サービスが良くない」の改善策】

○「6. 他の市町村より行政サービスが良くない」を選択していない人も含め 75 人から 83 件の記述回答がありました。

記述内容	件数
道路の整備・補修・維持	16
荒れた舗装道路の再舗装工事（軽井沢は厳冬地区なので、舗装工事技術レベルをより高く設定すべき）。舗装道路へ水道や下水の引き込みをした時、復旧舗装工事をおろそかにしているため、すぐにボロボロの荒れた道路になってしまう。→専門舗装工事業者の厳格な検査を行うように	
開発地域で出来た道路（現在は町道）の修理及び除雪など、自費負担となっている。税金は町民と同じなのに、なぜ町でやってもらえないのか不満である（高井原 湯川ビュータウン内の道路）	
昔からの条例を少し外し、町は別荘で潤っているのに、道路が 4m なければ公道であっても舗装ができない。特例でやったらどうか。別荘所有者だいが怒っている	
歩道が整備されていない。信濃追分駅前道路は危険。（追分の農道）雨池地域、しなの鉄道の下を通るトンネルに雨水や田からの水が流れ、さらに下流へ一気に下るため、道路が河になり、長靴が欠かせない。対策は急務である	
道路沿いの雑草の多さ。消雪工事を冬にやるという馬鹿さ。ひび割れ道路を修繕希望（町内どこ走っても道路がボロボロすぎる）	
旧中軽井沢保育園の前の道路の道幅を広げて欲しい	
国道以外の道路整備、街灯をもっと増やしてほしい。バイパス側の歩道の雑草が伸び放題になっている場所があり、歩きにくい。ひび割れているところもある	
自転車用にきちんと舗装された道を作してほしい（自転車利用者が多いので、歩道では道はガタガタだし、車道は狭いので危ない）	
歩道と自転車専用道を明確に分離し、拡幅と平板化舗装を充実させる	
町、県、国道問わずしっかり手入れをして欲しい	
街灯を増設して	
行財運営の向上	9
行政ルールを守ることを中心とした業務運営ばかりで、住民に豊かな安心して生活できる、徹底した環境整備を行ってもらいたい。ルール改訂は現状に見合う方向でドンドン改めてもらいたい	
軽井沢町の町長さんがどんな町にしたいのか。伝わってこないもので、改善策もみつからない	
道路行政は住民の意見を十分聞いて	
高齢化の進む人口で、町はどのように考えている？行政サービスをもっと他町村と比べて検討してみても？	
夏は都会で軽井沢の人は肩身が狭い。冬になると不便で日常生活のお店がない。行政サービスでも都会の人の方に向いている	
首都圏の独自行政サービス（要綱など参照でもわかる）を研究し、軽井沢への取り入れ可能なものを検討する	
各地域の特性に見あったサービスの提供	
行政機関が遠すぎる、土日やっている支援が無い	
ゴミ収集・処理の改善	8
ゴミの収集場所が少なく、遠い所ばかりで、特に高齢者にとっては大きな問題と思われる。ゴミ収集場所の増設を願う	

Ⅱ 町民アンケート調査結果

記述内容	件数
ゴミ収集・処理の改善（つづき）	
ゴミ捨て場所を自治会毎にあって欲しい。少なくとも車で2～3分（最低でも）	
なぜ老人が生活者として大半を占めているのに、ゴミを今のような形でしか持って行けないのか？全く理解できない。老人には無理	
行政職員の資質・対応の向上	7
もっと親身になって行政サービスを行ってほしい。“サービス”と名の付く仕事をしているなら、役人目線ではなく、サービスの利用者目線で仕事することを心掛けて下さい	
役場の人間の対応が悪すぎるので、改善したほうがいい。メールなどで問い合わせをしても、返信が来ない	
町職員の勉強不足（年金や税金等）が目立つと思います。また、住民ファーストの態度に欠けるように思います。田舎の役場を脱し切れていない	
行政の出張窓口の充実	
施設・公園等の整備充実	6
追分駅の活用を考えてほしい。ギャラリーや。新しい居住者の人たちと今まで住まれている人たちの交流の場に	
文化施設が貧弱。（エコール御代田クラスのものがあるが。）	
里山公園の整備	
公園に最低1km程度の外周ジョギング専用コースを作る	
追分地区の公園設備の無さ	
地元の人が集まれる公園や施設を増やしてほしい	
税収対策、税の配分、減税	6
大手企業（プリンス）などに税収を依存しない町作りを。「ふるさと納税」などの積極的な運用による町全体の革新化	
町民が使いやすい施設などにお金を使ってほしい	
箱物に税金を使い過ぎ。住民サービスにお金を使うべき	
固定資産税を減税	
町民税減額	
上下水道の整備、都市ガスの導入	4
上下水道の整備	
都市ガスの導入、広範囲な下水道の整備	
子育て支援の充実	4
るるぱるの更なる充実	
保育時間やベビーシッター制度の整備、行政で整備が難しいようなら民間の企業を誘致	
保護者の勤務状況に合わせた年度区切りではない子育て支援サービスの提供	
佐久市は子供支援がとても充実しているときく。軽井沢町で佐久市や他の市町村がやっていなくて、軽井沢町は取り組んでいる！というような子供達への政策などは果たしてあるのか！？	
高齢者支援の充実	3
老人サービスをもう少しふやす	
年配の人の買い物対策！長く住んでもらえるように	
役場職員の方々には、知識を十分に持って頂き、住民課、税務課、福祉課等、どこに問い合わせても一連のサービスがスムーズに受けられる様、今後増え続ける高齢者とその家族の生活を積極的にサポートして頂きたい	

Ⅱ 町民アンケート調査結果

記述内容	件数
施設利用の利便性の向上	3
総合体育館のスタジオ利用を、現行の各スタジオに利用料（参加料）を徴収するのではなく、回数券などで全てのスタジオを利用できるようにしたり、町の助成によって金額を低く出来れば、利用参加者が増え活性化すると思う	
図書館の利用時間の延長希望。南口（中軽井沢）にも図書館利用者用に駐車場を無料にしてほしい。ただ広場があるのではなく、いろいろなスポーツができる設備が無料で使える場所がほしい	
公的施設＝公民館やスポーツ施設 の案内や予約を一元化してもらいたい。区で管理するもの、町で管理するもの、管理委託者が管理するもの とバラバラなので	
除雪の充実	3
冬の時期の除雪作業をもっと充実させて欲しい	
除雪の件で困っている。高齢者での雪かきは大変である為、大通りだけでなく、できるだけ住宅地の中もお願いしたい	
地域福祉の推進	2
地域活動、となり組の協力を復活。ボランティアの育成	
自助、自衛のまちづくりの推進	
防災対策の充実	2
防災の設備が整っていない。避難場所と防災マップに記載してあっても備品の準備ができていない。軽井沢町も防災にお金を使って下さい	
災害発生時のタイムリーな情報提供と機動力のある対応	
教育関連	2
立派な中学校に改築されたのはよいが、教育の質もそれに見合ったレベルに上げてほしい	
軽井沢西部小のクラスの組名を 1 組、2 組ではなく、松組、竹組とかいう気持ち悪い呼び方をいい加減に改善したほうがいい	
情報通信環境の整備・充実、情報提供の向上	2
情報公開、特に Web が遅く、町の HP が見づらく、情報も不足。本安家とも Web で回答できる様に。町内高速 Net 環境整備	
外国人にとってわかり易い表示、標識の整備	
その他	6
新型コロナウイルスに関して、観光業を主とした軽井沢町の町政では、町民を第一に考えたものではないと感じた	
所得への交通費補助	
建物には必要以上にお金をかけているようですが、もっと景観にお金をかけても良いと思う	
町営住宅が木造。町は全体的に裕福な人が多いので、町営住宅に住んでいると人に言いにくい。町営住宅の外見はかなり汚い事を改善。木造でなくコンクリートにする	
別荘番地が複雑過ぎるので分かりやすくする	
町の首長を変える	
合 計	83

【Q. 2－2 住みにくい点「7. まちの雰囲気良くない」の改善策】

○「7. まちの雰囲気良くない」を選択していない人も含め 41 人から 45 件の記述回答がありました。

記述内容	件数
開発規制の強化、指導	16
旧軽井沢地区以外の地区（特に既別荘密集地域を除く）定住を促進し、別荘建設をある程度おさえるべき。理由①別荘建設では樹木を全て切ってしまうから建物を建設する。新しく木を植えることはほとんどない⇒自然をなくす。	
環境関連の行政組織では、街の“緑”、街の“自然”などの保護をうたい、樹木を切らない様にとっているが、成長した樹木を伐採し、植えかえる指導を始めて欲しい。→伐採の作業や費用など、町で援助する制度も必要である	
町全体として、町がもっと自然を破壊しない条例を作るべき	
これから先も「自然環境豊かな軽井沢」を謳うのであれば、どの木を切るか、残すか、そして剪定するかを専門知識のある方を間に入れて、森や木々のことを考えていって欲しい	
都会化（都市化）にストップをかける事。不動産売買の認可の是非	
町全体が暗い。住居が増加しすぎ	
居住した当時は緑が多く、よく言われる通りの屋根のない病院と思える環境に満足でしたが、近ごろはあちこちで伐採され、軽井沢らしさがなくなっている様で残念です。夏の気温にあらわれている、伐採を止め、できるだけ自然を残す様な町の工夫を	
軽井沢条例は均一に厳しく！住民が住みやすい町に！静かだったのにここ数年車が多く、うるさい！軽井沢の原点に戻っては！	
【●●●】や【●●●】が増えすぎる事により、木々が少なくなり、他の地方都市と同化してきている点。軽井沢らしさが無くなってきている。この 20 年ほどの間に富裕層の人たちは、他の自然豊かな所に別荘を移している	
宅地分譲等の際はカラマツ等の針葉樹を植樹することを禁止しカエデやナラ等の広葉樹とする	
商業施設の景観や看板に基準がなく、町が目指している環境とは程遠い	
別荘民、観光客のマナーの改善	8
別荘客が旧軽のごみ捨て場に町のごみ袋じゃないもので捨てていくのをよく見る。町でチラシとか作って入れたりとかしてほしい	
西区别荘地のごみの分別を改善するよう、管理会社、所有者に指導お願いしたい（マナー守ってほしい）	
町で独自の法律を作って、観光客へのマナー違反に対応することが必要。（例えば道路、公園などでの犬の排泄物処理法など、特別なゴミ入れを設置する。違法駐車には罰金をつけるなど）	
町の境界にポイ捨て厳禁の看板を設置し、ゴミをなくし気持ちよく歩けるようにする	
空き家、廃屋対策	5
廃墟化した空き家に対して税金を課すか、又は取り壊しに対して補助金を出す	
住めなくなった別荘や、放置された別荘の空き地は、草が生い茂り、木の枝や倒木、境界柵の損壊など、ここが観光地かと思われるほど。→不在地主や別荘所有者への維持管理条例を作るべき	
空き家が多すぎる。家の目の前がボロボロの空き家で早くこわしてほしい。軽井沢の「品」と「レベル」が落ちる	
観光地というわりに、空店舗や空家も多く、きれいではない。すたれた感、やる気がないなら何をやっても改善しない	

Ⅱ 町民アンケート調査結果

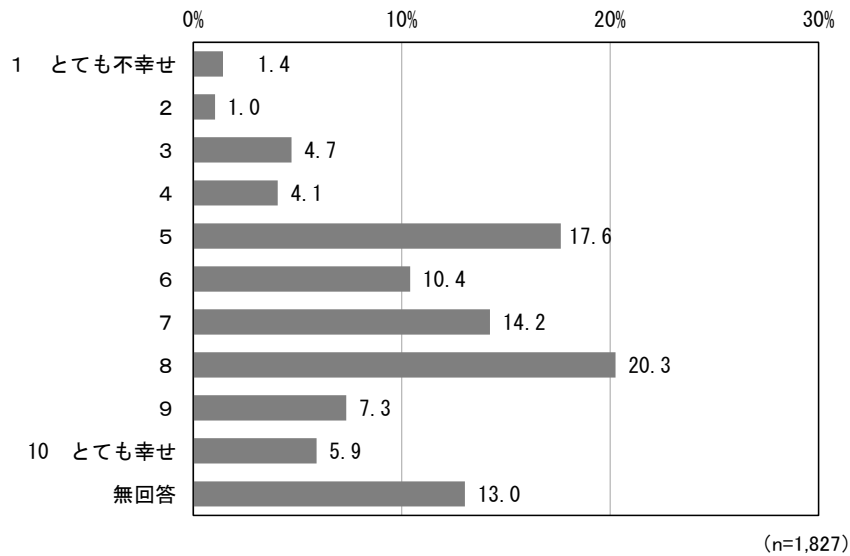
記述内容	件数
まちづくりの方向	4
単なる観光地ではない事を認識する事	
軽井沢は観光地ではなく避暑地であってほしかった。量販店もいない。住民が少し不便であっても凜とした町であって欲しかった	
人口増に比べて、自然環境保全政策な確立していない	
開発よりも環境保全を優先する	
地域コミュニティの問題	2
人と人のつながりや関わりがとて少なく長く住んでいるのに地域に情がわきにくい。町民同士のコミュニケの場所が足りない（他の近隣市町村と比べて）。公民館活動の種類がすごく足りず、年代別やあえて年代を問わない交わり、又は、軽井沢特有の他のお国の人たちとの仲良しの場があれば軽井沢らしさが育まれると思う	
近所付き合いがない。町外からの移住者に冷たいことがある	
その他	10
ある地区だけに施設が片寄っている	
地区毎のくびきからの解放	
電柱の地中化	
軽井沢駅前 不動産会社の看板ばかりでよくない。中軽井沢駅前 駅はすてきなのに駅前通りがよくない	
別荘や町の樹木が大きくなりすぎ、景観や冬の冷結などとても住みにくい。木の伐採に町が予算を出してほしい。大きくなりすぎた木は、切るのにとて高く個人では無理	
地域外の人々は旧軽の散策を楽しむが、その他の地域は歩いて楽しめる街並みではなく、夢がないように感じられる。ちょっと家を出て軽井沢らしく楽しめるようなお店やカフェなどが旧軽以外の地域でも生活と密着した感覚であればよい	
中軽井沢地区の整備を望む。地域に活気を取り戻して欲しい	
自然が豊かであるのに、町全体に統一感がみられない	
自粛をさせる時はきちんとさせる	
駅前の大量の不動産屋が景観を悪くしてる	
合 計	45

Q3 現在の幸福度

【SA】

○現在の幸福度は、「8点」が20.3%で最も高く、次いで「5点」が17.6%、「7点」が14.2%の順となっています。

- 全体の平均点は6.57点で、年齢区分別及び地区別で平均点の大きな差はみられません。
- “70歳以上”で「5点」が21.9%で他の年齢区分と比較して割合が高くなっています。
- “東地区”及び“南地区”で、「5点」が最も高くなっています。



		合計	Q3 現在の幸福度											平均点
			1 とても不幸せ	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても幸せ	無回答	
全体		1827	26	19	86	74	322	190	260	370	134	108	238	6.57
		100.0	1.4	1.0	4.7	4.1	17.6	10.4	14.2	20.3	7.3	5.9	13.0	
Q1 ① 年齢	29歳以下	77	0	1	1	4	9	15	16	8	7	5	11	6.74
		100.0	0.0	1.3	1.3	5.2	11.7	19.5	20.8	10.4	9.1	6.5	14.3	
	30歳代	150	0	2	12	4	17	19	27	29	13	10	17	6.71
		100.0	0.0	1.3	8.0	2.7	11.3	12.7	18.0	19.3	8.7	6.7	11.3	
	40歳代	261	11	3	12	10	38	26	42	50	24	21	24	6.58
		100.0	4.2	1.1	4.6	3.8	14.6	10.0	16.1	19.2	9.2	8.0	9.2	
	50歳代	334	4	5	16	20	55	37	43	69	28	18	39	6.52
		100.0	1.2	1.5	4.8	6.0	16.5	11.1	12.9	20.7	8.4	5.4	11.7	
Q1 ④ 住まい地区	60歳代	384	3	5	23	15	68	41	55	86	20	25	43	6.54
		100.0	0.8	1.3	6.0	3.9	17.7	10.7	14.3	22.4	5.2	6.5	11.2	
	70歳以上	611	8	3	22	21	134	51	76	127	40	29	100	6.53
		100.0	1.3	0.5	3.6	3.4	21.9	8.3	12.4	20.8	6.5	4.7	16.4	
	東地区	357	6	3	14	13	74	34	46	72	26	21	48	6.54
		100.0	1.7	0.8	3.9	3.6	20.7	9.5	12.9	20.2	7.3	5.9	13.4	
	中地区	757	8	7	35	31	122	81	112	160	54	55	92	6.69
		100.0	1.1	0.9	4.6	4.1	16.1	10.7	14.8	21.1	7.1	7.3	12.2	
	南地区	143	4	2	9	9	26	19	19	26	8	9	12	6.24
		100.0	2.8	1.4	6.3	6.3	18.2	13.3	13.3	18.2	5.6	6.3	8.4	
	西地区	545	6	7	27	21	95	52	81	108	43	23	82	6.52
		100.0	1.1	1.3	5.0	3.9	17.4	9.5	14.9	19.8	7.9	4.2	15.0	

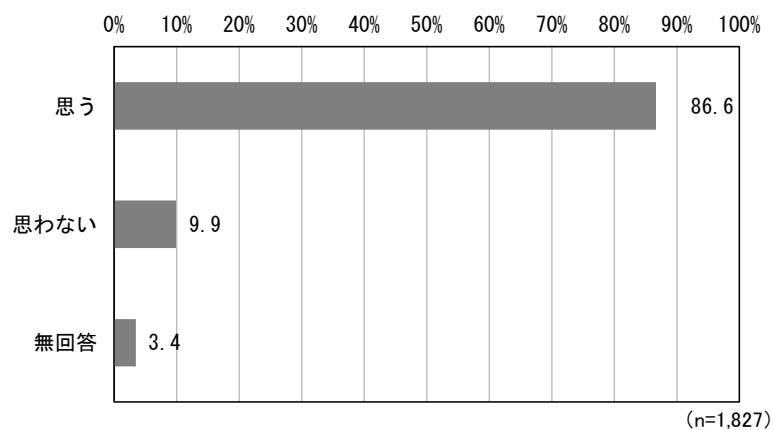
Ⅱ 町民アンケート調査結果

Q4 今後も軽井沢町に住み続けたいと思うか

【SA】

○今後も軽井沢町に住み続けたいと思うかは、「思う」が 86.6%、「思わない」が 9.9%となっています。

- 「思わない」は、年齢が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にあります。
- “南地区”で、「思わない」が 14.7%で他の地区と比較して高くなっています。



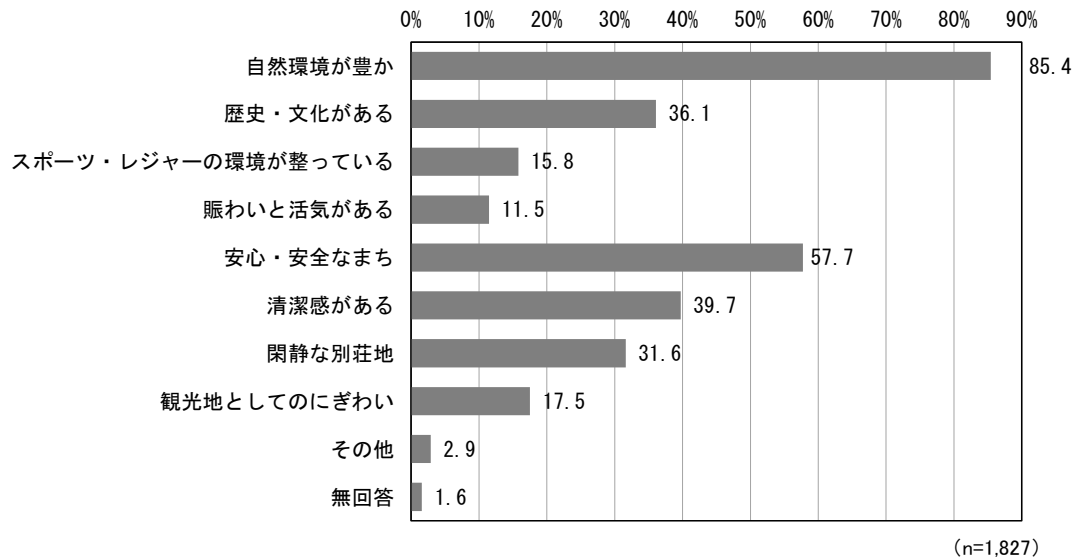
		合計	Q4 今後も軽井沢町に住み続けたいと思うか		
			思う	思わない	無回答
全体		1827 100.0	1583 86.6	181 9.9	63 3.4
Q1 ① 年齢	29歳以下	77 100.0	56 72.7	20 26.0	1 1.3
	30歳代	150 100.0	128 85.3	21 14.0	1 0.7
	40歳代	261 100.0	218 83.5	32 12.3	11 4.2
	50歳代	334 100.0	289 86.5	34 10.2	11 3.3
	60歳代	384 100.0	344 89.6	28 7.3	12 3.1
	70歳以上	611 100.0	538 88.1	46 7.5	27 4.4
Q1 ④ 住まい 地区	東地区	357 100.0	304 85.2	37 10.4	16 4.5
	中地区	757 100.0	654 86.4	77 10.2	26 3.4
	南地区	143 100.0	119 83.2	21 14.7	3 2.1
	西地区	545 100.0	485 89.0	45 8.3	15 2.8

Q5 大切にしたい軽井沢町のイメージ

【MA】

○大切にしたい軽井沢町のイメージは、「自然環境が豊か」が 85.4%で最も高く、次いで「安心・安全なまち」が 57.7%、「清潔感がある」が 39.7%の順となっています。

●「観光地としてのにぎわい」は、年齢が低くなるほど割合が高くなっています。



		合計	Q5 大切にしたい軽井沢町のイメージ									
			自然環境が豊か	歴史・文化がある	スポーツ・レジャーの環境が整っている	賑わいと活気がある	安心・安全なまち	清潔感がある	閑静な別荘地	観光地としてのにぎわい	その他	無回答
全体		1827	1561	659	289	210	1055	726	578	320	53	29
		100.0	85.4	36.1	15.8	11.5	57.7	39.7	31.6	17.5	2.9	1.6
Q1 ① 年齢	29歳以下	77	67	17	11	8	43	29	17	20	1	0
		100.0	87.0	22.1	14.3	10.4	55.8	37.7	22.1	26.0	1.3	0.0
	30歳代	150	131	51	36	27	89	77	45	34	4	0
		100.0	87.3	34.0	24.0	18.0	59.3	51.3	30.0	22.7	2.7	0.0
	40歳代	261	233	101	47	36	142	113	90	60	13	6
		100.0	89.3	38.7	18.0	13.8	54.4	43.3	34.5	23.0	5.0	2.3
	50歳代	334	291	138	54	49	210	142	135	63	5	2
		100.0	87.1	41.3	16.2	14.7	62.9	42.5	40.4	18.9	1.5	0.6
	60歳代	384	340	148	69	41	243	170	129	62	15	5
		100.0	88.5	38.5	18.0	10.7	63.3	44.3	33.6	16.1	3.9	1.3
	70歳以上	611	490	202	69	48	323	190	158	78	15	16
		100.0	80.2	33.1	11.3	7.9	52.9	31.1	25.9	12.8	2.5	2.6

Ⅱ 町民アンケート調査結果

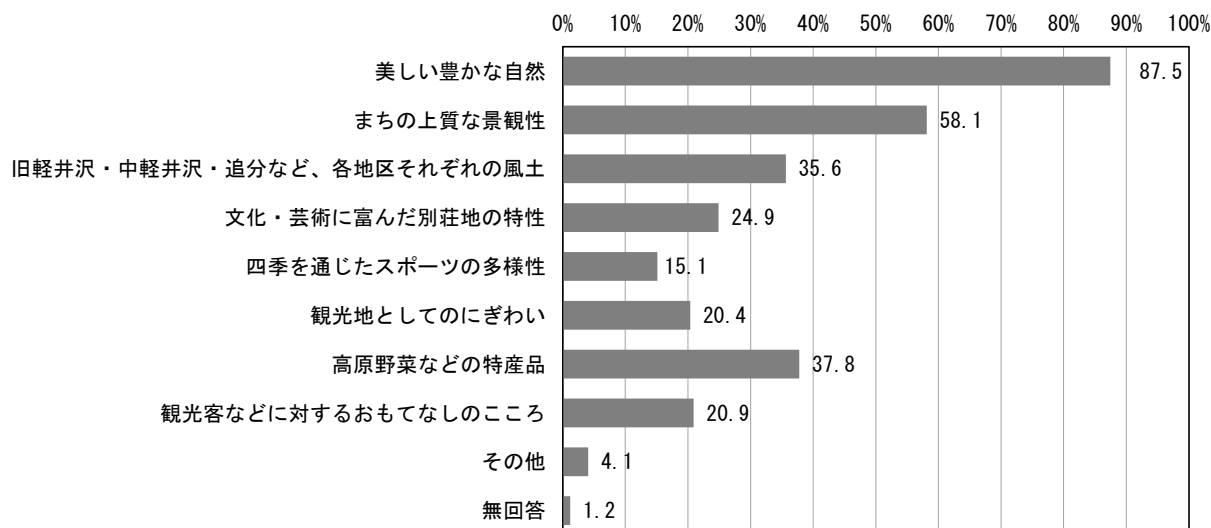
Q6 次代へ継承していくべきもの

【MA】

○次代へ継承していくべきものは、「美しい豊かな自然」が87.5%で最も高く、次いで「まちの上質な景観性」が58.1%、「高原野菜などの特産品」が37.8%の順となっています。

●“30 歳代”～“60 歳代”で「まちの上質な景観性」が、6 割を超えています。

●“29 歳以下”及び“30 歳代”で「旧軽井沢・中軽井沢・追分など、各地区それぞれの風土」が、4 割を超えています。



(n=1,827)

		合計	Q6 次代へ継承していくべきもの									
			美しい豊かな自然	まちの上質な景観性	旧軽井沢・中軽井沢・追分など、各地区それぞれの風土	文化・芸術に富んだ別荘地の特性	四季を通じたスポーツの多様性	観光地としてのにぎわい	高原野菜などの特産品	観光客などに対するおもてなしのこころ	その他	無回答
全体		1827 100.0	1598 87.5	1062 58.1	651 35.6	455 24.9	276 15.1	372 20.4	690 37.8	382 20.9	74 4.1	22 1.2
Q1 ① 年齢	29歳以下	77 100.0	67 87.0	37 48.1	31 40.3	13 16.9	9 11.7	25 32.5	19 24.7	19 24.7	2 2.6	0 0.0
	30歳代	150 100.0	131 87.3	93 62.0	60 40.0	34 22.7	33 22.0	44 29.3	59 39.3	35 23.3	5 3.3	0 0.0
	40歳代	261 100.0	235 90.0	163 62.5	87 33.3	73 28.0	52 19.9	73 28.0	110 42.1	71 27.2	13 5.0	3 1.1
	50歳代	334 100.0	296 88.6	224 67.1	115 34.4	91 27.2	49 14.7	78 23.4	129 38.6	66 19.8	13 3.9	5 1.5
	60歳代	384 100.0	346 90.1	249 64.8	144 37.5	110 28.6	64 16.7	58 15.1	148 38.5	78 20.3	17 4.4	5 1.3
	70歳以上	611 100.0	515 84.3	292 47.8	210 34.4	131 21.4	66 10.8	92 15.1	220 36.0	113 18.5	23 3.8	9 1.2

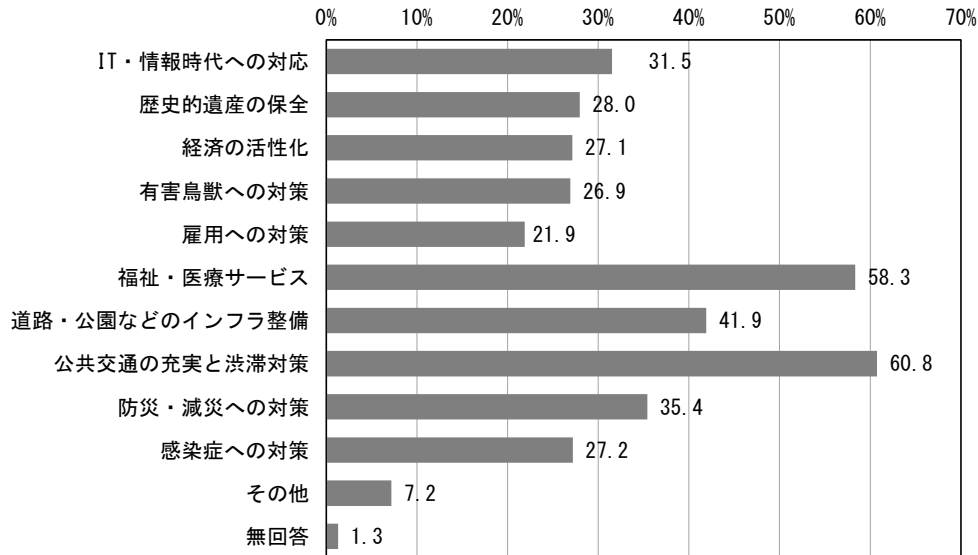
Q7 今以上に力を入れる必要があると思う点

【MA】

○今以上に力を入れる必要があると思う点は、「公共交通の充実と渋滞対策」が 60.8%と最も高く、次いで「福祉・医療サービス」が 58.3%、「道路・公園などのインフラ整備」が 41.9%の順となっています。

●“70 歳以上”では「福祉・医療サービス」が最も高くなっています。

●“29 歳以下”及び“30 歳代”で、「道路・公園などのインフラ整備」が 5 割を超えて、他の年齢区分と比較して高くなっています。



(n=1,827)

		合計	Q7 今以上に力を入れる必要があると思う点					
			IT・情報時代への対応	歴史的遺産の保全	経済の活性化	有害鳥獣への対策	雇用への対策	福祉・医療サービス
全体		1827	576	511	496	492	400	1066
		100.0	31.5	28.0	27.1	26.9	21.9	58.3
Q1 ① 年齢	29歳以下	77	25	14	24	8	18	37
		100.0	32.5	18.2	31.2	10.4	23.4	48.1
	30歳代	150	71	37	51	36	41	95
		100.0	47.3	24.7	34.0	24.0	27.3	63.3
	40歳代	261	109	72	67	47	66	142
		100.0	41.8	27.6	25.7	18.0	25.3	54.4
	50歳代	334	133	110	95	93	78	185
		100.0	39.8	32.9	28.4	27.8	23.4	55.4
	60歳代	384	116	115	100	131	83	234
		100.0	30.2	29.9	26.0	34.1	21.6	60.9
	70歳以上	611	121	160	156	173	111	367
		100.0	19.8	26.2	25.5	28.3	18.2	60.1

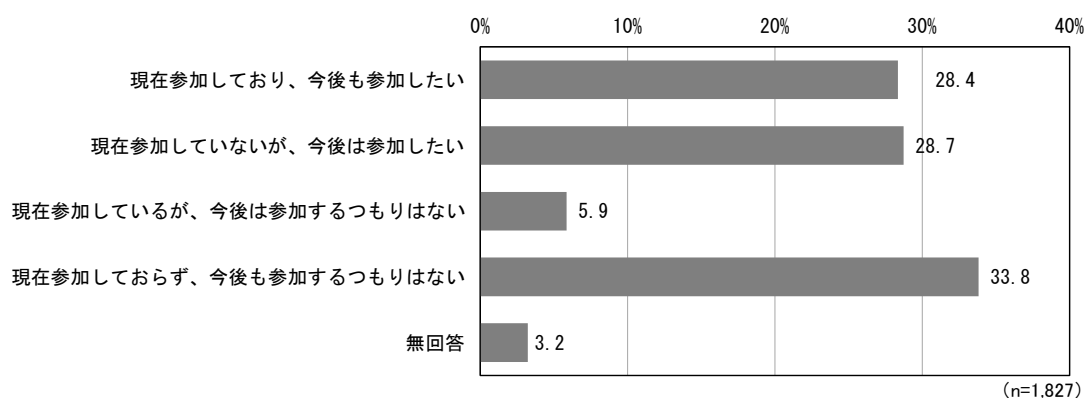
		合計	Q7 今以上に力を入れる必要があると思う点					
			道路・公園などのインフラ整備	公共交通の充実と渋滞対策	防災・減災への対策	感染症への対策	その他	無回答
全体		1827	766	1110	647	497	131	24
		100.0	41.9	60.8	35.4	27.2	7.2	1.3
Q1 ① 年齢	29歳以下	77	39	56	20	18	2	1
		100.0	50.6	72.7	26.0	23.4	2.6	1.3
	30歳代	150	80	97	59	49	12	0
		100.0	53.3	64.7	39.3	32.7	8.0	0.0
	40歳代	261	106	169	101	67	32	2
		100.0	40.6	64.8	38.7	25.7	12.3	0.8
	50歳代	334	138	214	137	100	22	3
		100.0	41.3	64.1	41.0	29.9	6.6	0.9
	60歳代	384	153	236	146	104	33	3
		100.0	39.8	61.5	38.0	27.1	8.6	0.8
	70歳以上	611	245	331	179	155	30	15
		100.0	40.1	54.2	29.3	25.4	4.9	2.5

3 地域活動・ボランティア活動について

Q8 地域活動・ボランティア活動の参加状況と今後の参加意向

【SA】

- 地域活動・ボランティア活動の参加状況と今後の参加意向は、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 33.8%で最も高く、次いで「現在参加していないが、今後は参加したい」が 28.7%、「現在参加しており、今後は参加したい」が 28.4%の順となっています。
- 年齢区分では“29 歳以下”及び“70 歳以上”で、住まい地区別では、“東地区”及び“中地区”で「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」の割合が高くなっています。



		合計	Q8 地域活動・ボランティア活動の参加状況と今後の参加意向				
			現在参加 しており、今後 も参加し たい	現在参加 していないが、今 後は参加 したい	現在参加 している が、今後 は参加す るつもり はない	現在参加 しておら ず、今後 も参加す るつもり はない	無回答
全体		1827 100.0	518 28.4	525 28.7	107 5.9	618 33.8	59 3.2
Q1 ① 年 齢	29歳以下	77 100.0	12 15.6	21 27.3	4 5.2	39 50.6	1 1.3
	30歳代	150 100.0	31 20.7	63 42.0	11 7.3	44 29.3	1 0.7
	40歳代	261 100.0	65 24.9	99 37.9	15 5.7	79 30.3	3 1.1
	50歳代	334 100.0	91 27.2	117 35.0	17 5.1	104 31.1	5 1.5
	60歳代	384 100.0	130 33.9	123 32.0	26 6.8	98 25.5	7 1.8
	70歳以上	611 100.0	186 30.4	98 16.0	34 5.6	251 41.1	42 6.9
Q1 ④ 住 まい 地 区	東地区	357 100.0	103 28.9	99 27.7	20 5.6	122 34.2	13 3.6
	中地区	757 100.0	169 22.3	248 32.8	47 6.2	272 35.9	21 2.8
	南地区	143 100.0	44 30.8	45 31.5	7 4.9	40 28.0	7 4.9
	西地区	545 100.0	196 36.0	128 23.5	32 5.9	176 32.3	13 2.4

Q8-1 今後参加したい地域活動・ボランティア活動

【MA】

Q8で「現在参加しており、今後も参加したい」、

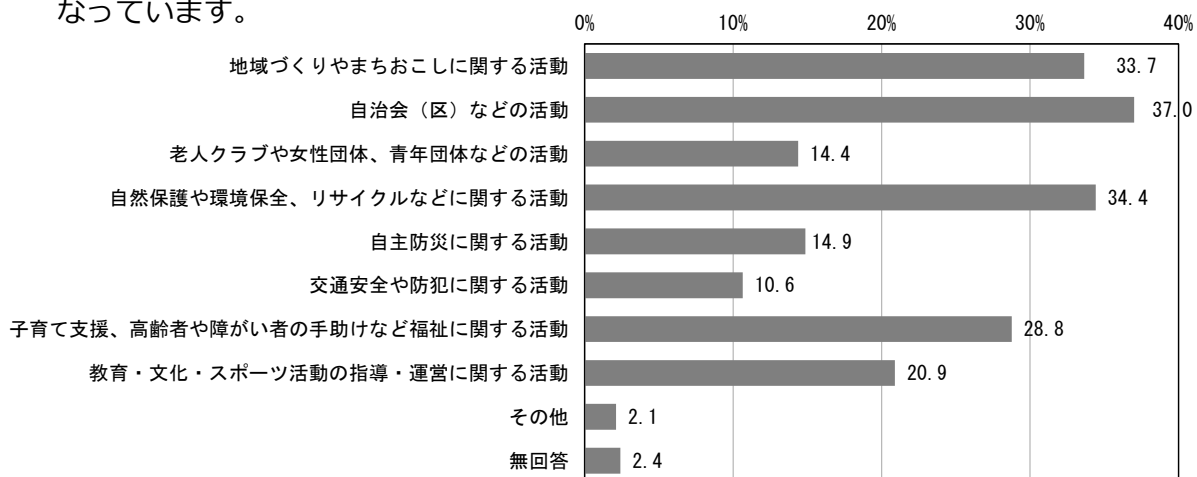
「現在参加していないが、今後は参加したい」を選んだ方限定

○今後参加したい地域活動・ボランティア活動は、「自治会（区）などの活動」が 37.0%で最も高く、次いで「自然保護や環境保全、リサイクルなどに関する活動」が 34.4%、「地域づくりやまちおこしに関する活動」が 33.7%の順となっています。

●“29 歳以下”では、「地域づくりやまちおこしに関する活動」が 57.6%と他の年齢区分と比較して高くなっています。

●“30 歳代”及び“40 歳代”では、「子育て支援、高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」が他の年齢区分と比較して高くなっています。

●“中地区”では、「地域づくりやまちおこしに関する活動」が 37.2%と他の地区と比較して高くなっています。



(n=1,043)

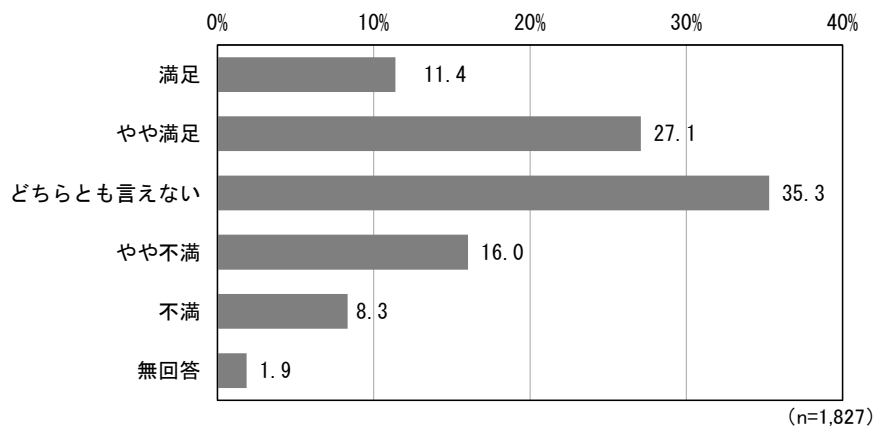
		Q8-1 今後参加したい地域活動・ボランティア活動									
	合計	地域づくりやまちおこしに関する活動	自治会（区）などの活動	老人クラブや女性団体、青年団体などの活動	自然保護や環境保全、リサイクルなどに関する活動	自主防災に関する活動	交通安全や防犯に関する活動	子育て支援、高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動	その他	無回答
全体	1043	351	386	150	359	155	111	300	218	22	25
	100.0	33.7	37.0	14.4	34.4	14.9	10.6	28.8	20.9	2.1	2.4
Q1 ① 年齢	29歳以下	33	19	8	13	4	7	7	9	2	0
	100.0	57.6	24.2	3.0	39.4	12.1	21.2	21.2	27.3	6.1	0.0
	30歳代	94	38	31	10	31	15	6	43	31	0
	100.0	40.4	33.0	10.6	33.0	16.0	6.4	45.7	33.0	2.1	0.0
	40歳代	164	56	51	11	55	29	15	64	37	5
	100.0	34.1	31.1	6.7	33.5	17.7	9.1	39.0	22.6	1.2	3.0
	50歳代	208	73	78	19	75	32	20	58	47	3
Q1 ④ 住まいの地区	100.0	35.1	37.5	9.1	36.1	15.4	9.6	27.9	22.6	4.3	1.4
	60歳代	253	83	94	37	97	34	21	65	55	3
	100.0	32.8	37.2	14.6	38.3	13.4	8.3	25.7	21.7	1.2	1.2
	70歳以上	284	81	119	70	87	40	42	59	39	13
	100.0	28.5	41.9	24.6	30.6	14.1	14.8	20.8	13.7	1.1	4.6
	東地区	202	62	67	32	67	37	22	59	47	3
	100.0	30.7	33.2	15.8	33.2	18.3	10.9	29.2	23.3	4.5	1.5
Q1 ④ 住まいの地区	中地区	417	155	144	45	146	60	48	113	80	8
	100.0	37.2	34.5	10.8	35.0	14.4	11.5	27.1	19.2	1.9	1.9
	南地区	89	30	52	18	30	15	12	22	15	4
	100.0	33.7	58.4	20.2	33.7	16.9	13.5	24.7	16.9	1.1	4.5
Q1 ④ 住まいの地区	西地区	324	102	118	52	115	42	29	102	74	9
	100.0	31.5	36.4	16.0	35.5	13.0	9.0	31.5	22.8	1.2	2.8

4 軽井沢町の情報発信について

Q 9 町からの情報発信の満足度

【SA】

○町からの情報発信の満足度は、「どちらとも言えない」が 35.3%で最も高く、次いで「やや満足」が 27.1%、「やや不満」が 16.0%の順となっています。

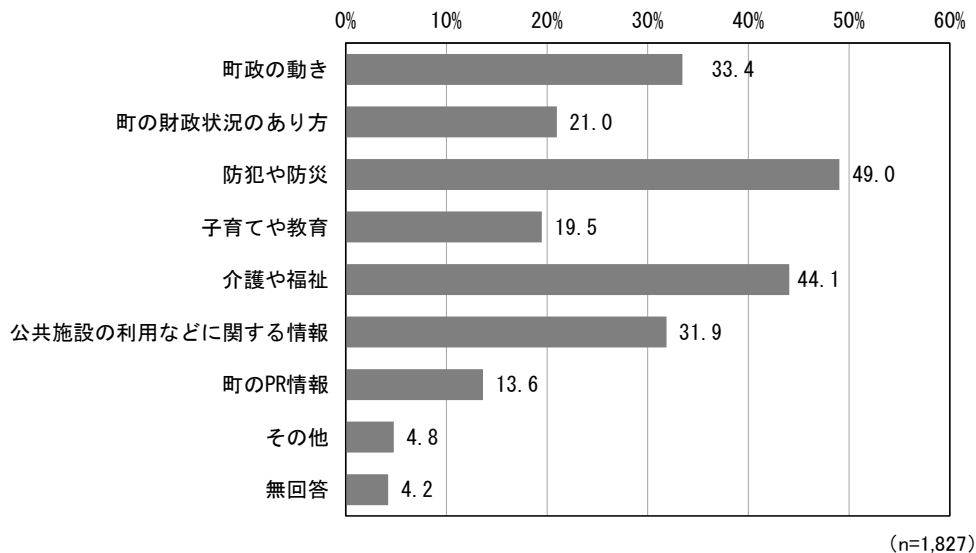


Q10 今以上に充実して欲しい情報発信内容

【MA】

○今以上に充実して欲しい情報発信内容は、「防犯や防災」が49.0%で最も高く、次いで「介護や福祉」が44.1%、「町政の動き」が33.4%の順となっています。

●“30歳代”で「子育てや教育」が55.3%と他の年齢区分と比較して高くなっています。



		合計	Q10 今以上に充実して欲しい情報発信内容								
			町政の動き	町の財政状況のあり方	防犯や防災	子育てや教育	介護や福祉	公共施設の利用などに関する情報	町のPR情報	その他	無回答
全体		1827	611	383	896	356	805	582	249	87	77
		100.0	33.4	21.0	49.0	19.5	44.1	31.9	13.6	4.8	4.2
Q1 ① 年齢	29歳以下	77	18	13	33	20	17	23	13	3	2
		100.0	23.4	16.9	42.9	26.0	22.1	29.9	16.9	3.9	2.6
	30歳代	150	53	36	87	83	39	59	19	5	2
		100.0	35.3	24.0	58.0	55.3	26.0	39.3	12.7	3.3	1.3
	40歳代	261	96	56	137	99	76	89	36	12	7
		100.0	36.8	21.5	52.5	37.9	29.1	34.1	13.8	4.6	2.7
	50歳代	334	108	76	193	55	138	111	51	20	8
		100.0	32.3	22.8	57.8	16.5	41.3	33.2	15.3	6.0	2.4
	60歳代	384	138	80	185	56	182	126	58	19	15
		100.0	35.9	20.8	48.2	14.6	47.4	32.8	15.1	4.9	3.9
	70歳以上	611	194	118	257	41	347	170	70	28	42
		100.0	31.8	19.3	42.1	6.7	56.8	27.8	11.5	4.6	6.9

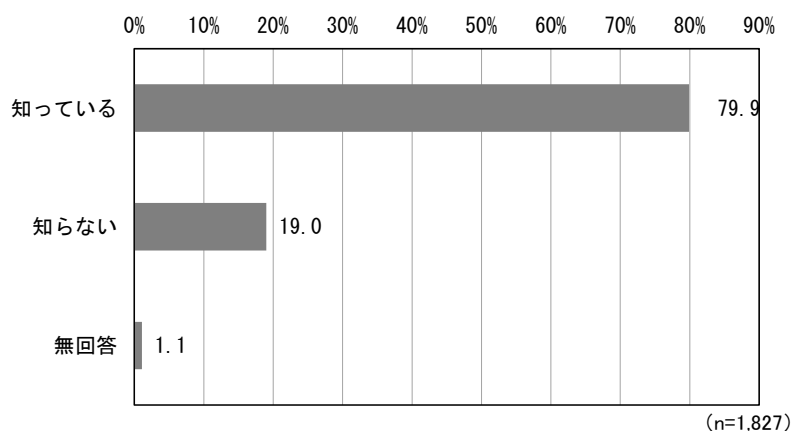
5 防災や減災について

Q11 災害が起きた際の避難先を知っているか

【SA】

○災害が起きた際の避難先を知っているかは、「知っている」が79.9%、「知らない」が19.0%となっています。

- 年齢が低いほど、「知らない」の割合が高くなる傾向となっています。
- “東地区”及び“西地区”で「知らない」の割合が高くなっています。



		合計	Q11 災害が起きた際の避難先を知っているか		
			知っている	知らない	無回答
全体		1827 100.0	1460 79.9	347 19.0	20 1.1
Q1 ① 年齢	29歳以下	77 100.0	57 74.0	19 24.7	1 1.3
	30歳代	150 100.0	111 74.0	38 25.3	1 0.7
	40歳代	261 100.0	208 79.7	50 19.2	3 1.1
	50歳代	334 100.0	272 81.4	62 18.6	0 0.0
	60歳代	384 100.0	320 83.3	61 15.9	3 0.8
	70歳以上	611 100.0	484 79.2	116 19.0	11 1.8
Q1 ④ 住まい地区	東地区	357 100.0	272 76.2	82 23.0	3 0.8
	中地区	757 100.0	626 82.7	122 16.1	9 1.2
	南地区	143 100.0	120 83.9	21 14.7	2 1.4
	西地区	545 100.0	421 77.2	120 22.0	4 0.7

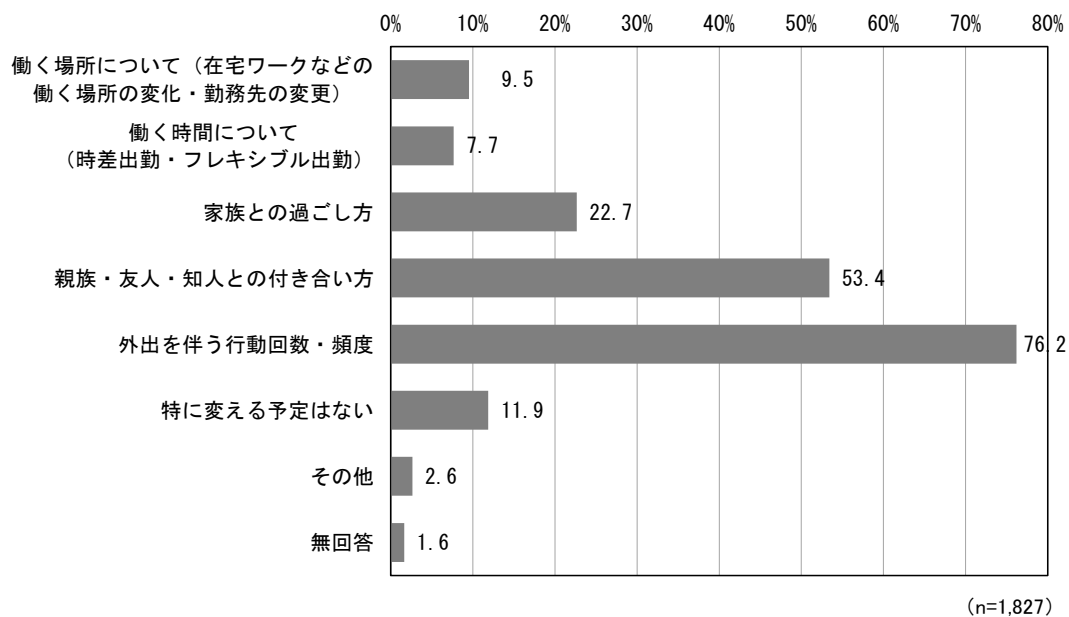
6 新型コロナウイルスの影響について

Q12 新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化状況

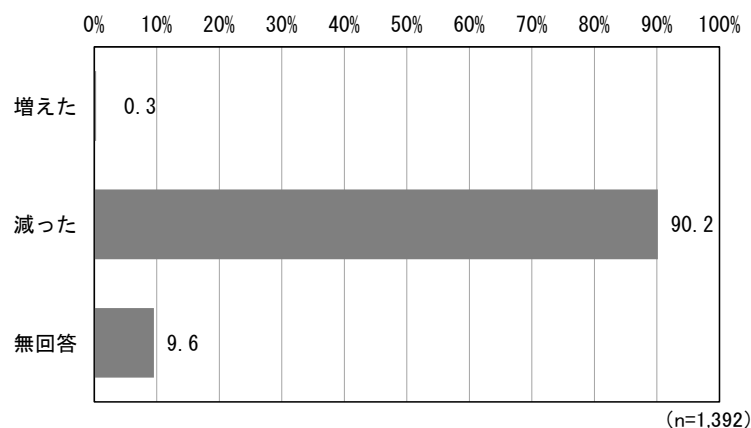
【MA】

○新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化状況は、「外出を伴う行動回数・頻度」が76.2%で最も高く、次いで「親族・友人・知人との付き合い方」が53.4%、「家族との過ごし方」が22.7%の順となっています。

●「特に変える予定はない」は、“29歳以下”及び“70歳以上”で高い割合となっています。



※Q12で「外出を伴う行動回数・頻度」を選択した方の増減状況



Ⅱ 町民アンケート調査結果

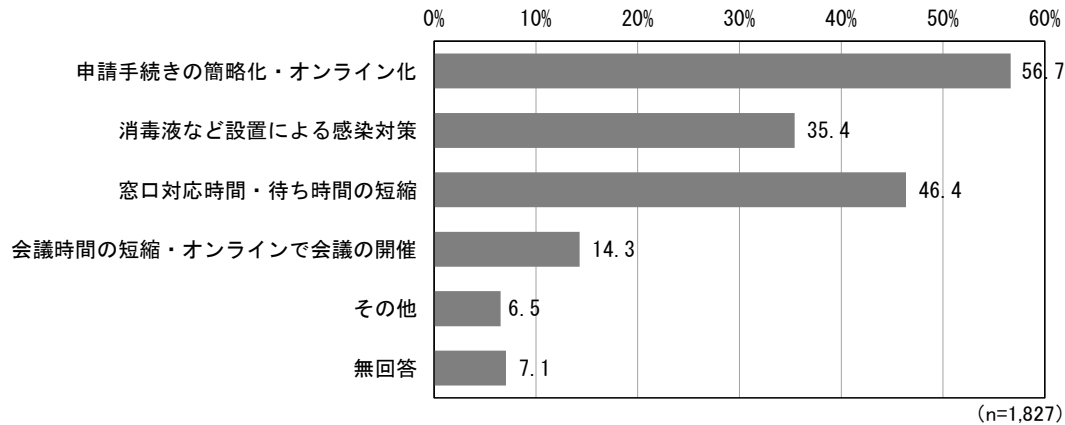
		合計	Q12 新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化状況							
			働く場所 について (在宅 ワークな どの働く 場所の変 化・勤務 先の変 更)	働く時間 について (時差出 勤・フレ キシブル 出勤)	家族との 過ごし方	親族・友 人・知人 との付き 合い方	外出を伴 う行動回 数・頻度	特に変え る予定は ない	その他	無回答
全体		1827 100.0	174 9.5	140 7.7	414 22.7	976 53.4	1392 76.2	217 11.9	48 2.6	30 1.6
Q1 ① 年 齢	29歳以下	77 100.0	13 16.9	5 6.5	13 16.9	34 44.2	60 77.9	13 16.9	1 1.3	0 0.0
	30歳代	150 100.0	23 15.3	15 10.0	52 34.7	93 62.0	131 87.3	8 5.3	2 1.3	0 0.0
	40歳代	261 100.0	39 14.9	36 13.8	71 27.2	154 59.0	218 83.5	15 5.7	5 1.9	1 0.4
	50歳代	334 100.0	46 13.8	35 10.5	92 27.5	187 56.0	272 81.4	33 9.9	6 1.8	2 0.6
	60歳代	384 100.0	37 9.6	35 9.1	84 21.9	213 55.5	302 78.6	53 13.8	17 4.4	2 0.5
	70歳以上	611 100.0	16 2.6	13 2.1	99 16.2	291 47.6	402 65.8	93 15.2	17 2.8	24 3.9
Q1 ④ 住 ま い 地 区	東地区	357 100.0	30 8.4	23 6.4	83 23.2	171 47.9	258 72.3	48 13.4	13 3.6	8 2.2
	中地区	757 100.0	63 8.3	63 8.3	170 22.5	424 56.0	582 76.9	91 12.0	19 2.5	9 1.2
	南地区	143 100.0	12 8.4	11 7.7	29 20.3	78 54.5	108 75.5	18 12.6	3 2.1	3 2.1
	西地区	545 100.0	68 12.5	42 7.7	127 23.3	293 53.8	426 78.2	55 10.1	12 2.2	8 1.5

Q13 町が行うものとして重要なこと

【MA】

○町が行うものとして重要なことは、「申請手続きの簡略化・オンライン化」が 56.7%で最も高く、次いで「窓口対応時間・待ち時間の短縮」が 46.4%、「消毒液など設置による感染対策」が 35.4%の順となっています。

●“70 歳以上”で「窓口対応時間・待ち時間の短縮」が 42.2%で、他の年齢区分と比較して高くなっています。



		合計	Q13 町が行うものとして重要なこと					
			申請手続きの簡略化・オンライン化	消毒液など設置による感染対策	窓口対応時間・待ち時間の短縮	会議時間の短縮・オンラインで会議	その他	無回答
全体		1827 100.0	1035 56.7	647 35.4	847 46.4	261 14.3	119 6.5	129 7.1
Q1 ① 年 齢	29歳以下	77 100.0	53 68.8	26 33.8	38 49.4	17 22.1	5 6.5	2 2.6
	30歳代	150 100.0	122 81.3	55 36.7	85 56.7	34 22.7	10 6.7	1 0.7
	40歳代	261 100.0	181 69.3	91 34.9	118 45.2	56 21.5	16 6.1	9 3.4
	50歳代	334 100.0	222 66.5	107 32.0	158 47.3	61 18.3	25 7.5	8 2.4
	60歳代	384 100.0	218 56.8	126 32.8	182 47.4	55 14.3	29 7.6	29 7.6
	70歳以上	611 100.0	233 38.1	239 39.1	258 42.2	38 6.2	34 5.6	79 12.9
	東地区	357 100.0	187 52.4	115 32.2	158 44.3	46 12.9	33 9.2	32 9.0
	中地区	757 100.0	427 56.4	282 37.3	359 47.4	94 12.4	53 7.0	48 6.3
Q1 ④ 住 ま い 地 区	南地区	143 100.0	89 62.2	49 34.3	72 50.3	21 14.7	4 2.8	9 6.3
	西地区	545 100.0	321 58.9	195 35.8	242 44.4	96 17.6	28 5.1	37 6.8

7 自由意見

Q16 自由意見

【FA】

- 町の行政に望むことやまちづくりに関するご意見・ご提案については、675人（36.9%）、これに自由意見のみの3名分を合計して、678人の方から1,079件のご意見をいただきました。
- 主な記述内容としては、「【基本方針1 森と高原の快適環境】」に関するご意見が379件で最も多く、次いで「【基本方針2 交流を促す円滑交通】」に関するご意見が202件、「【基本方針5 安心して暮らせる健康福祉のまち】」に関するご意見が81件の順となっています。

項 目		件 数	
【基本方針１ 森と高原の快適環境】			
にぎわいと快適性を備えたまちづくりの推進について、軽井沢のまちについて／思い、印象、将来像、今後の方向について	134	379	
森林・里山の自然環境の保全と活用について、開発について	113		
良好な景観・まち並みの形成について、空き家対策について	64		
別荘地内の木の伐採・管理について	15		
ごみ廃棄・収集について	14		
上・下水道の整備について、都市ガス利用範囲の拡大について	11		
住宅・公共空間の適切な維持について	10		
有害鳥獣対策について	8		
生物多様性の保全について	6		
太陽光発電について	2		
環境に配慮した自動車の導入について	1		
通信環境の整備について	1		
【基本方針２ 交流を促す円滑交通】			
道路交通の安全性・利便性の確保について、安全で快適な歩行環境の確保について、交通安全対策について	158	202	
公共交通の利便性向上について	44		
【基本方針３ 災害に強い安全・安心のまち】			
災害に強いまちづくりについて	14	33	
防犯対策について	11		
防災無線について	8		
【基本方針４ 軽井沢ブランドを活かした交流のまち】			
観光の振興について	33	62	
商業の振興について	26		
農業の振興について	3		
【基本方針５ 安心して暮らせる健康福祉のまち】			
軽井沢病院、保健・医療の充実について	39	81	
高齢者福祉の充実について	17		
子育て支援の充実について	16		
地域福祉の推進について	6		
障がい者福祉の充実について	2		
生活困窮者に対する福祉の充実について	1		

Ⅱ 町民アンケート調査結果

項 目		件 数	
【基本方針6 人を育てる教育・文化】			
	軽井沢高校について	16	45
	教育内容・環境について	12	
	文化・芸術活動の振興について	11	
	生涯学習・生涯スポーツの振興について	6	
【基本方針7 住民が主役の協働参画のまちづくり】			
	地域コミュニティについて	31	71
	情報共有化の推進について	26	
	住民参画によるまちづくりの推進について	14	
【基本方針8 持続と自律の地域主権】			
	職員の採用、資質・対応の向上について、行政運営について	64	80
	税金について、財政運営について	16	
コロナ関連について		33	
庁舎建設について		32	
アンケートについて		20	
観光客、別荘住民のマナーについて		11	
感謝		10	
雇用の場の創出について		4	
町長宛て、町長について		4	
地元の住民が楽しめる施設等について		3	
木もれ陽の里について		3	
その他		6	
合 計		1,079	

Ⅲ 町民評価に基づくCS分析

1 CS分析について

ここでは、町民アンケート調査における基本方針別の評価設問（Q14）に関する集計データに基づき、軽井沢町のまちづくりに関するCS分析を行います。

CSとはCustomer Satisfaction（顧客満足度）の略で、CS分析は民間企業の商品販売におけるマーケティング戦略を決定する際などに活用される分析手法のひとつです。地域住民を行政サービスの顧客として見立て、住民の行政サービス（基本方針）に対する評価から今後のまちづくりの方向性などを検討する際の分析手法です。

2 町民評価結果の点数化

町民アンケート調査のQ14においては、次の2つの視点から基本方針ごとの町民評価データを得ています。

設 問		評価項目	設問の視点
Q14(A)	基本方針に対する現在の満足度評価	8基本方針 &総合評価	これまでのまちづくりの取り組みの結果としての基本方針ごとの現状の満足度評価を問う
Q14(B)	基本方針に対する今後の重要度評価	8基本方針	まちづくり基本方針ごとの今後の重要度評価を問う

評価データをそれぞれ次のような基準で点数化します。

〔基本方針に対する現在の満足度評価〕

“満足”＝50点、“やや満足”＝40点、“どちらとも言えない”＝30点、“やや不満”＝20点、“不満”＝10点

〔基本方針に対する今後の重要度評価〕

“重要”＝50点、“やや重要”＝40点、“どちらとも言えない”＝30点、“あまり重要ではない”＝20点、“重要ではない”＝10点

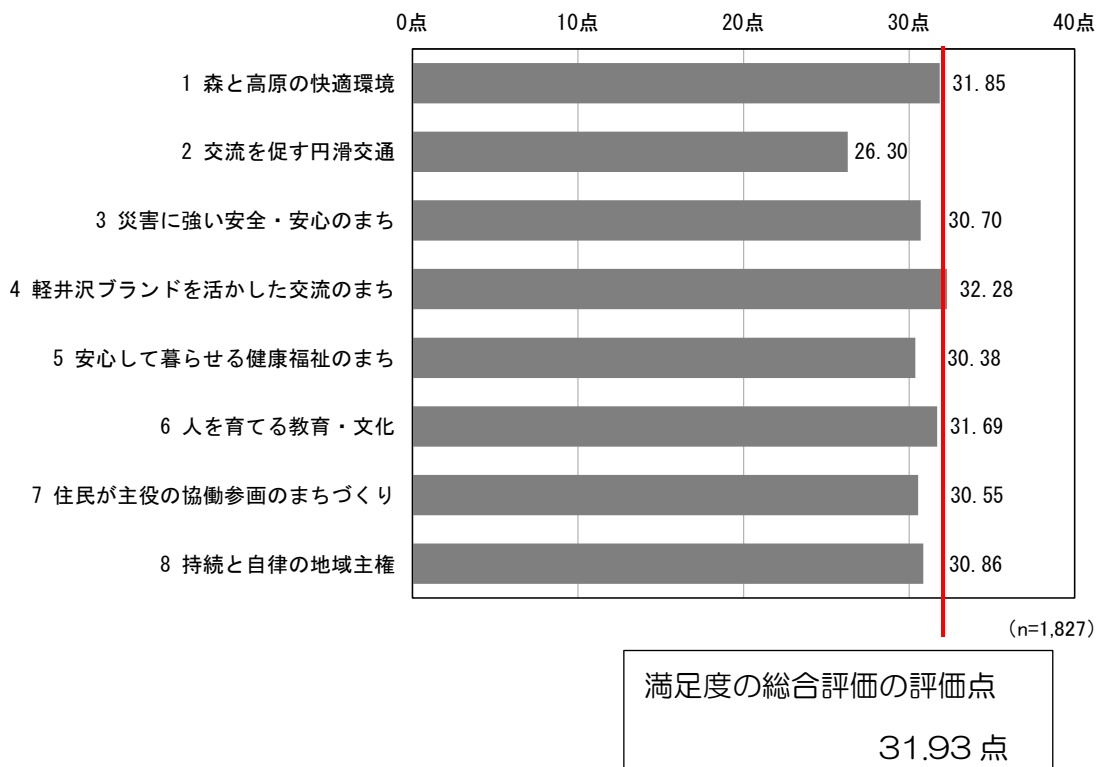
全サンプルのデータについて上記の手法で点数化した上で、基本方針の平均点を算出し、これを基本方針の評価点数とします。

点数化された基本方針の評価点数は次のとおりです。

基本方針に対する現在の満足度評価〔評価点数〕

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	評価点数
【基本方針1 森と高原の快適環境】	155	595	538	314	135	31.85
【基本方針2 交流を促す円滑交通】	67	304	543	590	248	26.30
【基本方針3 災害に強い安全・安心のまち】	93	409	865	293	90	30.70
【基本方針4 軽井沢ブランドを活かした交流のまち】	104	510	871	196	62	32.28
【基本方針5 安心して暮らせる健康福祉のまち】	104	465	707	351	128	30.38
【基本方針6 人を育てる教育・文化】	99	420	945	200	63	31.69
【基本方針7 住民が主役の協働参画のまちづくり】	71	236	1199	152	66	30.55
【基本方針8 持続と自律の地域主権】	83	340	1015	193	83	30.86

○基本方針の満足度の総合評価点は、31.93点となっており、基本方針の中で上回っているのは「基本方針4 軽井沢ブランドを活かした交流のまち」の32.28点のみとなっています。

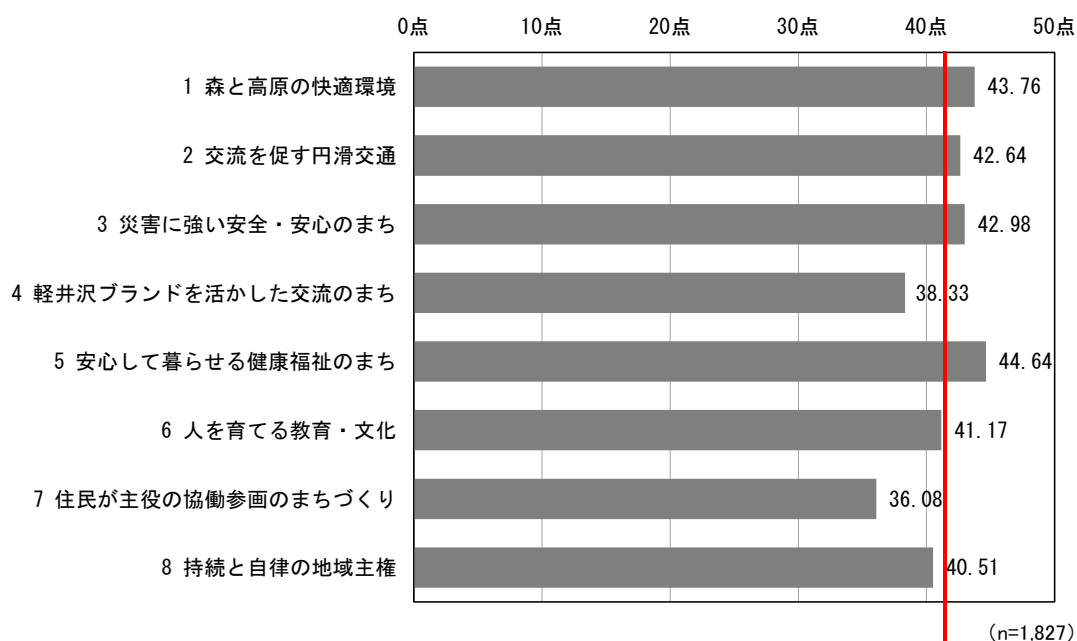


Ⅲ 町民評価に基づくCS分析

基本方針に対する今後の重要度評価〔評価点数〕

	重要	やや重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	重要ではない	評価点数
【基本方針1 森と高原の快適環境】	883	498	225	13	7	43.76
【基本方針2 交流を促す円滑交通】	794	564	236	39	15	42.64
【基本方針3 災害に強い安全・安心のまち】	806	559	269	13	6	42.98
【基本方針4 軽井沢ブランドを活かした交流のまち】	464	583	498	62	39	38.33
【基本方針5 安心して暮らせる健康福祉のまち】	989	481	190	6	4	44.64
【基本方針6 人を育てる教育・文化】	666	549	383	31	10	41.17
【基本方針7 住民が主役の協働参画のまちづくり】	305	503	741	61	28	36.08
【基本方針8 持続と自律の地域主権】	629	489	484	16	10	40.51

○基本方針の重要度の評価点は、41.26 点となっています。基本方針の中で上回っているのは、「基本方針1 森と高原の快適環境」43.76 点、「基本方針2 交流を促す円滑交通」42.64 点、「基本方針3 災害に強い安全・安心のまち」42.98 点、「基本方針5 安心して暮らせる健康福祉のまち」44.64 点となっています。



基本方針の重要度の評価点
41.26 点

3 CS分析

各基本方針の評価点数に基づき、町民の視点からみた各基本方針のポジショニングを明らかにし、そこから基本方針の評価を行います。

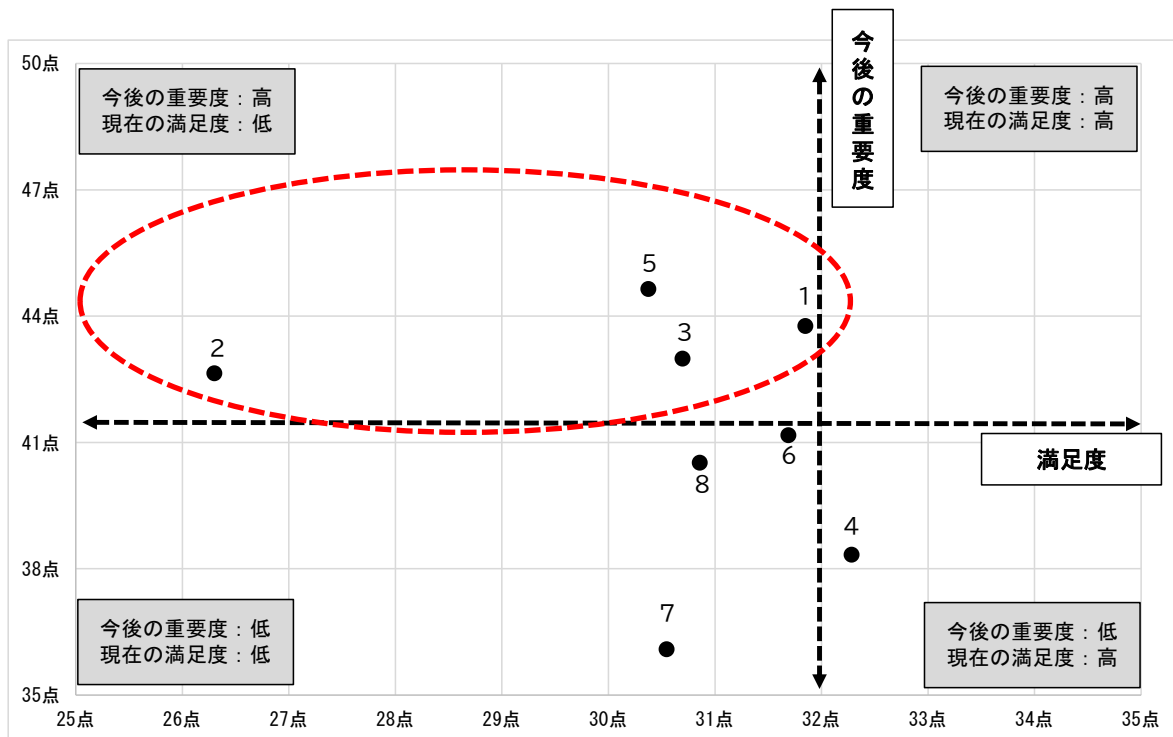
ポジショニングは、「現在の満足度」「今後の重要度」の2つの評価軸によって構成される座標平面上に展開します。

ここでは「現在の満足度」と「今後の重要度」のポジショニングに基づき、CS分析を行います。

ポジショニング表示	基本方針
1	【基本方針1 森と高原の快適環境】
2	【基本方針2 交流を促す円滑交通】
3	【基本方針3 災害に強い安全・安心のまち】
4	【基本方針4 軽井沢ブランドを活かした交流のまち】
5	【基本方針5 安心して暮らせる健康福祉のまち】
6	【基本方針6 人を育てる教育・文化】
7	【基本方針7 住民が主役の協働参画のまちづくり】
8	【基本方針8 持続と自律の地域主権】

今後の重要度」と「現在の満足度」によるCS分析

「現在の満足度」と「今後の重要度」による各基本方針のポジショニングは次の通りです。



Ⅲ 町民評価に基づくCS分析

町民の満足度が低く、今後の重要度が高い項目

○次期計画において基本方針及びそれに紐づく施策を検討していく場合、特に留意すべき「満足度が低く、今後の重要度が高い項目」は、次のものです。

◇【基本方針 1 森と高原の快適環境】

◇【基本方針 2 交流を促す円滑交通】

◇【基本方針 3 災害に強い安全・安心のまち】

◇【基本方針 5 安心して暮らせる健康福祉のまち】

○これらの基本方針は、今後町民の満足度の向上を目指すという観点から、そこに紐づく施策を含めて充実や見直しが求められています。

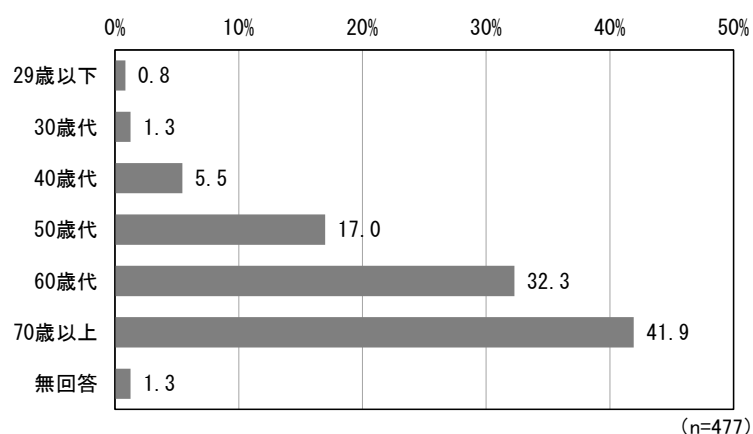
IV 別荘所有者アンケート調査

1 回答者の属性

Q1. ①年齢

【SA】

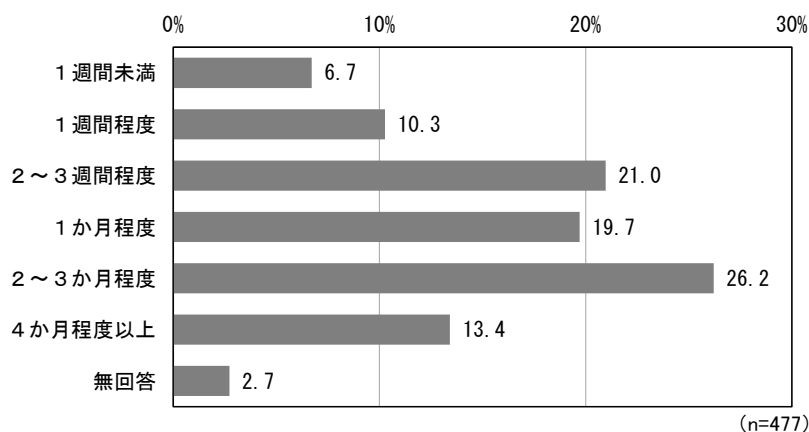
○回答者の年齢は、「70歳以上」が41.9%と最も高く、次いで「60歳代」が32.3%、「50歳代」が17.0%の順となっています。



Q1. ②滞在期間（年）

【SA】

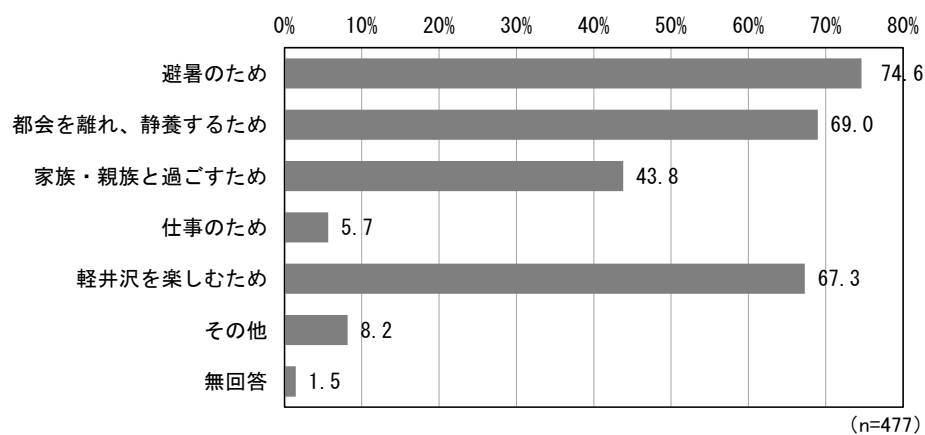
○回答者の滞在期間（年）は、「2～3か月程度」が26.2%で最も高く、次いで「2～3週間程度」が21.0%、「1か月程度」が19.7%の順となっています。



Q1. ③滞在理由

【MA】

○回答者の滞在理由は、「避暑のため」が74.6%で最も高く、次いで「都会を離れ、静養するため」が69.0%、「軽井沢を楽しむため」が67.3%の順となっています。



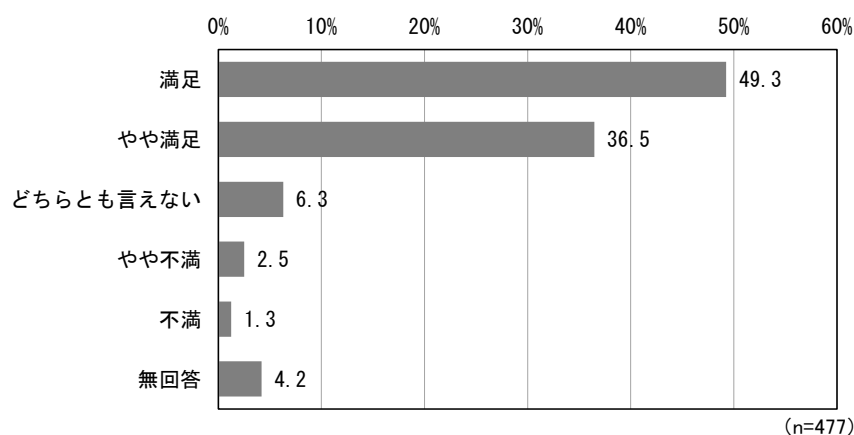
2 軽井沢町について

Q2. 軽井沢町の満足度

【SA】

○軽井沢町に満足しているかは、「満足」が 49.3%で最も高く、次いで「やや満足」が 36.5%となっており、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は 85.8%となっています。

●年齢区分及び滞在期間で、大きな違いはみられません。



		合計	Q2 軽井沢町の満足度					
			満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
全体		477	235	174	30	12	6	20
		100.0	49.3	36.5	6.3	2.5	1.3	4.2
Q1 ① 年齢	29歳以下	4	3	1	0	0	0	0
		100.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	6	2	2	1	0	1	0
		100.0	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0
	40歳代	26	17	6	1	1	0	1
		100.0	65.4	23.1	3.8	3.8	0.0	3.8
	50歳代	81	44	25	8	2	1	1
		100.0	54.3	30.9	9.9	2.5	1.2	1.2
	60歳代	154	76	63	7	2	2	4
		100.0	49.4	40.9	4.5	1.3	1.3	2.6
	70歳以上	200	93	76	13	7	2	9
		100.0	46.5	38.0	6.5	3.5	1.0	4.5
Q1 ② 滞在期間(年)	1週間未満	32	21	6	2	1	1	1
		100.0	65.6	18.8	6.3	3.1	3.1	3.1
	1週間程度	49	21	19	7	0	1	1
		100.0	42.9	38.8	14.3	0.0	2.0	2.0
	2～3週間程度	100	55	30	8	2	1	4
		100.0	55.0	30.0	8.0	2.0	1.0	4.0
	1か月程度	94	49	36	5	2	0	2
		100.0	52.1	38.3	5.3	2.1	0.0	2.1
	2～3か月程度	125	59	54	5	2	3	2
		100.0	47.2	43.2	4.0	1.6	2.4	1.6
	4か月程度以上	64	28	24	3	5	0	4
		100.0	43.8	37.5	4.7	7.8	0.0	6.3

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

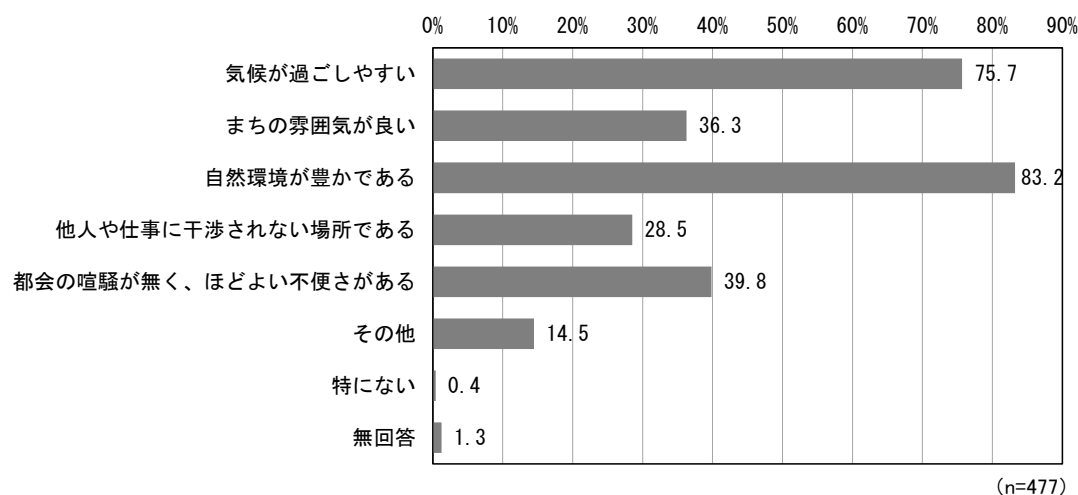
Q3. 軽井沢町が滞在しやすいと思う点

【MA】

○軽井沢町が滞在しやすいと思う点は、「自然環境が豊かである」が 83.2%で最も高く、「気候が過ごしやすい」が 75.7%、「都会の喧騒が無く、ほどよい不便さがある」が 39.8%の順となっています。

●“40 歳代”～“70 歳以上”で、「まちの雰囲気が良い」の割合は年齢が高くなるにつれて、低くなる傾向となっています。

●“4 か月以上”で「都会の喧騒が無く、ほどよい不便さがある」の割合が他の年齢区分に比べて高く、62.5%となっています。



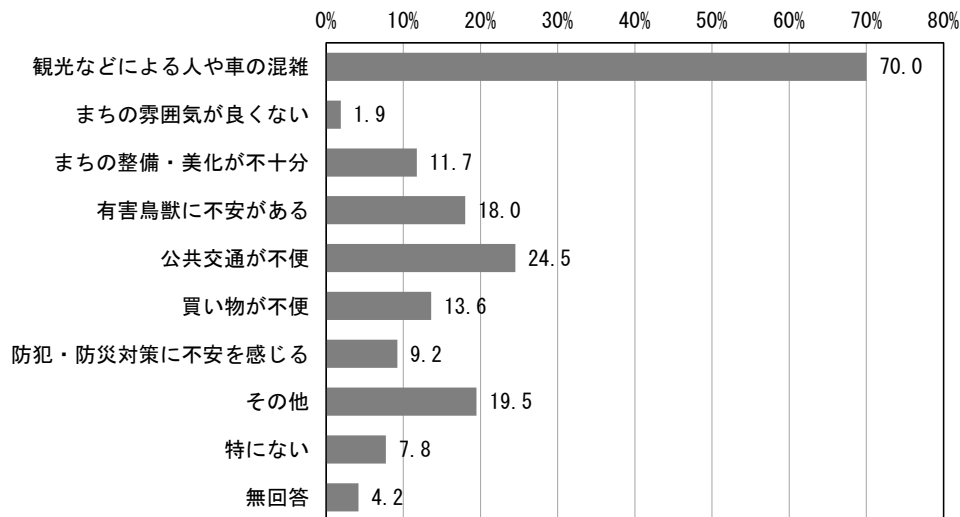
		合計	Q3 軽井沢町が滞在しやすいと思う点							
			気候が過 ごしやすい	まちの雰 囲気が良 い	自然環境 が豊かで ある	他人や仕 事に干渉 されない 場所であ る	都会の喧 騒が無 く、ほど よい不便 さがある	その他	特にな い	無回答
全体		477 100.0	361 75.7	173 36.3	397 83.2	136 28.5	190 39.8	69 14.5	2 0.4	6 1.3
Q 1 ① 年 齢	29歳以下	4 100.0	3 75.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	2 33.3	2 33.3	5 83.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	40歳代	26 100.0	21 80.8	16 61.5	23 88.5	8 30.8	10 38.5	2 7.7	0 0.0	0 0.0
	50歳代	81 100.0	65 80.2	39 48.1	64 79.0	25 30.9	36 44.4	14 17.3	1 1.2	0 0.0
	60歳代	154 100.0	115 74.7	55 35.7	134 87.0	53 34.4	61 39.6	22 14.3	0 0.0	0 0.0
	70歳以上	200 100.0	155 77.5	59 29.5	167 83.5	47 23.5	82 41.0	31 15.5	0 0.0	1 0.5
	Q 1 ② 滞 在 期 間 （ 年 ）	1 週間未満	32 100.0	20 62.5	17 53.1	24 75.0	9 28.1	9 28.1	2 6.3	0 0.0
1 週間程度	49 100.0	37 75.5	16 32.7	37 75.5	8 16.3	19 38.8	6 12.2	1 2.0	0 0.0	0 0.0
2 ～ 3 週間程度	100 100.0	81 81.0	42 42.0	84 84.0	26 26.0	35 35.0	13 13.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1 か月程度	94 100.0	73 77.7	30 31.9	81 86.2	31 33.0	35 37.2	12 12.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2 ～ 3 か月程度	125 100.0	101 80.8	48 38.4	114 91.2	39 31.2	50 40.0	24 19.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4 か月程度以上	64 100.0	46 71.9	18 28.1	51 79.7	21 32.8	40 62.5	11 17.2	1 1.6	0 0.0	0 0.0

Q4 軽井沢町が滞在しにくいと思う点

【MA】

○軽井沢町が滞在しにくいと思う点は、「観光などによる人や車の混雑」が 70.0%と最も高く、次いで「公共交通が不便」が 24.5%、「その他」が 19.5%の順となっています。

●“年齢区分”及び“滞在期間（年）”で大きな違いはみられませんが、“50 歳代”及び“60 歳代”で「有害鳥獣に不安がある」が他の年齢区分と比較して割合が高くなっています。



(n=477)

		合計	Q4 軽井沢町が滞在しにくいと思う点									
			観光など による人 や車の混 雑	まちの雰 囲気が良 くない	まちの整 備・美化 が不十分	有害鳥獣 に不安が ある	公共交通 が不便	買い物が 不便	防犯・防 災対策に 不安を感 じる	その他	特になし	無回答
全体		477 100.0	334 70.0	9 1.9	56 11.7	86 18.0	117 24.5	65 13.6	44 9.2	93 19.5	37 7.8	20 4.2
Q1 ① 年齢	29歳以下	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	40歳代	26 100.0	21 80.8	0 0.0	4 15.4	3 11.5	5 19.2	2 7.7	1 3.8	6 23.1	1 3.8	0 0.0
	50歳代	81 100.0	66 81.5	0 0.0	10 12.3	19 23.5	14 17.3	13 16.0	7 8.6	18 22.2	7 8.6	1 1.2
	60歳代	154 100.0	111 72.1	1 0.6	16 10.4	35 22.7	39 25.3	11 7.1	15 9.7	33 21.4	12 7.8	4 2.6
	70歳以上	200 100.0	130 65.0	8 4.0	26 13.0	28 14.0	56 28.0	36 18.0	20 10.0	33 16.5	16 8.0	10 5.0
	Q1 ② 滞在期間（年）	1週間未満	32 100.0	24 75.0	0 0.0	2 6.3	7 21.9	8 25.0	4 12.5	2 6.3	6 18.8	5 15.6
	1週間程度	49 100.0	38 77.6	0 0.0	1 2.0	10 20.4	9 18.4	8 16.3	1 2.0	7 14.3	3 6.1	1 2.0
	2～3週間程度	100 100.0	67 67.0	0 0.0	8 8.0	17 17.0	21 21.0	13 13.0	10 10.0	19 19.0	14 14.0	4 4.0
	1か月程度	94 100.0	71 75.5	0 0.0	7 7.4	16 17.0	22 23.4	9 9.6	9 9.6	18 19.1	6 6.4	3 3.2
	2～3か月程度	125 100.0	87 69.6	7 5.6	20 16.0	28 22.4	33 26.4	18 14.4	15 12.0	26 20.8	8 6.4	2 1.6
	4か月程度以上	64 100.0	41 64.1	2 3.1	18 28.1	7 10.9	24 37.5	9 14.1	7 10.9	17 26.6	1 1.6	3 4.7

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

【Q. 4 滞在しにくいと思う点「1. 観光などによる人や車の混雑」の改善策】

○61 人から 69 件の記述がありました。

記述内容	件数
道路整備	21
幹線道路の迂回道路の整備	
道路の拡充	
混雑時にボトルネックになりやすい場所を把握して、道路の拡張、信号機の改善などの対策を	
信号の調整、右折レーンの確保	
信号のない交差点など、左・右から走ってくる車が見えにくい所が多く、樹木、枝の伐採を	
街路灯を増やして	
交通規制、交通緩和策	20
観光拠点には、車（自家用車、観光バス）を立ち入り禁止にして駐車場と観光拠点の間に町営バス又は市電（または町電）を走らせるなどして、「自然環境」を保護。「町内活性化」を計画してほしい	
鎌倉市の様に周りの地域から中に車で入れないようにする	
連休等混雑時は、自家用車等の乗り入れ規制を行う	
町民税、固定資産税を払っている別荘所有車にステッカーを配布し、ステッカーのない車が別荘地へ入ることを規制する	
通勤時の鉄道利用者増への誘引対策の実施	
時差移動の推進。高速料金を変動させる	
住民、仕事、別荘所有など特定の車以外は一定量の町内進入をやめ、バスでの移動とする	
例えば町役場を P として、中軽井沢駅から軽井沢駅まで電車移動に	
細い道をスピード超過車が入ってこないようにする。静かな軽井沢をゆっくり車も走るような対策は絶対に必要	
ツルヤ、デリシアにおける観光客と町民、別荘民の利用時間帯を分ける	
軽井沢中学校前の右折踏切横断の廃止	
鉄道と車の有効な連動（自家用車の軽井沢駅等への流入をコントロールする）、観光と物流の動線を区分けする	
別荘地の細い道路を出来るだけ一方通行にして	
開発規制	9
宅地開発は旧軽井沢地区ではなく、新興地に	
隣地境界線と建築物の距離をもっと取るべき	
住宅地（含む別荘地）と事業用地（倉庫、作業所、駐車場、資材置き場等）の混在を条例を以て禁止すること。軽井沢は観光地ではなく、別荘保養地であるとの認識を明確にすること	
ホテルや宿泊施設をこれ以上増やさない。混雑する観光地へは、専用バスを利用するようにする	
建物の色、建ぺい率など厳しくして自然を守る取り組みをしてほしい	
観光施設の建設規制	
駐車場整備	3
ハルニレテラス、アウトレット周辺の道路環境、駐車場の整備	
駐車場をもっと多くして	
GW や夏の旧軽銀座への車の流入は、渋滞を起こすので、規制してその代わりに他の場所に駐車場を設けたらよい	

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

記述内容	件数
自転車利用の促進、快適性の向上	3
近年貸自転車等のサイクリングによる観光客を多く見かける。しかし一部の道路を除いて、自転車（および歩行者）に対する安全な通行空間の整備は十分とは言えない。自転車観光は歓迎である。ツーリングルートの指定などを行い、ルート上の自転車、歩行者のための通行空間を整備されたい。又、必要地点での駐輪スポットの整備も重要	
コミュニティサイクルの設置、自転車道の整備	
道路の渋滞は諦めているので、外出は自転車にしている	
交通整理	3
【●●●】1つに集中し、そこが交通渋滞の原因になっている。Pの整理が悪い。→きちんとした教育を受けさせた整理員を置く	
千ヶ滝に住む者として、星野エリアを通るのに混雑がひどく、今少しの整理を望む	
渋滞緩和の為【●●●】の交通整理	
まちづくりの方向	3
今年は、コロナ禍の下、軽井沢への訪問客が減少したが、往復の交通渋滞もなく又、町の移動もスムーズで大変気分よく静養することが出来た。これこそが本来の保養地としてのあるべき姿ではないか？この点を配慮して町づくりを考えて欲しい	
冬期は来軽者数が極端に少ない。冬期の魅力アップ対策として、又ゴミ処理対策として、町のゴミ焼却施設＋大型温水レジャー施設を建設して、別荘族にも冬期に来てもらい、日常品の地元購入を増やす。同時に地元住民の人工温泉を楽しむことに寄与出来る	
箱物をなくし、穏やかで静かな街に	
その他	7
混雑時期の軽井沢滞在を極力回避する	
路面電車（トラム）や市内バス（専用車線、電気自動車）など公共交通の整備が必要	
西武のアウトレット方面の道が混雑することが多いので、あえて出かけない	
宣伝を控える	
滞在中は、移動時間を考えて行動する様にしている（混雑をさけるために）	
ピークシーズンを外して滞在するしかなさそう	
混雑の解決策を実施すると、もっと人が来て結局同じ混雑になるので、特に施策を必要と思わない	
合 計	69

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

【Q. 4 滞在しにくいと思う点「2. まちの雰囲気良くない」の改善策】

○ 6 人から 7 件の記述がありました。

記述内容	件数
まちづくりの方向	4
もっと文化（地元の方）度の高いまちづくりを	
観光主体と軽井沢の街に住むゆっくりの主体の区分をはっきりさせる	
旧軽は夏のピーク時は、他の観光地と同じ様になってきて避暑地というイメージがなくなった（昭和 30～40 年ごろと比べてみると）また、中軽は駅周辺もさびれて活気がなくなっている。これが長くつづく旧軽のみが軽井沢というイメージが定着しそうである。そこで、軽井沢は中山道の三宿あるので、旧軽、中軽、追分、それぞれ独自の特長を作ってみては。かつて小さいころ、中軽の脇本陣の薦屋に夏の間すごしたことがあり、この昔の宿場を再現してみてもうであろう。追分については油屋を核に、文士の町などで昭和の雰囲気を残すなどし、現代、江戸時代、昭和（～明治まで）と 3 つの顔をもつ避暑地としてはどうであろうか	
観光客、特に外国のマナーの悪い人たちを制限する。長期滞在の人を増やす。もう十分人が多いとは思いますが。どこかで歯止めを掛けないと、軽井沢本来の良さが失われる	
開発規制の強化、指導	3
塀を作らず門柱も浅間石が木の杭というルールが破られていて、昔の面影が失われていっている。もう少し規制を強化してほしい。大規模開発で樹木が業者によって切られている。旧軽銀座通りは目も当てられない酷さになっている。安い T シャツ屋が並んでいて、雰囲気がとても悪い	
開発にある程度の制限が必要。今までの暗黙のルール（塀不可、樹木伐採制限、土地の細分化不可など）のルール明確化	
建物の形状、空調の室外機の設置、建物周りの木々の確保に規制を設ける。木の根が張るには時間がかかることから敷地の境界近くの樹木は極力切らない。別荘の土地近くに宿泊施設が出来る時には、諸々配慮指導をする	
合 計	7

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

【Q. 4 滞在しにくいと思う点「3. まちの整備・美化が不十分」の改善策】

○36 人から 42 件の記述がありました。

記述内容	件数
道路の舗装、改良、歩道の整備	18
公共の町道を点検、舗装	
轍が多い。砂利をひく回数を増やす	
塩沢交差点の歩道橋が古く汚く見えるので、塗装し直して	
大雪時の除雪に課題。別荘地の道路を町道化してもらいたい	
町道が整備されていない部分のポイ捨てのゴミが気になる。道路がきれいだとゴミを捨てる気にならないと思うので、まずは道路をきれいにしていきたい	
千メートル林道の千ヶ滝西区への入り口から「ふれあい公園」までの間歩道が完備されていないため、歩行者にとっても運転手にとってもストレスが大きい。歩道の設置を希望する	
景観・美観の維持・創出	8
・電線等の埋設化 ・伐採規制の強化 ・古い建物の保存支援	
JR 軽井沢駅北口から旧軽の大通りに木をもっと植える。その大通りの 1 本西の通りの電柱を地中化。木を保護する条例の運用の厳格化	
別荘の建設、レストラン等も外観もチェックする規制が場所によってはあっても良い	
維持管理費と効果を考えて、施設の建設をすること。自然環境の維持保全に予算配分を傾斜させるべき	
「食べ歩き」のお店は、その場で「立ち食い」でゴミの回収を徹底していただくようお願いしたい	
条例で 1 種低層住宅と 1 種住宅地域を隔てる線上に緩衝地帯を設け、一区画の面積や建ぺい率について中間ゾーンを定めることはできないか？再開発時に敷地に残すべき樹木について、もう少し強力な指導はできないものか？	
もっと徹底した自然環境改善策と環境美化策が必要	
新築別荘については派手な外観規制を強化し、もっとシックな街の雰囲気となるようにして	
生活の利便性、快適性の向上	7
WiFi 等の無線技術を活用したスマートシティ化	
住宅地や三笠通りに郵便ポストを設けて	
予算を箱ものに使うのではなく、山くすれの場所を直したり、道の側溝をきちんとふたをしたり、生活に密着した所でも使って	
我が家は浅間サンライン沿いにある家ですが、一向に下水道整備がなされず、浄化槽のままで、本下水に比べ、何かと費用がかかり不公平感と共に町政の怠慢を感じる	
ゴミを捨てに車が必要で不便なので、帰る時に生ゴミだけでも捨てられる場所が駅付近にあればと思う。通りがかりの人が捨てて行かないような工夫をすれば、設置可能ではないか	
公衆トイレがきれいに整備され、とても便利になったと思うが、インターをおりて 72 ゴルフ場をすぎて「トイレ 500m」との看板があるが、見当たらない。位置をよく示してほしい	
旧軽の愛宕山水源の水道水を飲むと下痢になる。地元の方、別荘の方の同様の話をよく聞く	
自転車道の整備	4
自転車道（サイクリングロード）が基本的に円滑でない。非常に走りにくい。観光客も失望すると思われる。是非整備してほしい。（18 号バイパス軽井沢→ツルヤは特にひどい）	
自転車で動くが、歩道が凸凹で走りにくい	
滞在中は、自転車を多く利用するのですが、自転車道の不備	

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

記述内容	件数
医療の充実	2
医療に不安、充実していない！町の病院として科目が不十分で、安心して住む気がないのが残念。通院の医師、安定性が欠けている	
心身共に健康になれる町として医療を充実させてほしい。設備（医療器具や専門的に特化した医師とか）を整えて、何か特別な町に！	
廃屋対策	2
廃墟を片付けてほしい。危険、美観損なう	
使っていない別荘を、自然を感じられる家として整備し、町が管理し貸し出す	
夏季大学の改善	1
夏季大学を長年活用し、毎回改善を提案しているが、改められない。〇〇先生は交代させて。「統一テーマ」を設けるのに反対。夏のリゾート地での夏季大学は、雑多なテーマをシャワーのように浴びてリフレッシュするもの。3日間同じテーマの話を聞かされるのは、リゾート地での大学ではふさわしくない	
合 計	42

【Q. 4 滞在しにくいと思う点「4. 有害鳥獣に不安がある」の改善策】

○ 7 人から 8 件の記述がありました。

記述内容	件数
熊について	5
熊の侵入管理部隊をつくって、熊の行動管理と規制を積極的に行う。都会から動物慣れしていない人々が来るので、熊に出会ったときに誤った対応をしてしまい、被害が発生する可能性が年々高まっていると思う	
熊は鈴を持ち歩くことで避けるようにする	
最近、熊の出没が増えている。猟友会の方々に協力してもらい、もっと駆除できる体制を整えてほしい	
熊に出会ったことはないが、もう少し山の方にいてくれるとありがたい	
熊とサルが怖い（サルは対策して下さっていますが…）	
イノシシについて	2
特にイノシシが出没し危険である。鳥獣保護区域かもしれぬが、人間に危険であり駆除願いたい	
イノシシに毎年庭を荒らされている。イノシシが近寄れないように警報機の類の機器を設置できないか	
サルについて	1
サルのいたずらで TV の配線や電話ケーブルが年に 1 回は切れる。駆除するか本気で人間の怖さを知らしめて欲しい。イノシシも同様ですが、もともと彼らの生活圏を犯しているのは人間ですが、観光客のエサやり等もう少し何とかして欲しい	
合 計	8

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

【Q. 4 滞在しにくいと思う点「5. 公共交通が不便」の改善策】

○27 人から 28 件の記述がありました。

記述内容	件数
バス便の充実	24
バスの便数を増やして	
夏期だけでもバスの運行を増やして	
町内循環バスを 増やして	
別荘管理事務所前から軽井沢駅へのバスを増やして	
1 日 2 回程でも、別荘地内にコミュニティバスのようなものがあればいいと思う。(予約制でも)	
別荘地内と駅、スーパーマーケットを循環するバスがあれば良い	
軽井沢⇄中軽井沢など基本的なバス便の増加	
軽井沢駅-デリシアー病院-中軽井沢駅-つるや などのバス便をせめて 2 時間おきに数本/日、運行のバスを検討願いたい	
別荘地から駅へのマイクロバス運行 (ワンボックスカー等)	
コミュニティバスをたくさん走らせる	
バス停の増加	
18 号線を小渚から軽井沢までつないでいたバスがなくなったのが一番不便なこと	
バスの時間が不規則。便数が少ない	
その他交通手段の充実	3
電気自転車のリースを充実する	
滞在者専用タクシーなど	
電気自動車	
その他	1
車がない場合の交通手段の MAP を作って	
合 計	28

【Q. 4 滞在しにくいと思う点「6. 買い物が不便」の改善策】

○18 人から 21 件の記述がありました。

記述内容	件数
コンビニ、スーパーの充実	10
三笠パーク、旧軽銀座の間にコンビニが欲しい	
南軽井沢あたりに、コンビニではなく、スーパーがあると良い	
スーパーの誘致が必要	
コンビニとスーパーがコラボして、コンビニで日常の生活食物を購入できる様に	
旧軽銀座に日用品売る店（コンビニとか）がなく不便。ロータリー近くに小さくてもスーパーマーケットが一つほしい。昔は紀ノ国屋があり便利だった。新聞も取り扱う店も是非ほしい	
別荘地の中にはお店などなくして構わないが、せめて駅前にはコンビニの一つがあると助かる	
食品を買うためのスーパーが少ない。歩ける範囲で増えてほしい	
配達システムの整備	7
スーパー等の食品の配達システムが整うと、より良い	
買物は金額に応じて配達	
せめてスーパーの宅配は繁忙期でも利用できる状態であって欲しい	
移動販売店を選考する	
レストランが混雑するので、デリバリーがもっとできると家でゆっくりできて軽井沢もっと楽しめる。観光がすごい人数でもデリバリー（安価）があれば OK	
商店の活性化	3
中軽井沢駅付近の商店の活性化に公助を	
地域の商店を特例する	
お店を点在させる！	
その他	1
軽井沢駅で野菜など生鮮食品を少しでも販売したら、売れると思う。別荘に着く前に最低限材料が買えたら助かる	
合 計	21

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

【Q. 4 滞在しにくいと思う点「7. 防犯・防災対策に不安を感じる」の改善策】

○10 人から 10 件の記述がありました。

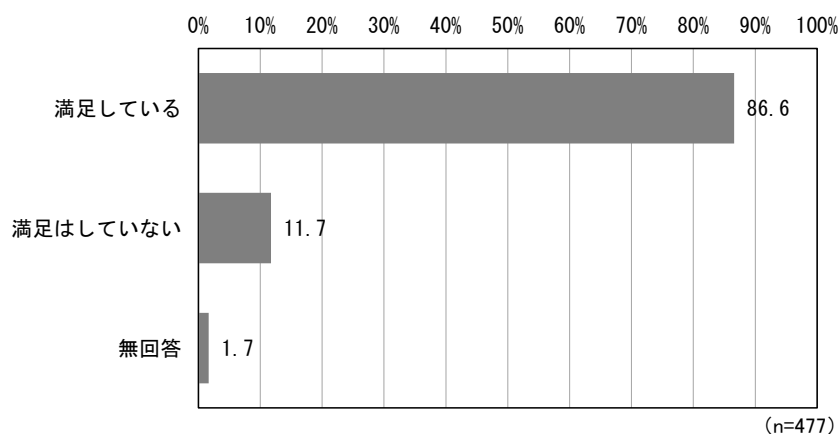
記述内容	件数
街灯の整備	5
街路灯を増やす	
私道でも危険な所は電灯の整備	
暗すぎるので、特にうすい峠にライトを！外灯をもう少し増やす	
街灯が少なく暗い。畑の方が特に真っ暗で怖い位	
防犯対策の充実	3
防犯カメラの設置	
見回り	
防犯対策を十分にしておいて	
防災対策の充実	2
台風、雨風の災害に対する対策を予め取ること	
今後自然災害に対しての避難対策について、もっと具体的に軽井沢町としてどう考えているか、教えてほしい。日本を代表する避暑地としてモデルケースとなってほしい	
合 計	10

Q5 別荘の立地環境の満足度

【SA】

○別荘の立地環境の満足度は、「満足している」が86.6%、「満足していない」が11.7%となっています。

●“年齢区分”及び“滞在期間（年）”で大きな違いはみられません。



		合計	Q5 別荘の立地環境の満足度		
			満足している	満足はしていない	無回答
全体		477 100.0	413 86.6	56 11.7	8 1.7
Q1 ① 年齢	29歳以下	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0
	40歳代	26 100.0	24 92.3	2 7.7	0 0.0
	50歳代	81 100.0	69 85.2	11 13.6	1 1.2
	60歳代	154 100.0	132 85.7	20 13.0	2 1.3
	70歳以上	200 100.0	175 87.5	21 10.5	4 2.0
	Q1 ② 滞在期間（年）	1週間未満	32 100.0	29 90.6	2 6.3
	1週間程度	49 100.0	42 85.7	7 14.3	0 0.0
	2～3週間程度	100 100.0	93 93.0	6 6.0	1 1.0
	1か月程度	94 100.0	81 86.2	12 12.8	1 1.1
	2～3か月程度	125 100.0	108 86.4	16 12.8	1 0.8
	4か月程度以上	64 100.0	50 78.1	12 18.8	2 3.1

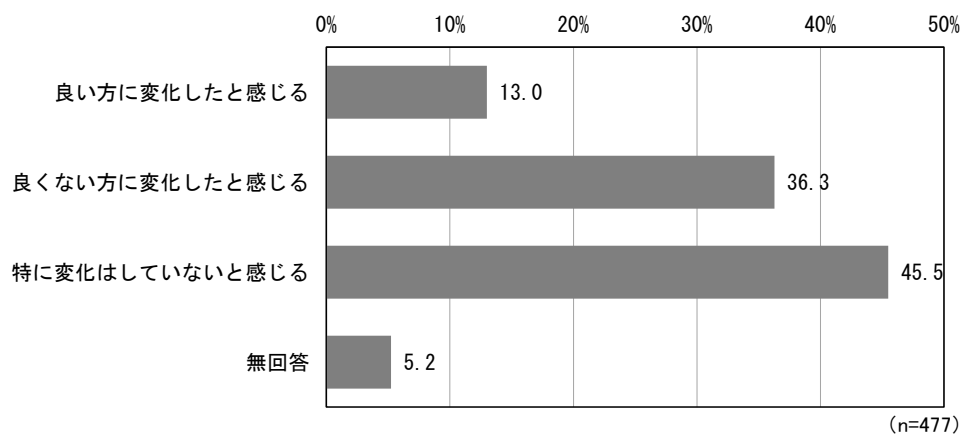
Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

Q6 別荘の立地環境は近年変化していると感じるか

【SA】

○別荘の立地環境は近年変化していると感じるかは、「特に変化はしていないと感じる」が45.5%で最も高く、次いで「良くない方に变化したと感じる」が36.3%、「良い方に变化したと感じる」が13.0%の順となっています。

- “2～3か月程度”及び“4か月程度以上”で、「良くない方に变化したと感じる」の割合が、他の年齢区分と比較して高くなっています。



		合計	Q6 別荘の立地環境は近年変化していると感じるか			
			良い方に 変化した と感じる	良くない 方に変化 したと感 じる	特に変化 はしてい ないと感 じる	無回答
全体		477 100.0	62 13.0	173 36.3	217 45.5	25 5.2
Q1 ① 年 齢	29歳以下	4 100.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	0 0.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0
	40歳代	26 100.0	4 15.4	8 30.8	14 53.8	0 0.0
	50歳代	81 100.0	12 14.8	28 34.6	37 45.7	4 4.9
	60歳代	154 100.0	18 11.7	63 40.9	65 42.2	8 5.2
	70歳以上	200 100.0	26 13.0	70 35.0	91 45.5	13 6.5
	Q1 ② 滞 在 期 間 （年）	1週間未満	32 100.0	3 9.4	8 25.0	21 65.6
	1週間程度	49 100.0	8 16.3	15 30.6	26 53.1	0 0.0
	2～3週間程度	100 100.0	18 18.0	27 27.0	50 50.0	5 5.0
	1か月程度	94 100.0	11 11.7	31 33.0	46 48.9	6 6.4
	2～3か月程度	125 100.0	14 11.2	57 45.6	46 36.8	8 6.4
	4か月程度以上	64 100.0	7 10.9	30 46.9	21 32.8	6 9.4

【Q. 6 「1. 良い方に変化したと感じる」点】

○61 人から 66 件の記述がありました。

記述内容	件数
施設・建物、店が整備された	18
近隣地域が多面的に開発されだした。風致公園、発地市場、温泉など	
ハルニレテラス等の施設が出来た	
おいしくてリーズナブルなレストランが増えた。(ナマステ軽井沢) 徒歩圏内にスーパーマーケットが出来た。(デリシア)	
近くに博物館等ができ、良くなった	
風越地区の整備 (アイススケート他)	
コンビニや飲食店が増えてきた	
住宅・別荘の建築が進行	15
適度に別荘が近隣に建ち始め、孤立感がなくなっている事	
近くの空き地に家が建ち、景観が改良された	
世代交代が進み、建物も新しくなって活性化していると思う	
新しい別荘が増えて、治安の面でプラスになるかと思う	
新しい別荘が増え、景観が整ってきている。水たまりや大きな穴などが減り、道路が整備されてきている	
道路が整備された	11
道路が良くなった	
道が少しましになった。外灯が全く無かったが、少し設置された	
主要道路のアスファルト化(冬季降雪時の除雪が助かる)	
水たまりや大きな穴などが減り、道路が整備されてきている	
景観が良くなった	7
案内板や電柱の統一	
美観を壊さずに建築され、防犯上良い	
街並みが整備され住みやすくなっている	
開発が進み、人口が増加	7
開発が進んだ	
適度に施設、人口等が増えている	
定住者が増え、安心出来る	
その他	8
来街者の減少による、静かさの回復が有る	
西武の業績が改善したのか、別荘内の清掃をきちんとしてくれる	
この4～年、別荘が建てられたが、樹木が適度に残されている方だと感謝している	
周りとのコミュニケーションが取れるようになった	
長年問題となっていた事項が解決し、環境も良くなって風通しも良い方向へ向かっている	
近所に知人が来たこと	
軽井沢町より高い位置にあるので夏は涼しく静かでよい	
町営水道の利用	
合 計	66

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

【Q. 6「2. 良くない方に変化したとを感じる」点】

○175 人から 215 件の記述がありました。

記述内容	件数
開発が進行し、住宅、マンション等の増加、別荘地の細分化	54
旧軽ですが、近年各別荘が分割？等で、小さい別荘が多くなった	
昔からの自然が壊され、大型の建物がどんどん建っていく。昔からの別荘所有者が土地を手放している	
大規模の開発、マンションが増加している	
隣家の住人が手放し、後の持ち主が貸別荘として短期の客中心の経営をしているようで、環境が悪化している	
ホテルに囲まれる形になった	
個人所有地跡に大きな建物マンションが増えている	
開発が進行し、森や木が減少	47
多くの新築物件では、木々を切り倒しての建設が多いと感じる	
更地にして売却する際に、樹木をみんな伐採してしまう	
木の伐採が多くなっている。一区画 300 坪以上としてはどうか	
乱開発に近い木の伐採が行われ、自然破壊が目に見えて進んでいる	
勝手な道路沿いの並木の伐採	
温暖化、涼しさの喪失	12
蚊が出るようになり、以前は見なかったセミが出現するようになった。白樺や高山植物を見ることができなくなった。全て温暖化による影響と思っている	
樹木を必要以上に伐採する傾向になってきている。その為、緑が少なく日陰も少なく、夏は温暖化して別荘地→都会化している	
木々が伐採されマンションなどが増えて、エアコンの室外機から熱風が出ている	
春、秋がとても短くなり、地球温暖化の影響だと思う。東京も同じかと思う	
道路問題	11
開発が進み、住宅がどんどん増えるのに道路状況は全く昔のままで、一向に改善されない	
別荘の前の道路がまったく整備されていない。整備されている道路とされていない道路の差が大きい	
道路周辺の草刈り、街路樹の剪定、補植が行われていない	
必要のないと思われる所が舗装されてしまって、景観が悪くなってしまったのが残念	
景観等環境の悪化	10
別荘というより会社の接待館みたいな大きくて豪華なコンクリートの建物が多くなった。自然と調和しない	
建物の色、建ぺい率、境界線からの距離などの軽井沢ルールを守っていない建物が増えてきた	
廃墟と化した別荘（別荘地内）、住宅や商店やレストランが美観をそこねている	
どんどん新しい家が建てられている。浅間山が見えにくくなった	
交通量が増加、騒音問題	9
どこへ行っても混雑している。交通量が多くなり騒々しい	
静かな環境が少しずつ失われている。特に都会から来た車、バイク等の騒音	
ハルニレテラス駐車場への殺到、抜け道による騒音増	
狭い道が混むようになった	

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

記述内容	件数
人の流入、人口増加	9
居住者が増加している	
軽井沢を知らない人達が雰囲気壊している	
町が観光の方で混みすぎて、ゆっくりと過ごす時間が取れなくなって来ている	
サイクリングコースに入っているのか、マナーの悪いサイクリング者が増えた	
野生動物や野鳥等を見かけなくなった	8
樹木が切られ、リスやキジなど見かけることがなくなった	
河川の下流を役所がコンクリ打ちにした為、蛍や鳥が激減した	
トンボがいなくなった	
渋滞	7
渋滞がひどくなった	
星野エリアの混雑は時期によるが、工夫が必要	
商店の問題	7
近くに店がなくなり、買い物、食事に不便になった	
別荘地内にあった小売店が閉店してしまい、日用品、食料の買い出しに大型スーパーまで行く必要がある	
行き止まりになっている近所にカフェ（飲食店）が出来、いろいろと問題が起きている	
抜け道通過、スピードの出し過ぎ	6
別荘の前の道が抜け道マップ等で知られ、普段通らない車が猛スピードで走り抜ける	
抜け道になり、大型バス、トラックまで細い道を走	
有害鳥獣が多くなった	5
近年野生動物の出没が増え、イノシシやカモシカに庭をめちゃくちゃにされるようになってきた	
熊などの野生動物の危害・危険を四六時中感じる	
樹木への影響	5
近年の気候が不安定のため、森林に葉枯れ病などがみられたり影響が出ている	
雨が増えたせいか、木が朽ちるのが早くなった気がする	
樹木の発生が早く感じる	
住宅や別荘地内のインフラの劣化	4
樹木の成長がすごく、家の劣化につながり不安。湿気が思った以上に高く、外壁がくさってきた	
ＴＶが映らなくなった。（業者によると、家周辺の樹木のせいではなく、発信局から家への間の樹木が大きくなった為との事）	
奥にホテルが出来たためか、連休やお盆に水量が確保できずお湯にならない	
別荘地内インフラの劣化	
災害への不安	4
傾斜地に建っているので、自然災害が怖い	
災害指定区域になった	
土砂崩れなど災害が増加した	
大雨で床下浸水し、役所では河岸工事が出来ないとと言われて自費で蛇籠を設置した	
空き家、廃屋が多くなった	3
使用していない別荘が多くなっている	
無人老朽化した家がそのまま放置されている	

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

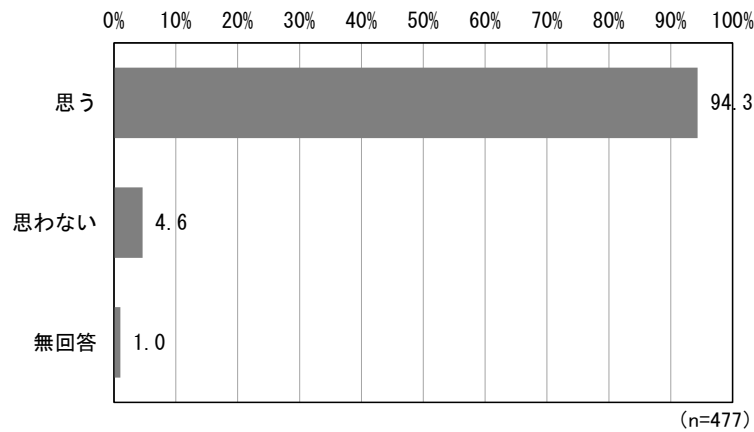
記述内容	件数
開発が進行し、都会化	2
家が多くなり、都会化になりつつある	
開発が進んで都会並みになっている。それが今後良い方に変化か、悪い方に変化かわからない	
静けさがなくなってきている	2
家周りにたくさんの別荘が建ち、早朝から散歩の人、犬が騒いでお年寄りが住みにくくなった	
別荘数が増えて、静かな環境が無くなってきている	
別荘の管理・維持	2
こけの庭が荒れてきたところがある。(管理不十分)	
別荘地の管理	
その他	8
いまだ【●●●】の電波が弱い	
昔からの別荘族と新たに別荘を建てた方との交流がない	
隣人が畑道に農薬を使用、被害にあっている	
樹木を切られる。別荘と建てた年に紅葉を 10 数本植えたが、上部をすべて切られた。3 年前に白樺を 4 本植えたところ 1 本は根元から、もう 1 本は上部 20 cm 程切られた。りんごの木は 1 本丸ごと抜かれた。なぜそんなことをされるのかわからない。切り口はとても鋭利な刃物を使っているように見受けられ、家庭にあるような刃物ではないと思われる	
高齢になり、交通機関を利用せざるを得ないが、バスなどが不便。1 時間以上待ったこともある	
ゴミの処理の不便さ	
テニスコート等も整備されずに荒廃している	
自然破壊の外国資本を認可し規制せず、税金を払ってる別荘民に迷惑をかけても 知らないふりをする軽井沢役場の方向性	
合 計	215

Q7 今後も軽井沢町に別荘を持ち続けたいか

【SA】

○今後も軽井沢町に別荘を持ち続けたいかは、「思う」が94.3%、「思わない」が4.6%となっています。

●“年齢区分”及び“滞在期間（年）”で大きな違いはみられません。



		合計	Q7 今後も軽井沢町に別荘を持ち続けたいか		
			思う	思わない	無回答
全体		477 100.0	450 94.3	22 4.6	5 1.0
Q1 ① 年齢	29歳以下	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0
	40歳代	26 100.0	26 100.0	0 0.0	0 0.0
	50歳代	81 100.0	77 95.1	3 3.7	1 1.2
	60歳代	154 100.0	145 94.2	9 5.8	0 0.0
	70歳以上	200 100.0	190 95.0	6 3.0	4 2.0
Q1 ② 滞在期間（年）	1週間未満	32 100.0	29 90.6	3 9.4	0 0.0
	1週間程度	49 100.0	44 89.8	3 6.1	2 4.1
	2～3週間程度	100 100.0	97 97.0	3 3.0	0 0.0
	1か月程度	94 100.0	92 97.9	1 1.1	1 1.1
	2～3か月程度	125 100.0	117 93.6	7 5.6	1 0.8
	4か月程度以上	64 100.0	60 93.8	4 6.3	0 0.0

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

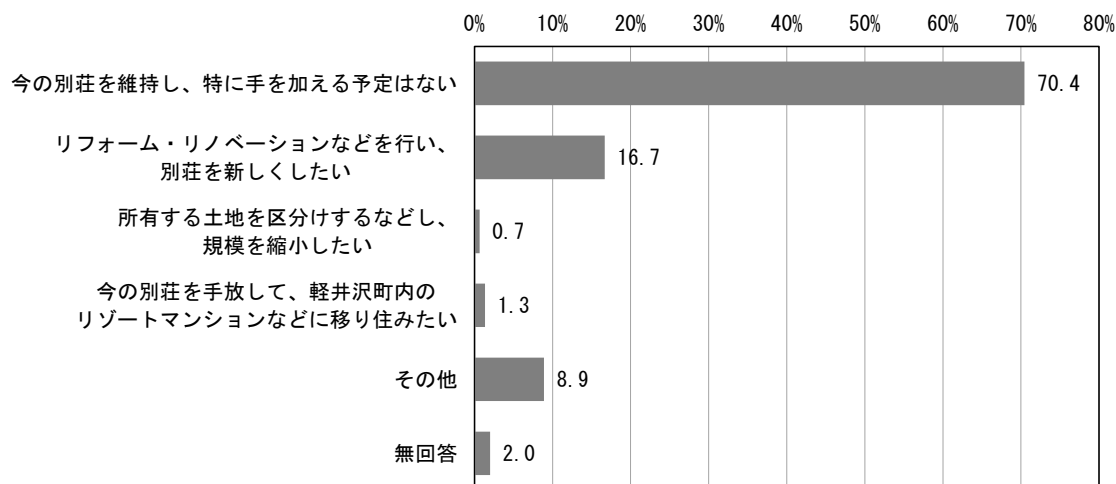
Q7-1 今後の別荘所有に関する考え方

【SA】

Q7で「思う」を選んだ方限定

○今後の別荘所有に関する考え方は、「今の別荘を維持し、特に手を加える予定はない」が70.4%で最も高く、次いで「リフォーム・リノベーションなどを行い、別荘を新しくしたい」が16.7%、「その他」が8.9%の順となっています。

●“40歳代”で「リフォーム・リノベーションなどを行い、別荘を新しくしたい」が30.8%で他の年齢区分と比較して高くなっています。



(n=450)

		合計	Q7-1 今後の別荘所有に関する考え方						
			今の別荘を維持し、特に手を加える予定はない	リフォーム・リノベーションなどを行い、別荘を新しくしたい	所有する土地を区分けするなどし、規模を縮小したい	今の別荘を手放して、軽井沢町内のリゾートマンションなどに移り住みたい	その他	無回答	非該当
全体		450	317	75	3	6	40	9	27
		100.0	70.4	16.7	0.7	1.3	8.9	2.0	
Q1 ① 年齢	29歳以下	4	4	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代	3	3	0	0	0	0	0	3
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40歳代	26	14	8	0	0	2	2	0
		100.0	53.8	30.8	0.0	0.0	7.7	7.7	
	50歳代	77	45	14	0	1	15	2	4
	100.0	58.4	18.2	0.0	1.3	19.5	2.6		
	60歳代	145	93	32	2	3	12	3	9
		100.0	64.1	22.1	1.4	2.1	8.3	2.1	
	70歳以上	190	155	21	1	2	10	1	10
		100.0	81.6	11.1	0.5	1.1	5.3	0.5	
Q1 ② 滞在期間（年）	1週間未満	29	16	7	1	0	3	2	3
		100.0	55.2	24.1	3.4	0.0	10.3	6.9	
	1週間程度	44	34	7	0	0	3	0	5
		100.0	77.3	15.9	0.0	0.0	6.8	0.0	
	2～3週間程度	97	66	15	0	2	13	1	3
		100.0	68.0	15.5	0.0	2.1	13.4	1.0	
	1か月程度	92	61	19	1	4	6	1	2
		100.0	66.3	20.7	1.1	4.3	6.5	1.1	
	2～3か月程度	117	94	13	1	0	7	2	8
	100.0	80.3	11.1	0.9	0.0	6.0	1.7		
	4か月程度以上	60	41	12	0	0	5	2	4
		100.0	68.3	20.0	0.0	0.0	8.3	3.3	

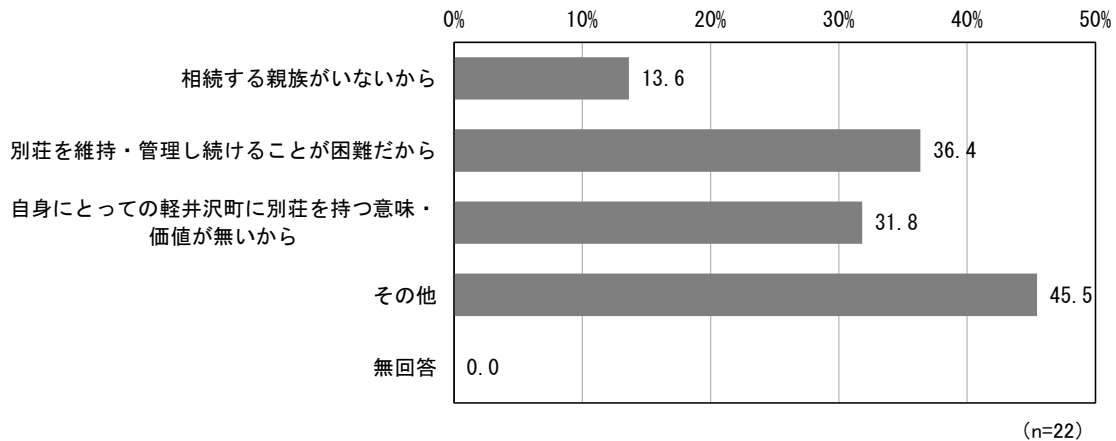
Q7-2 別荘を持ち続けたいと思わない理由

【MA】

Q7で「**思わない**」を選んだ方限定

○別荘を持ち続けたいと思わない理由は、「その他」が45.5%で最も高く、次いで「別荘を維持・管理し続けることから困難だから」が36.4%、「自身にとっての軽井沢町に別荘を持つ意味・価値がないから」が31.8%の順となっています。

●“60歳代”及び“70歳以上”で、「別荘を維持・管理し続けることから困難だから」の割合が高くなっています。



		合計	Q7-2 別荘を持ち続けたいと思わない理由					非該当
			相続する親族がないから	別荘を維持・管理し続けることが困難だから	自身にとっての軽井沢町に別荘を持つ意味・価値が無いから	その他	無回答	
全体		22 100.0	3 13.6	8 36.4	7 31.8	10 45.5	0 0.0	455
Q1 ①年齢	29歳以下	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4
	30歳代	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	3
	40歳代	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	26
	50歳代	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	78
	60歳代	9 100.0	2 22.2	4 44.4	3 33.3	4 44.4	0 0.0	145
	70歳以上	6 100.0	1 16.7	3 50.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	194

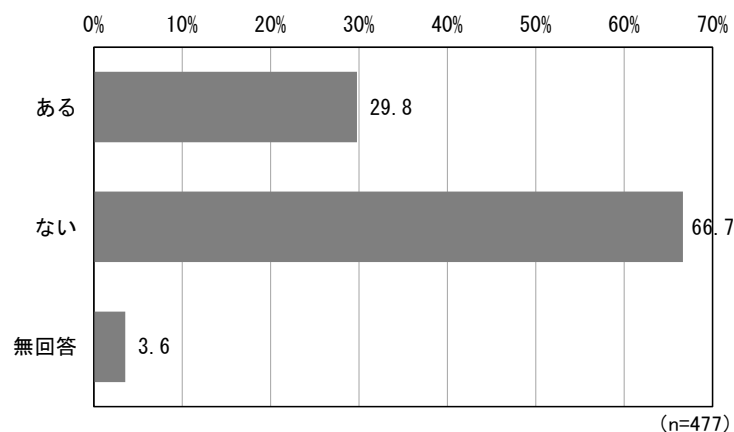
Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

Q8 軽井沢町への移住意向

【SA】

○軽井沢町への移住意向は、「ない」が66.7%、「ある」が29.8%となっています。

●“30歳代”及び“50歳代”で、移住意向「ある」の割合が高くなっています。



		合計	Q8 軽井沢町への移住意向		
			ある	ない	無回答
全体		477 100.0	142 29.8	318 66.7	17 3.6
Q1 ①年齢	29歳以下	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0
	40歳代	26 100.0	6 23.1	19 73.1	1 3.8
	50歳代	81 100.0	42 51.9	37 45.7	2 2.5
	60歳代	154 100.0	63 40.9	91 59.1	0 0.0
	70歳以上	200 100.0	28 14.0	159 79.5	13 6.5

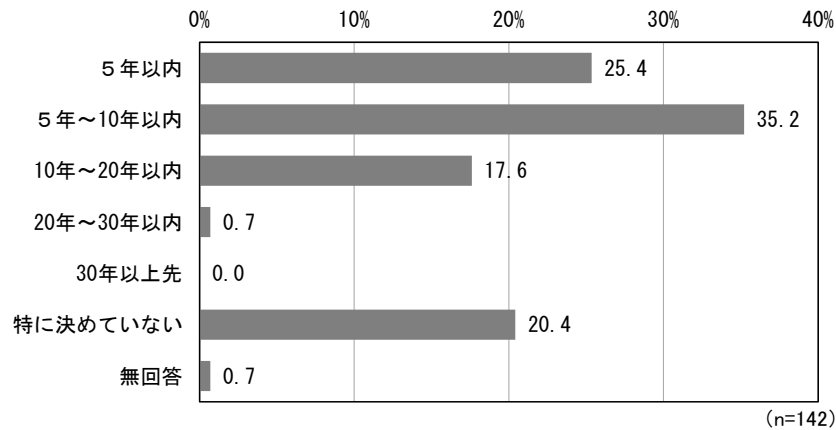
Q8-1 移住予定は何年先位を考えているか

【SA】

Q8で「ある」を選んだ方限定

○移住予定は何年先位を考えているかは、「5～10年以内」が35.2%、次いで「5年以内」が25.4%、「特に決めていない」が20.4%の順となっています。

●年齢区分によって、大きな違いはみられませんが、「60歳代」及び「70歳以上」で「特に決めていない」が2割程度となっています。



		合計	Q8-1 移住予定は何年先位を考えているか						
			5年以内	5年～10年以内	10年～20年以内	20年～30年以内	30年以上先	特に決めていない	無回答
全体		142 100.0	36 25.4	50 35.2	25 17.6	1 0.7	0 0.0	29 20.4	1 0.7
Q1 ①年齢	29歳以下	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代	6 100.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0
	50歳代	42 100.0	3 7.1	22 52.4	11 26.2	0 0.0	0 0.0	6 14.3	0 0.0
	60歳代	63 100.0	20 31.7	17 27.0	11 17.5	0 0.0	0 0.0	14 22.2	1 1.6
	70歳以上	28 100.0	9 32.1	9 32.1	3 10.7	0 0.0	0 0.0	7 25.0	0 0.0

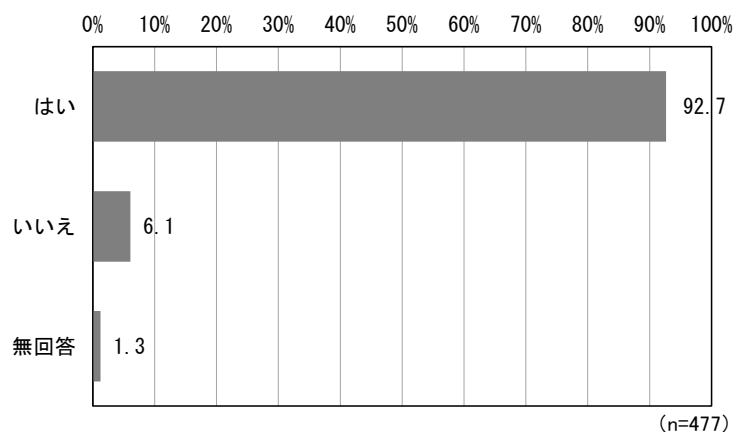
Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

Q9 昨年の軽井沢町滞在の有無

【SA】

○昨年の軽井沢町滞在の有無は、「はい」が92.7%、「いいえ」が6.1%となっています。

●“1週間未満”及び“1週間程度”で、「いいえ」が、それぞれ18.8%及び12.2%となっています。



		合計	Q9 昨年の軽井沢町滞在の有無		
			はい	いいえ	無回答
全体		477 100.0	442 92.7	29 6.1	6 1.3
Q 1 ② 滞在期間（年）	1 週間未満	32 100.0	26 81.3	6 18.8	0 0.0
	1 週間程度	49 100.0	42 85.7	6 12.2	1 2.0
	2 ～ 3 週間程度	100 100.0	93 93.0	5 5.0	2 2.0
	1 か月程度	94 100.0	90 95.7	3 3.2	1 1.1
	2 ～ 3 か月程度	125 100.0	119 95.2	4 3.2	2 1.6
	4 か月程度以上	64 100.0	60 93.8	4 6.3	0 0.0

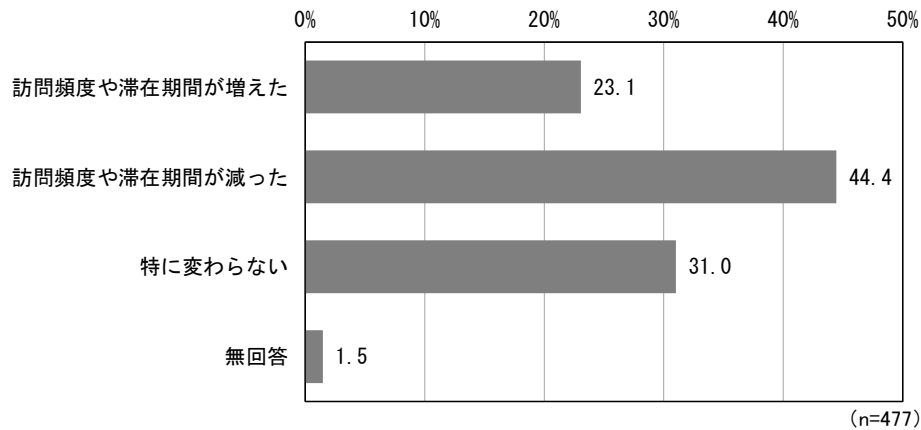
Q10 新型コロナウイルスの影響による訪問頻度・滞在期間の増減

【SA】

○新型コロナウイルスの影響による訪問頻度・滞在期間の増減は、「訪問頻度や滞在期間が減った」が 44.4%、「特に変わらない」が 31.0%、「訪問頻度や滞在期間が増えた」が 23.1%となっています。

●“29 歳以下”及び“40 歳代”で、「特に変わらない」が高くなっています。

●“4 か月”程度以上で、「訪問頻度や滞在期間が増えた」の割合が他の滞在期間と比較して高くなっています。



		合計	Q10 新型コロナウイルスの影響による 訪問頻度・滞在期間の増減			
			訪問頻度 や滞在期 間が増え た	訪問頻度 や滞在期 間が減っ た	特に変わ らない	無回答
全体		477 100.0	110 23.1	212 44.4	148 31.0	7 1.5
Q 1 ① 年 齢	29歳以下	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0
	40歳代	26 100.0	7 26.9	8 30.8	11 42.3	0 0.0
	50歳代	81 100.0	19 23.5	38 46.9	22 27.2	2 2.5
	60歳代	154 100.0	46 29.9	66 42.9	40 26.0	2 1.3
	70歳以上	200 100.0	35 17.5	95 47.5	67 33.5	3 1.5
	Q 1 ② 滞 在 期 間 （ 年 ）	1 週間未満	32 100.0	0 0.0	19 59.4	12 37.5
	1 週間程度	49 100.0	3 6.1	29 59.2	16 32.7	1 2.0
	2 ～ 3 週間程度	100 100.0	8 8.0	55 55.0	37 37.0	0 0.0
	1 か月程度	94 100.0	24 25.5	42 44.7	27 28.7	1 1.1
	2 ～ 3 か月程度	125 100.0	41 32.8	51 40.8	31 24.8	2 1.6
	4 か月程度以上	64 100.0	33 51.6	13 20.3	18 28.1	0 0.0

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

【Q.10「1. 訪問頻度や滞在期間が増えた」理由】

○105 人から 112 件の記述がありました。

記述内容	件数
感染リスクが低いと思ったから	43
別荘に滞在している方が、コロナウイルスに感染のリスクが低いと思ったから	
祖父母が東京で暮らすことに不安を感じたため	
コロナについて東京より安全と考えたから	
コロナ疎開したため	
人との接触、混雑を避けるため	
リモートワーク等仕事の関係	27
リモートワークが可能になったから	
Online で仕事が出来るから	
4 月から勤務先が原則在宅となり、軽井沢へ生活の拠点を移した	
テレワークが増えたため	
軽井沢で会社を経営してたため	
移動を少なく、期間を長くした	14
長期滞在を心掛け、極力都会との行き来を少なくした	
東京のメインの住まいと、軽井沢の比率（期間）を変えている。（東京 2：軽井沢 8）	
頻度は減ったが、期間は増えた。感染の増加中は訪問するのをひかえ、少し落ち着いたところに長期間の滞在で静かに過ごすようにした	
子どもや孫と過ごすため	8
孫たちが休校になったこともあり、静かで涼しい環境で勉強させたかった	
子どもたちを外で遊ばせるため	
学校がオンライン授業になったため、家族とゆっくり滞在できた	
気分転換になる	5
静かな環境でコロナ禍を忘れ、リラックスするため	
別荘に滞在することが気分転換になったため	
一時的に居住している、自宅	4
子どもの家族が移住の為、一時利用中。（一戸建ての完成まで）	
別荘は自宅なので、外出には当たらない	
旅行に行けないため	4
国内外への旅行がなくなったので、その日程を別荘滞在にした	
旅行に行けないので別荘滞在が増えた	
自然環境が良いため	3
人が少なく空気がきれいだから	
都会の混雑を避け、庭など自宅にない広さがあるから	
その他	4
5～6 回増。旧軽ゴルフクラブの月例に出場し始めた	
軽井沢町長さんの” 長期滞在して下さい ” ということばに感動	
別荘なので、行きやすかった	
7 月末で定年退職したため	
合 計	112

【Q. 10「2. 訪問頻度や滞在期間が減った」理由】

○196 人から 206 件の記述がありました。

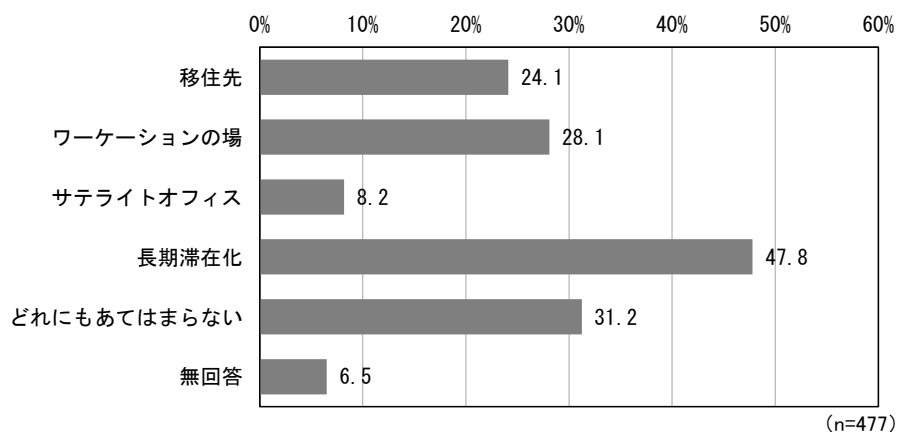
記述内容	件数
自粛したため	92
東京からコロナを気が付かずに持ってきてはいけないと思ったから、遠慮した	
ステイホームを守ったため	
自粛すべきだったから	
東京のコロナ人数の増加等で、軽井沢への感染拡大を考慮して訪問回数を減らした	
県外からの移動自粛のため	
緊急事態宣言による越県移動の規制	42
緊急事態宣言により、越県移動の制限を受けたため	
県外への旅行禁止のため	
東京都の都外移動自粛要請	
軽井沢に行くことへの反対、いやがらせ等があると聞き、東京等からの移動がしにくかった	39
【●●●】市長の発言で行けなくなった。一回行ったとき、車体にマニキュアを塗られた	
軽井沢町長が東京から来るなと言ったから	
【●●●】県知事による「来ないでキャンペーン」もあった	
県外ナンバーで来るのが、なんとなく憚られた	
移動中の感染リスクが心配	13
新幹線を利用しているので、道中の感染が心配	
公共交通機関の利用をしたくないから	
スーパー等での買い物中に他県からの人々との接触があるのではないかと	
公共交通機関の減便等	3
公共機関の減便	
公共交通機関が利用しにくい	
その他	17
コロナの為、夏休みが短くなり家族との調整が難しかった	
お盆休みの混雑を避けたため	
外部から訪れる人が多く、不安があった。観光客が多く不安。自宅で過ごした	
県外からの訪問が地元の方への迷惑になるのか、プラスになるのかわからなかった。同居の家族以外を誘っての滞在が出来なかった	
別荘は電波が悪く、在宅勤務ができないため	
仕事が大変になったから	
毎年参加していた軽井沢トーナメント（テニス）がキャンセルとなったため	
合 計	206

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

Q11 今後の働き方における軽井沢町の可能性

【MA】

- 今後の働き方における軽井沢町の可能性は、「長期滞在化」が47.8%で最も高く、次いで「どれにもあてはまらない」が31.2%、「ワーケーションの場」が28.1%の順となっています。
- “40歳代”及び“50歳代”で「ワーケーションの場」がそれぞれ46.2%及び43.2%となっています。

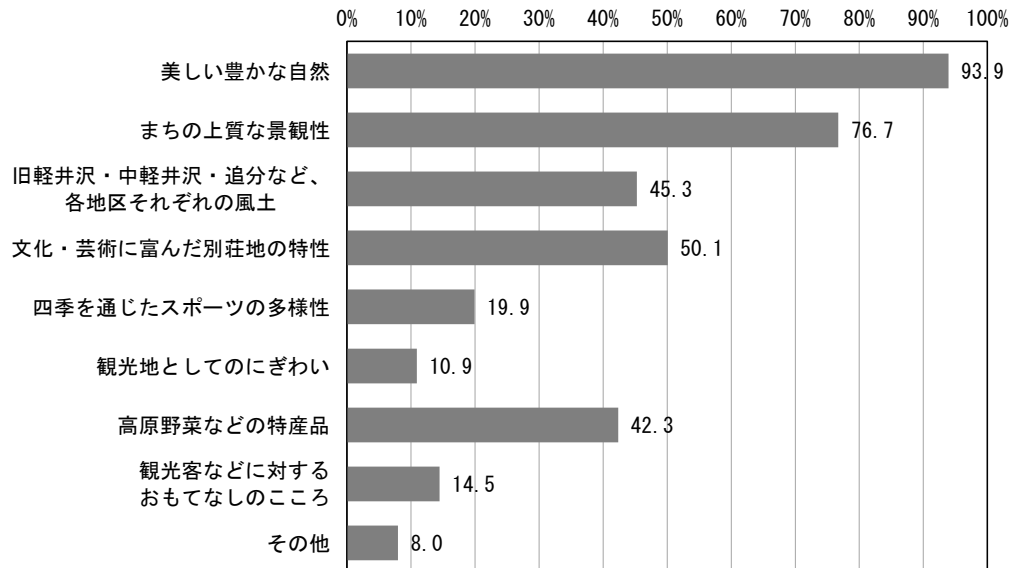


		合計	Q11 今後の働き方における軽井沢町の可能性					
			移住先	ワーケーションの場	サテライトオフィス	長期滞在化	どれにもあてはまらない	無回答
全体		477 100.0	115 24.1	134 28.1	39 8.2	228 47.8	149 31.2	31 6.5
Q1 ①年齢	29歳以下	4 100.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	40歳代	26 100.0	8 30.8	12 46.2	3 11.5	13 50.0	4 15.4	1 3.8
	50歳代	81 100.0	28 34.6	35 43.2	14 17.3	57 70.4	15 18.5	3 3.7
	60歳代	154 100.0	50 32.5	47 30.5	11 7.1	82 53.2	44 28.6	3 1.9
	70歳以上	200 100.0	27 13.5	35 17.5	9 4.5	74 37.0	80 40.0	23 11.5

Q12 次代へ継承していくべきもの

【MA】

- 次代へ継承していくべきものは、「美しい豊かな自然」が93.9%で最も高く、次いで「まちの上質な景観性」が76.7%、「文化・芸術に富んだ別荘地の特性」50.1%の順となっています。
- 年齢区分で大きな違いはみられませんが、“29歳以下”で「高原野菜などの特産品」の割合が高くなっています。



(n=477)

		合計	Q12 次代へ継承していくべきもの									
			美しい豊かな自然	まちの上質な景観性	旧軽井沢・中軽井沢・追分など、各地区それぞれの風土	文化・芸術に富んだ別荘地の特性	四季を通じたスポーツの多様性	観光地としてのにぎわい	高原野菜などの特産品	観光客などに対するおもてなしのこころ	その他	無回答
全体		477 100.0	448 93.9	366 76.7	216 45.3	239 50.1	95 19.9	52 10.9	202 42.3	69 14.5	38 8.0	6 1.3
Q1 ①年齢	29歳以下	4 100.0	4 100.0	3 75.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	5 83.3	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	40歳代	26 100.0	25 96.2	22 84.6	12 46.2	12 46.2	4 15.4	6 23.1	14 53.8	3 11.5	2 7.7	0 0.0
	50歳代	81 100.0	77 95.1	61 75.3	40 49.4	50 61.7	22 27.2	16 19.8	34 42.0	16 19.8	8 9.9	1 1.2
	60歳代	154 100.0	142 92.2	128 83.1	62 40.3	79 51.3	33 21.4	16 10.4	72 46.8	25 16.2	11 7.1	1 0.6
	70歳以上	200 100.0	189 94.5	146 73.0	95 47.5	96 48.0	32 16.0	11 5.5	73 36.5	23 11.5	16 8.0	4 2.0

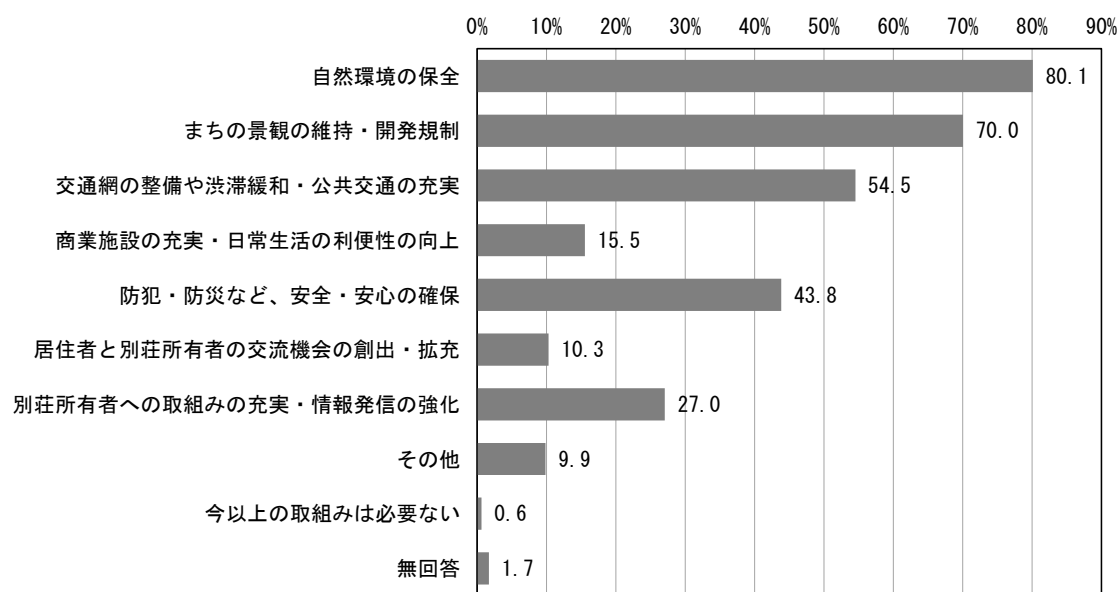
Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

Q13 今以上に力を入れる必要があると思う点

【MA】

○今以上に力を入れる必要があると思う点は、「自然環境の保全」が80.1%で最も高く、次いで「まちの景観の維持・開発規制」が70.0%、「交通網の整備や渋滞緩和・公共交通の充実」が54.5%の順となっています。

- “29歳以下”で「防犯・防災など、安全・安心の確保」の割合が高くなっています。
- “30歳代”及び“40歳代”で「交通網の整備や渋滞緩和・公共交通の充実」が6割以上と高くなっています。



(n=477)

		合計	Q13 今以上に力を入れる必要があると思う点									
			自然環境 の保全	まちの景 観の維 持・開発 規制	交通網の 整備や渋 滞緩和・ 公共交通 の充実	商業施設 の充実・ 日常生活 の利便性 の向上	防犯・防 災など、 安全・安 心の確保	居住者と 別荘所有 者の交流 機会の創 出・拡充	別荘所有 者への取 組みの充 実・情報 発信の強 化	その他	今以上の 取組みは 必要ない	無回答
全体		477 100.0	382 80.1	334 70.0	260 54.5	74 15.5	209 43.8	49 10.3	129 27.0	47 9.9	3 0.6	8 1.7
Q 1	29歳以下	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	6 100.0	4 66.7	2 33.3	4 66.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	40歳代	26 100.0	18 69.2	13 50.0	18 69.2	6 23.1	8 30.8	3 11.5	6 23.1	1 3.8	1 3.8	0 0.0
	50歳代	81 100.0	64 79.0	55 67.9	48 59.3	18 22.2	35 43.2	10 12.3	27 33.3	9 11.1	0 0.0	1 1.2
① 年 齢	60歳代	154 100.0	127 82.5	118 76.6	87 56.5	16 10.4	66 42.9	21 13.6	44 28.6	13 8.4	0 0.0	1 0.6
	70歳以上	200 100.0	163 81.5	141 70.5	100 50.0	31 15.5	92 46.0	14 7.0	50 25.0	22 11.0	2 1.0	6 3.0

3 自由意見

Q14 自由意見

【FA】

- 町の行政に望むことやまちづくりに関するご意見・ご提案については、202 人（42.3%）の方から 266 件のご意見をいただきました。
- 主な記述内容としては、「【基本方針 1 森と高原の快適環境】」に関するご意見が 146 件で最も多く、次いで「【基本方針 2 交流を促す円滑交通】」に関するご意見が 40 件、「【基本方針 4 軽井沢ブランドを活かした交流のまち】」に関するご意見が 16 件の順となっています。

項 目		件 数	
【基本方針１ 森と高原の快適環境】			
自然環境の保全と活用について、開発について	51	146	
軽井沢町のまちについて／思い、印象、今後の方向について	37		
良好な景観・まち並みの形成について、空き家対策について	15		
ゴミ廃棄・収集について	10		
別荘地内の木の伐採・管理について	10		
情報・通信網整備について	8		
にぎわいと快適性を備えたまちづくりの推進について	7		
有害鳥獣対策について	3		
上下水道整備について	3		
都市ガスについて	1		
生物多様性の保全について	1		
【基本方針２ 交流を促す円滑交通】			
交通網の整備、道路交通の安全性・利便性の確保について、安全で快適な歩行環境の確保について、安全対策について	30	40	
公共交通の利便性の向上について	9		
レンタサイクル等について	1		
【基本方針３ 災害に強い安全・安心のまち】			
災害時の有線放送について、災害対策等情報の提供、災害に強いまちづくり	8	9	
防犯対策について	1		
【基本方針４ 軽井沢ブランドを活かした交流のまち】			
商業の振興について	10	16	
観光の振興について	6		
【基本方針５ 安心して暮らせる健康福祉のまち】			
医療体制の充実について	6	7	
ウェルネスコミュニティの活性化	1		
【基本方針６ 人を育てる教育・文化】			
文化・芸術活動の振興について	3	5	
生涯学習・生涯スポーツの振興について	2		
【基本方針７ 住民が主役の協働参画のまちづくり】			
住民参画によるまちづくりの推進について	5	11	
情報共有化の推進について	3		
地域コミュニティについて	3		

Ⅳ 別荘所有者アンケート調査

項 目		件 数	
【基本方針8 持続と自律の地域主権】			
	税金等について	3	4
	職員対応の向上について	1	
コロナ関連について		5	
庁舎建設について		3	
感謝		3	
アンケートについて		1	
その他		16	
合 計		266	

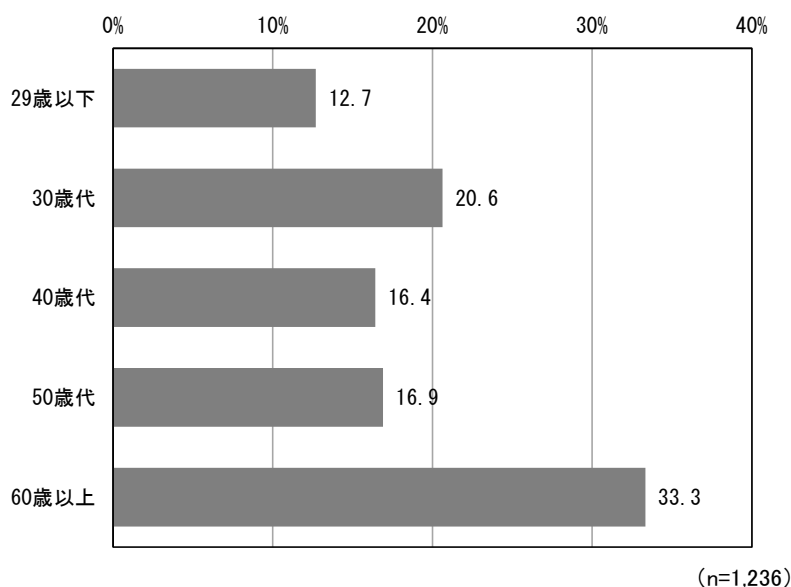
V 町外アンケート

1 回答者の属性

※回答者属性の「年齢」及び「職業」は、調査会社からのデータ提供によるものであり、設問を設定して得たデータではない。

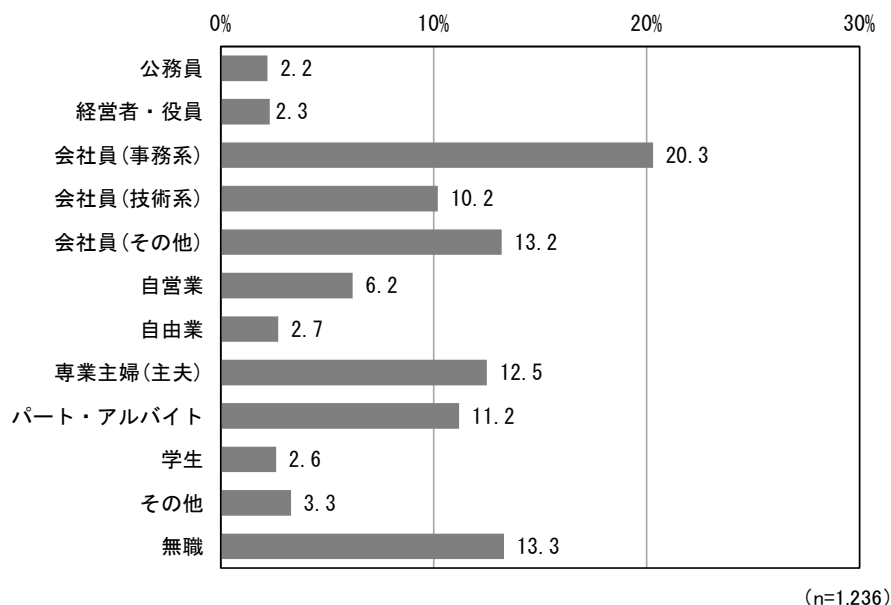
① 年齢

○回答者の年齢は、「60歳以上」が33.3%、「30歳代」が20.6%、「50歳代」が16.9%、「40歳代」16.4%、「29歳以下」が12.7%となっています。



② 職業

○回答者の職業は、「会社員（事務系）」が20.3%で最も高く、次いで「無職」が13.3%、会社員（その他）」が13.2%となっています。



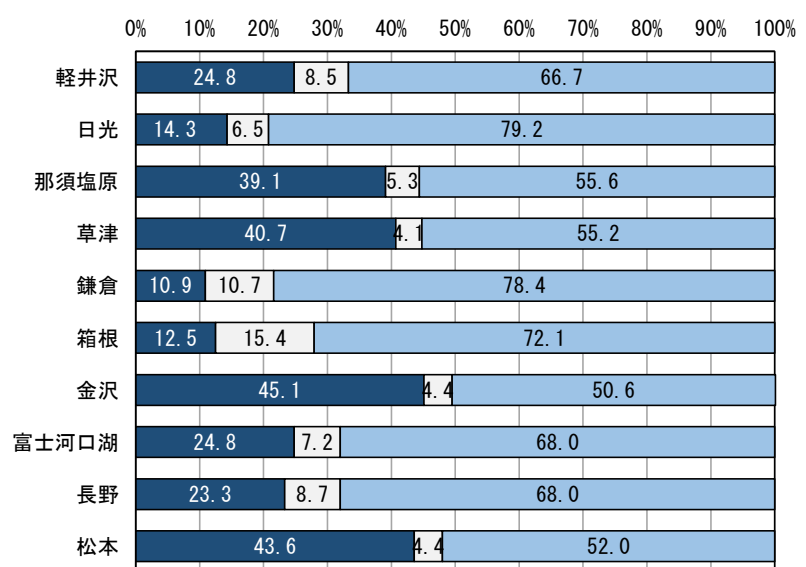
2 都市について

Q1 行ったことのある都市

【SA】

○行ったことのある都市の「一年以内に行った」及び「一年以上前に行った」を合わせた『行ったことがある』は、“鎌倉”が89.1%で最も高く、次いで“箱根”が87.5%、“日光”が85.7%の順となっています。“軽井沢”は75.2%となっています。

- 年齢区分別に軽井沢についてみると、『行ったことがある』うち、「1年以上前に行った」が“30歳代”～“60歳以上”で割合が高くなっています。
- “29歳以下”では、「行ったことがない」が52.9%で他の年齢区分と比較して割合が高くなっています。



(n=1,236)

■行ったことがない □1年以内に行った ■1年以上前に行った

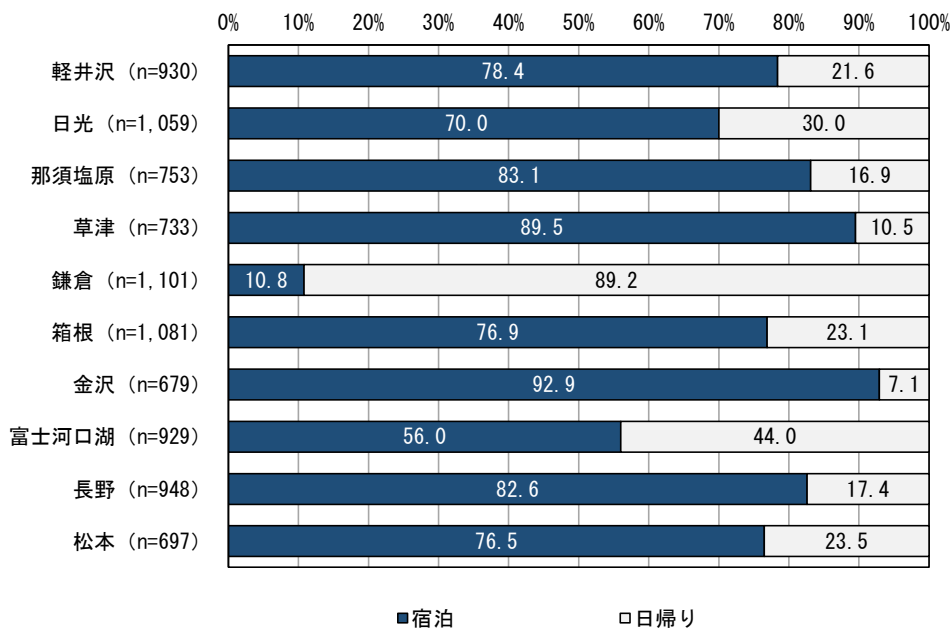
		合計	Q1 行ったことのある都市 軽井沢			
			行ったことがない	1年以内に行った	1年以上前に行った	無回答
全体		1236 100.0	306 24.8	105 8.5	825 66.7	0 0.0
年齢	29歳以下	157 100.0	83 52.9	19 12.1	55 35.0	0 0.0
	30歳代	255 100.0	75 29.4	24 9.4	156 61.2	0 0.0
	40歳代	203 100.0	61 30.0	18 8.9	124 61.1	0 0.0
	50歳代	209 100.0	44 21.1	7 3.3	158 75.6	0 0.0
	60歳以上	412 100.0	43 10.4	37 9.0	332 80.6	0 0.0

Q2 行ったことがある都市への訪問様式

【SA】

Q1で「1年以内・1年以上前に行った」を選んだ都市についての限定

- 行ったことがある都市への訪問様式を「宿泊」でみると、“金沢”が 92.9%で最も高く、次いで“草津”が 89.5%、“那須塩原”が 83.1%の順となっています。“軽井沢”は 78.4%となっています。
- 「日帰り」でみてみると、“鎌倉”が 89.2%で最も高く、次いで“富士河口湖”が 44.0%、“日光”が 30.0%の順となっています。“軽井沢”は 21.6%となっています。
- 年齢区分別に軽井沢についてみてみると、“50 歳代”及び“60 歳以上”で「宿泊」の割合がそれぞれ 81.8%及び 81.6%と高くなっています。



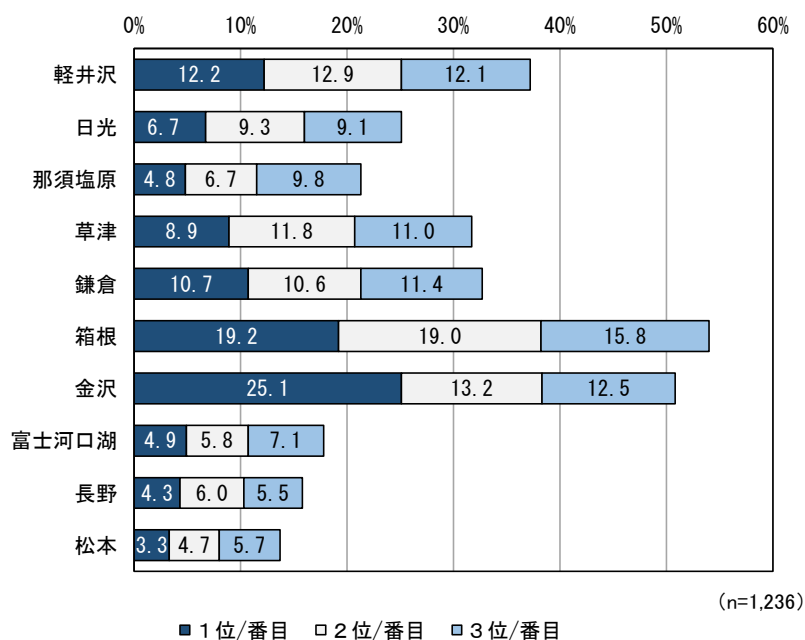
		合計	Q2_行ったことがある都市への訪問様式_軽井沢		
			宿泊	日帰り	無回答
全体		930 100.0	729 78.4	201 21.6	0 0.0
年齢	29歳以下	74 100.0	54 73.0	20 27.0	0 0.0
	30歳代	180 100.0	131 72.8	49 27.2	0 0.0
	40歳代	142 100.0	108 76.1	34 23.9	0 0.0
	50歳代	165 100.0	135 81.8	30 18.2	0 0.0
	60歳以上	369 100.0	301 81.6	68 18.4	0 0.0

V 町外アンケート

Q3 行ってみたい都市

【SA】

- これから行ってみたい都市の「1位」は、“金沢”が25.1%で最も高く、次いで“箱根”が19.2%、“軽井沢”が12.2%の順となっています。
- 「2位」では、“箱根”19.0%が最も高く、“金沢”が13.2%、“軽井沢”が12.9%の順となっています。
- 「3位」では、“箱根”が15.8%で最も高く、次いで“金沢”が12.5%、“軽井沢”が12.1%の順となっています。
- 年齢区分別にしてみると、行ってみたい都市「3位」の“30歳代”で「軽井沢」が他の年齢区分と比べて最も高く、16.9%となっています。



		合計	Q3 行ってみたい都市（1位）										
			軽井沢	日光	那須塩原	草津	鎌倉	箱根	金沢	富士河口湖	長野	松本	無回答
年齢	全体	1236 100.0	151 12.2	83 6.7	59 4.8	110 8.9	132 10.7	237 19.2	310 25.1	60 4.9	53 4.3	41 3.3	0 0.0
	29歳以下	157 100.0	23 14.6	10 6.4	4 2.5	13 8.3	19 12.1	35 22.3	34 21.7	8 5.1	7 4.5	4 2.5	0 0.0
	30歳代	255 100.0	32 12.5	14 5.5	17 6.7	29 11.4	28 11.0	49 19.2	59 23.1	11 4.3	12 4.7	4 1.6	0 0.0
	40歳代	203 100.0	33 16.3	16 7.9	12 5.9	18 8.9	24 11.8	24 11.8	50 24.6	6 3.0	9 4.4	11 5.4	0 0.0
	50歳代	209 100.0	15 7.2	19 9.1	5 2.4	17 8.1	32 15.3	37 17.7	56 26.8	14 6.7	8 3.8	6 2.9	0 0.0
	60歳以上	412 100.0	48 11.7	24 5.8	21 5.1	33 8.0	29 7.0	92 22.3	111 26.9	21 5.1	17 4.1	16 3.9	0 0.0

		合計	Q3 行ってみたい都市（2位）										
			軽井沢	日光	那須塩原	草津	鎌倉	箱根	金沢	富士河口湖	長野	松本	無回答
年齢	全体	1236 100.0	159 12.9	115 9.3	83 6.7	146 11.8	131 10.6	235 19.0	163 13.2	72 5.8	74 6.0	58 4.7	0 0.0
	29歳以下	157 100.0	17 10.8	16 10.2	11 7.0	24 15.3	25 15.9	30 19.1	13 8.3	14 8.9	4 2.5	3 1.9	0 0.0
	30歳代	255 100.0	47 18.4	16 6.3	12 4.7	34 13.3	27 10.6	50 19.6	34 13.3	15 5.9	11 4.3	9 3.5	0 0.0
	40歳代	203 100.0	23 11.3	20 9.9	13 6.4	31 15.3	19 9.4	36 17.7	29 14.3	13 6.4	13 6.4	6 3.0	0 0.0
	50歳代	209 100.0	20 9.6	23 11.0	15 7.2	18 8.6	29 13.9	41 19.6	23 11.0	11 5.3	18 8.6	11 5.3	0 0.0
	60歳以上	412 100.0	52 12.6	40 9.7	32 7.8	39 9.5	31 7.5	78 18.9	64 15.5	19 4.6	28 6.8	29 7.0	0 0.0

V 町外アンケート

		合計	Q3 行ってみたい都市（3位）										
			軽井沢	日光	那須塩原	草津	鎌倉	箱根	金沢	富士河口湖	長野	松本	無回答
全体		1236 100.0	150 12.1	112 9.1	121 9.8	136 11.0	141 11.4	195 15.8	154 12.5	88 7.1	68 5.5	71 5.7	0 0.0
年齢	29歳以下	157 100.0	20 12.7	11 7.0	16 10.2	21 13.4	21 13.4	25 15.9	20 12.7	9 5.7	12 7.6	2 1.3	0 0.0
	30歳代	255 100.0	43 16.9	14 5.5	25 9.8	30 11.8	32 12.5	38 14.9	29 11.4	24 9.4	12 4.7	8 3.1	0 0.0
	40歳代	203 100.0	22 10.8	29 14.3	19 9.4	19 9.4	26 12.8	33 16.3	18 8.9	12 5.9	9 4.4	16 7.9	0 0.0
	50歳代	209 100.0	27 12.9	21 10.0	22 10.5	21 10.0	18 8.6	34 16.3	29 13.9	14 6.7	10 4.8	13 6.2	0 0.0
	60歳以上	412 100.0	38 9.2	37 9.0	39 9.5	45 10.9	44 10.7	65 15.8	58 14.1	29 7.0	25 6.1	32 7.8	0 0.0

Q4 都市のイメージ

【MA】

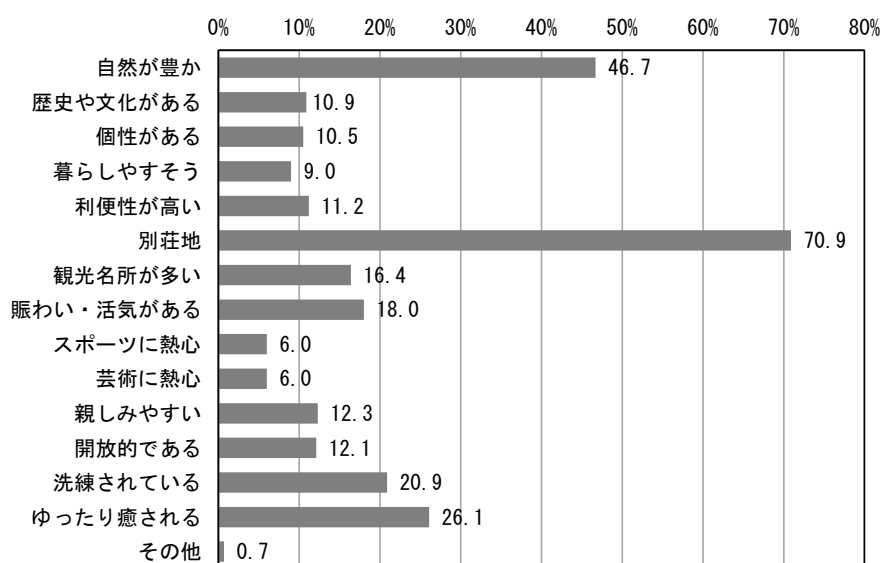
○軽井沢の都市イメージは、「別荘地」70.9%で最も高く、次いで「自然が豊か」が46.7%、「ゆったり癒される」が26.1%の順となっています。

●年齢区分別にみても、大きな違いはみられません。

●“行ったことがない”と比較すると、『行ったことがある』は「自然が豊か」の割合が10ポイント以上高くなっています。また、「賑わい・活気がある」の割合も10ポイント以上高くなっています。

●“日帰り”と比較すると“宿泊”では、各イメージの割合が高くなっています。

軽井沢



(n=1,236)

		合計	Q4 都市のイメージ 軽井沢							
			自然が豊か	歴史や文化がある	個性がある	暮らしやすそう	利便性が高い	別荘地	観光名所が多い	賑わい・活気がある
全体		1236	577	135	130	111	139	876	203	223
		100.0	46.7	10.9	10.5	9.0	11.2	70.9	16.4	18.0
年齢	29歳以下	157	78	11	5	18	10	105	23	18
		100.0	49.7	7.0	3.2	11.5	6.4	66.9	14.6	11.5
	30歳代	255	119	26	22	27	25	175	52	35
		100.0	46.7	10.2	8.6	10.6	9.8	68.6	20.4	13.7
	40歳代	203	86	15	16	17	17	140	32	35
		100.0	42.4	7.4	7.9	8.4	8.4	69.0	15.8	17.2
年齢	50歳代	209	92	21	20	15	20	137	41	44
		100.0	44.0	10.0	9.6	7.2	9.6	65.6	19.6	21.1
	60歳以上	412	202	62	67	34	67	319	55	91
		100.0	49.0	15.0	16.3	8.3	16.3	77.4	13.3	22.1

		合計	Q4 都市のイメージ 軽井沢							
			スポーツに熱心	芸術に熱心	親しみやすい	開放的である	洗練されている	ゆったり癒される	その他	無回答
全体		1236	74	74	152	149	258	323	9	0
		100.0	6.0	6.0	12.3	12.1	20.9	26.1	0.7	0.0
年齢	29歳以下	157	6	8	18	22	17	51	1	0
		100.0	3.8	5.1	11.5	14.0	10.8	32.5	0.6	0.0
	30歳代	255	15	21	21	30	48	82	2	0
		100.0	5.9	8.2	8.2	11.8	18.8	32.2	0.8	0.0
	40歳代	203	11	12	20	18	32	47	2	0
		100.0	5.4	5.9	9.9	8.9	15.8	23.2	1.0	0.0
年齢	50歳代	209	10	8	31	22	46	34	4	0
		100.0	4.8	3.8	14.8	10.5	22.0	16.3	1.9	0.0
	60歳以上	412	32	25	62	57	115	109	0	0
		100.0	7.8	6.1	15.0	13.8	27.9	26.5	0.0	0.0

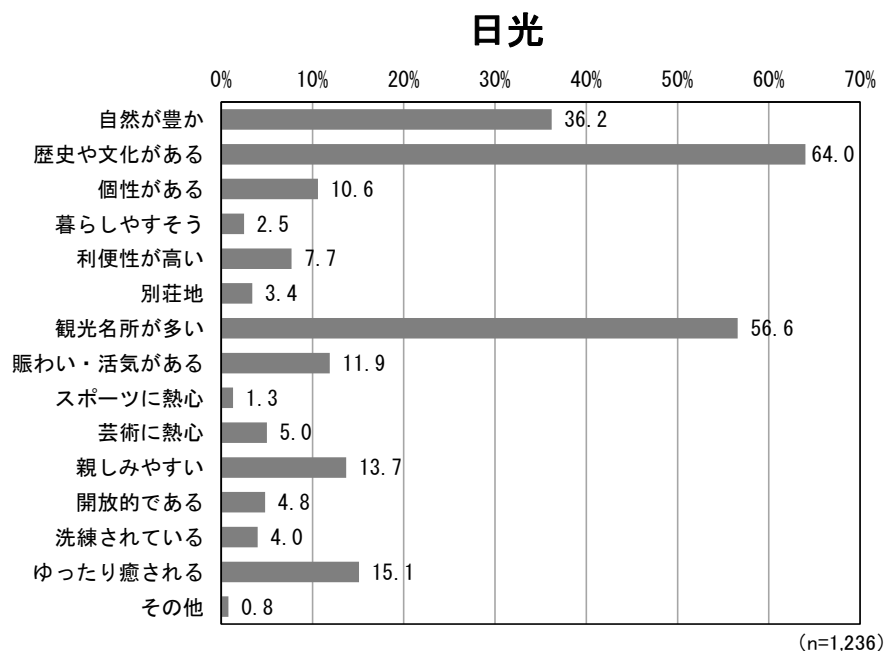
V 町外アンケート

		合計	Q4_都市のイメージ 軽井沢							
			自然が豊 か	歴史や文 化がある	個性があ る	暮らしや すそう	利便性が 高い	別荘地	観光名所 が多い	賑わい・ 活気がある
全体		1236 100.0	577 46.7	135 10.9	130 10.5	111 9.0	139 11.2	876 70.9	203 16.4	223 18.0
Q1_行ったこ とがある都市 _軽井沢	行ったことがない	306 100.0	117 38.2	23 7.5	20 6.5	17 5.6	16 5.2	198 64.7	30 9.8	27 8.8
	1年以内に行った	105 100.0	57 54.3	12 11.4	12 11.4	21 20.0	19 18.1	71 67.6	18 17.1	24 22.9
	1年以上前に行っ た	825 100.0	403 48.8	100 12.1	98 11.9	73 8.8	104 12.6	607 73.6	155 18.8	172 20.8
Q2_宿泊もし くは日帰り_ 軽井沢	宿泊	729 100.0	374 51.3	89 12.2	96 13.2	76 10.4	105 14.4	533 73.1	134 18.4	157 21.5
	日帰り	201 100.0	86 42.8	23 11.4	14 7.0	18 9.0	18 9.0	145 72.1	39 19.4	39 19.4

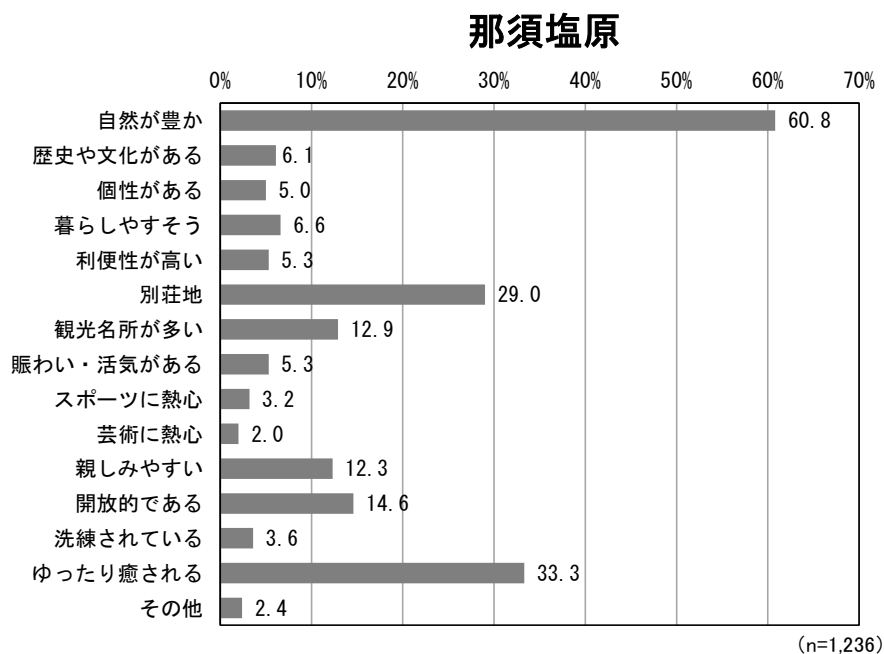
		合計	Q4_都市のイメージ 軽井沢							
			スポーツ に熱心	芸術に熱 心	親しみや すい	開放的で ある	洗練され ている	ゆったり 癒される	その他	無回答
全体		1236 100.0	74 6.0	74 6.0	152 12.3	149 12.1	258 20.9	323 26.1	9 0.7	0 0.0
Q1_行ったこ とがある都市 _軽井沢	行ったことがない	306 100.0	11 3.6	8 2.6	18 5.9	28 9.2	35 11.4	75 24.5	5 1.6	0 0.0
	1年以内に行った	105 100.0	6 5.7	6 5.7	20 19.0	8 7.6	24 22.9	29 27.6	1 1.0	0 0.0
	1年以上前に行っ た	825 100.0	57 6.9	60 7.3	114 13.8	113 13.7	199 24.1	219 26.5	3 0.4	0 0.0
Q2_宿泊もし くは日帰り_ 軽井沢	宿泊	729 100.0	53 7.3	52 7.1	115 15.8	104 14.3	182 25.0	203 27.8	2 0.3	0 0.0
	日帰り	201 100.0	10 5.0	14 7.0	19 9.5	17 8.5	41 20.4	45 22.4	2 1.0	0 0.0

V 町外アンケート

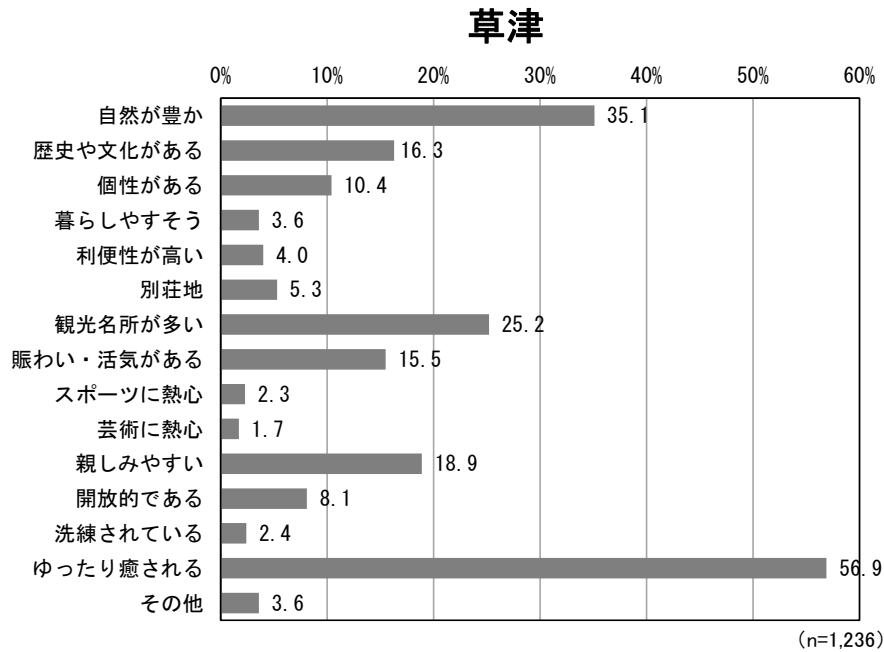
○日光の都市イメージは、「歴史や文化がある」が64.0%で最も高く、次いで「観光名所が多い」が56.6%、「自然が豊か」が36.2%の順となっています。



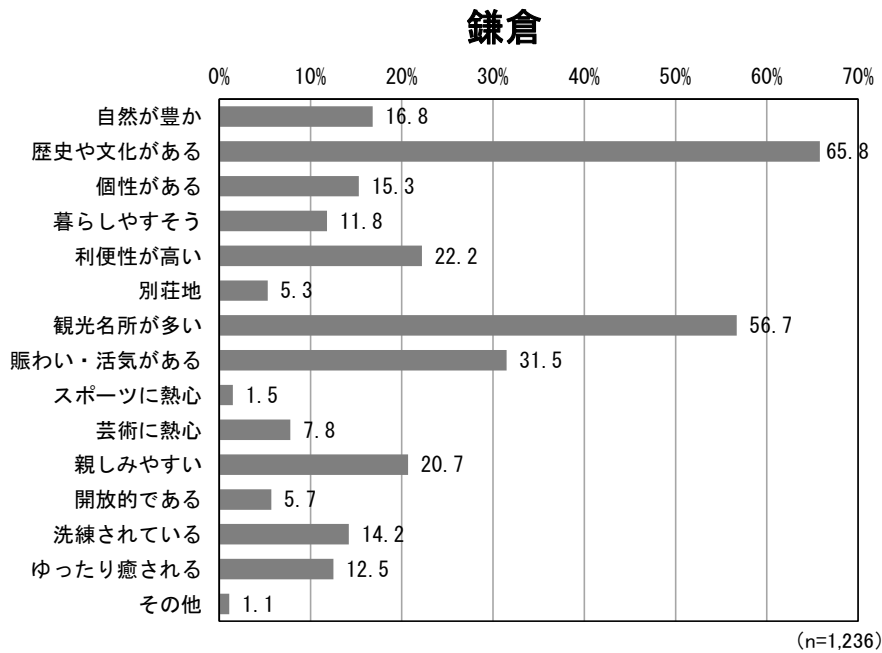
○那須塩原の都市イメージは、「自然が豊か」が60.8%で最も高く、次いで「ゆったり癒される」が33.3%、「別荘地」29.0%の順となっています。



○草津の都市イメージは、「ゆったり癒される」が56.9%で最も高く、次いで「自然が豊か」が35.1%、「観光名所が多い」が25.2%の順となっています。

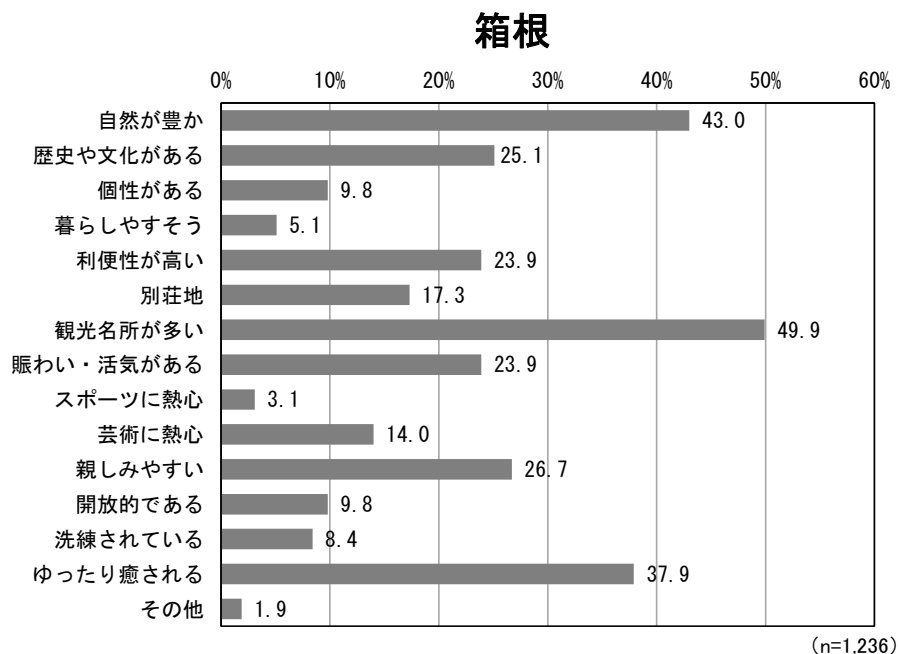


○鎌倉の都市イメージは、「歴史や文化がある」が65.3%で最も高く、次いで「観光名所が多い」が56.7%、「賑わい・活気がある」が31.5%の順となっています。

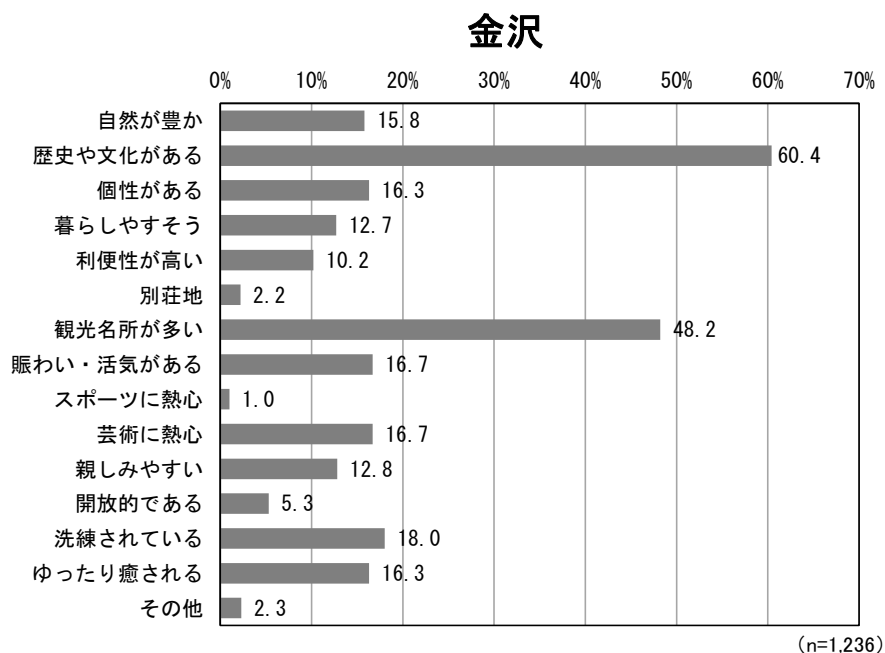


V 町外アンケート

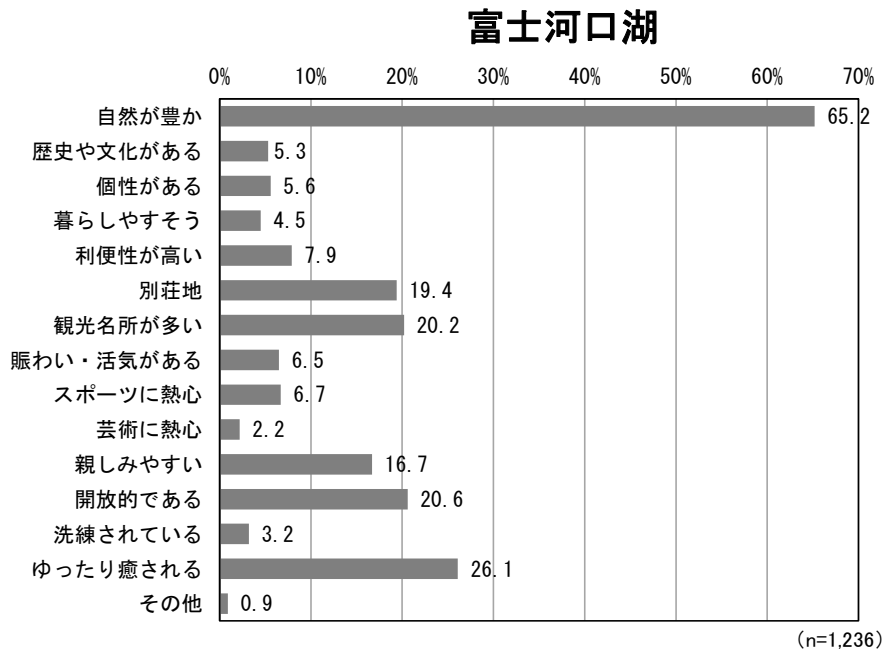
○箱根の都市イメージは、「観光名所が多い」が 49.9%で最も高く、次いで「自然が豊か」が 43.0%、「ゆったり癒される」が 37.9%の順となっています。



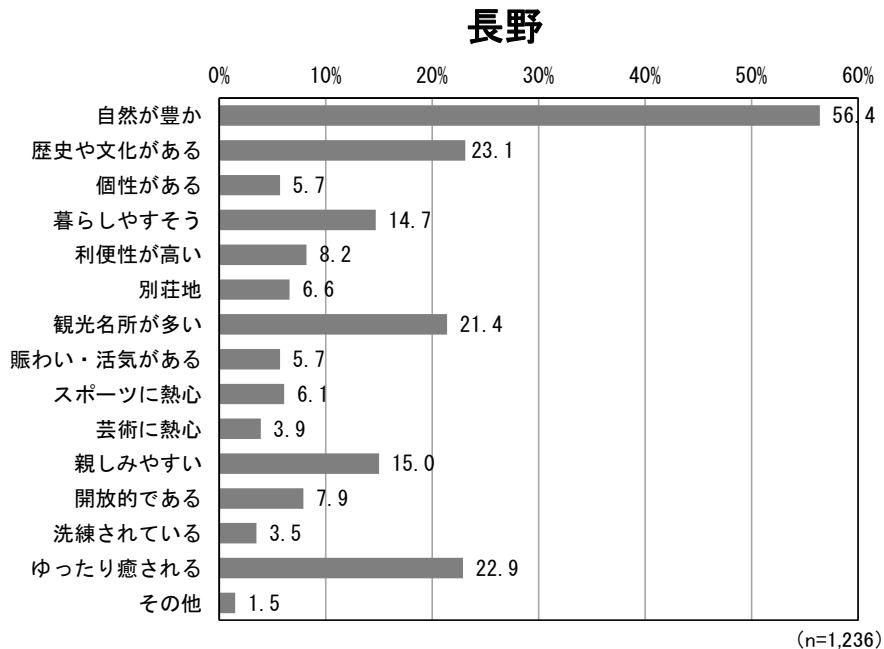
○金沢の都市イメージは、「歴史や文化がある」が 60.4%で最も高く、次いで「観光名所が多い」が 48.2%、「洗練されている」が 18.0%の順となっています。



○富士河口湖の都市イメージは、「自然が豊か」が65.2%で最も高く、次いで「ゆったり癒される」が26.1%、「開放的である」が20.6%の順となっています。

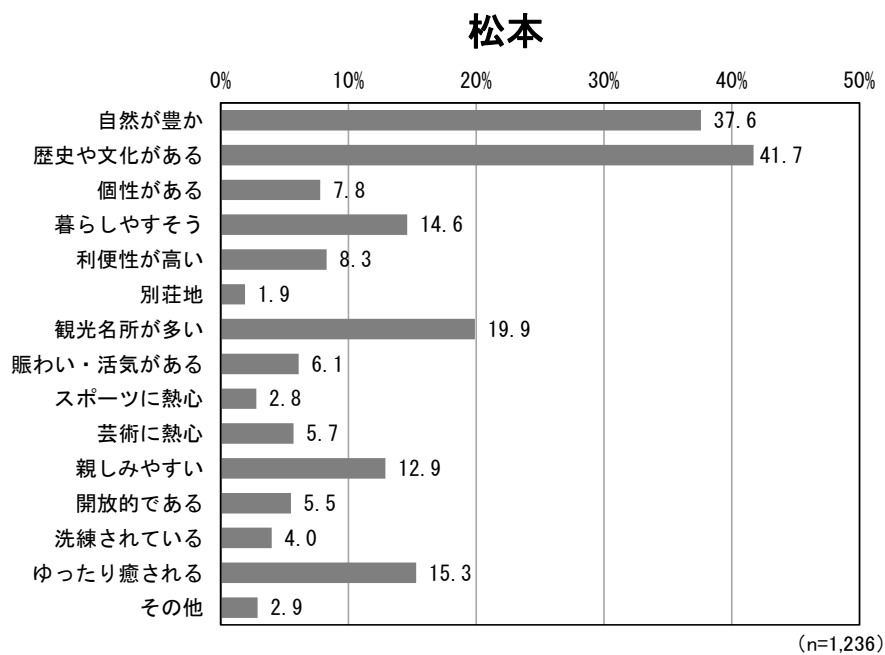


○長野の都市イメージは、「自然が豊か」が56.4%で最も高く、次いで「歴史や文化がある」が23.1%、「ゆったり癒される」が22.9%の順となっています。



V 町外アンケート

○松本の都市イメージは、「歴史や文化がある」が41.7%と最も高く、次いで「自然が豊か」が37.6%、「観光名所が多い」が19.9%の順となっています。

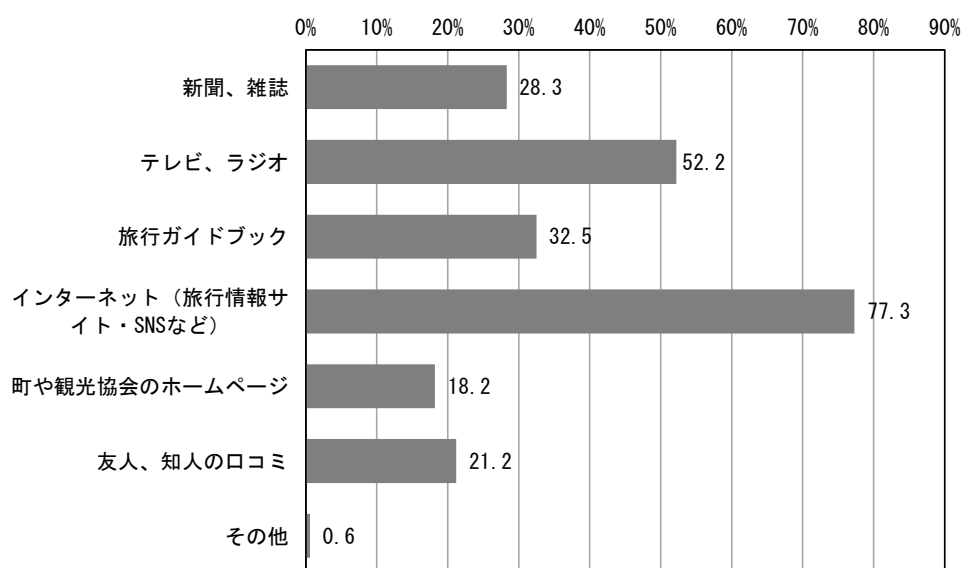


Q5. 都市に関する情報を得る媒体について

【MA】

○都市に関する情報を得る媒体については、「インターネット（旅行情報サイト・SNSなど）」が77.3%で最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」が52.2%、「新聞・雑誌」が28.3%の順となっています。

●年齢区分別にみると、「新聞・雑誌」及び「テレビ・ラジオ」は、年齢が高くなるにつれて、割合が高くなる傾向となっています。



(n=1,236)

		合計	Q5 都市に関する情報を得る媒体について					
			新聞、雑誌	テレビ、ラジオ	旅行ガイドブック	インターネット (旅行情報サイト・SNSなど)	町や観光協会のホームページ	無回答
全体		1236	350	645	402	955	225	0
		100.0	28.3	52.2	32.5	77.3	18.2	0.0
年齢	29歳以下	157	16	57	40	131	16	0
		100.0	10.2	36.3	25.5	83.4	10.2	0.0
	30歳代	255	48	121	92	197	38	0
		100.0	18.8	47.5	36.1	77.3	14.9	0.0
	40歳代	203	48	96	65	154	27	0
		100.0	23.6	47.3	32.0	75.9	13.3	0.0
	50歳代	209	54	102	56	158	35	0
		100.0	25.8	48.8	26.8	75.6	16.7	0.0
	60歳以上	412	184	269	149	315	109	0
		100.0	44.7	65.3	36.2	76.5	26.5	0.0

V 町外アンケート

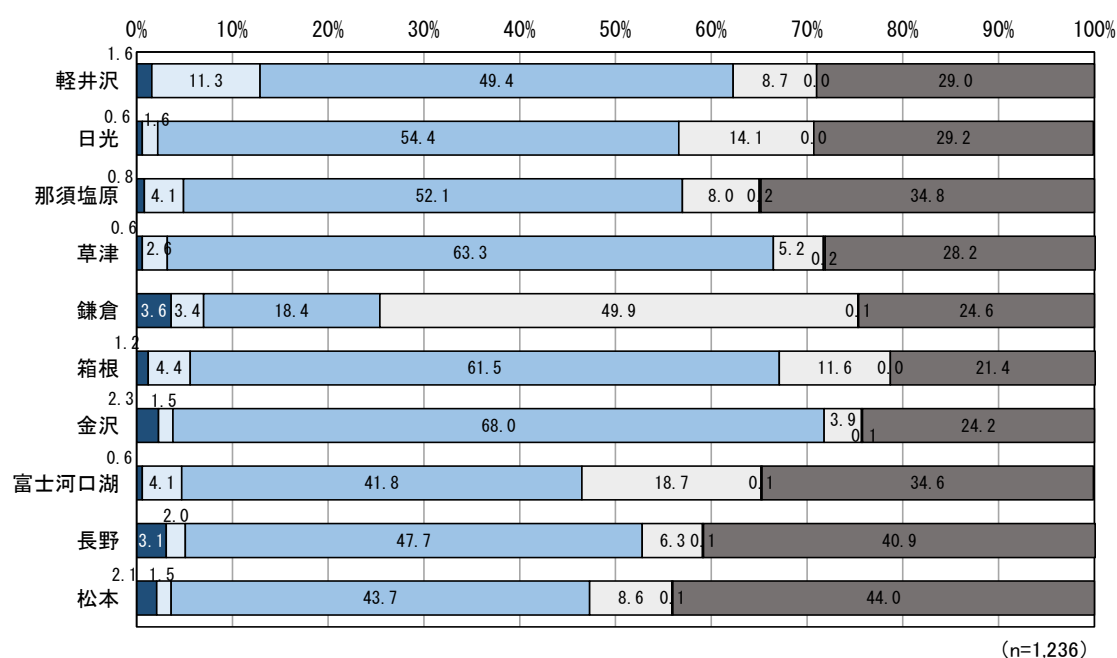
Q6. 都市とのかかわりについて、望まれていること

【SA】

○都市とのかかわりについて、望まれていることは、「別荘を所有したい」は「軽井沢」が最も高く 11.3%となっています。「観光で訪れたい（宿泊）」は、「金沢」が 68.0%で最も高くなっています。「観光で訪れたい（日帰り）」は、「鎌倉」が 49.9%で最も高くなっています。

●年齢区分別では大きな違いはみられません。

●“1年以上前に行った”と比較して、“1年以内に行った”は「別荘を所有したい」が約 15 ポイント高くなっています。



■移住して住みたい	□別荘を所有したい	■観光で訪れたい（宿泊）
□観光で訪れたい（日帰り）	□その他	■特に考えていない

		合計	Q6_都市の関わりについて望まれていること_軽井沢					
			移住して住みたい	別荘を所有したい	観光で訪れたい（宿泊）	観光で訪れたい（日帰り）	その他	特に考えていない
全体		1236	20	140	610	107	0	359
		100.0	1.6	11.3	49.4	8.7	0.0	29.0
年齢	29歳以下	157	3	20	76	12	0	46
		100.0	1.9	12.7	48.4	7.6	0.0	29.3
	30歳代	255	10	31	139	23	0	52
		100.0	3.9	12.2	54.5	9.0	0.0	20.4
	40歳代	203	1	18	108	18	0	58
		100.0	0.5	8.9	53.2	8.9	0.0	28.6
	50歳代	209	1	20	95	19	0	74
		100.0	0.5	9.6	45.5	9.1	0.0	35.4
	60歳以上	412	5	51	192	35	0	129
		100.0	1.2	12.4	46.6	8.5	0.0	31.3

3 軽井沢町について

Q7. 軽井沢町行った主な目的について

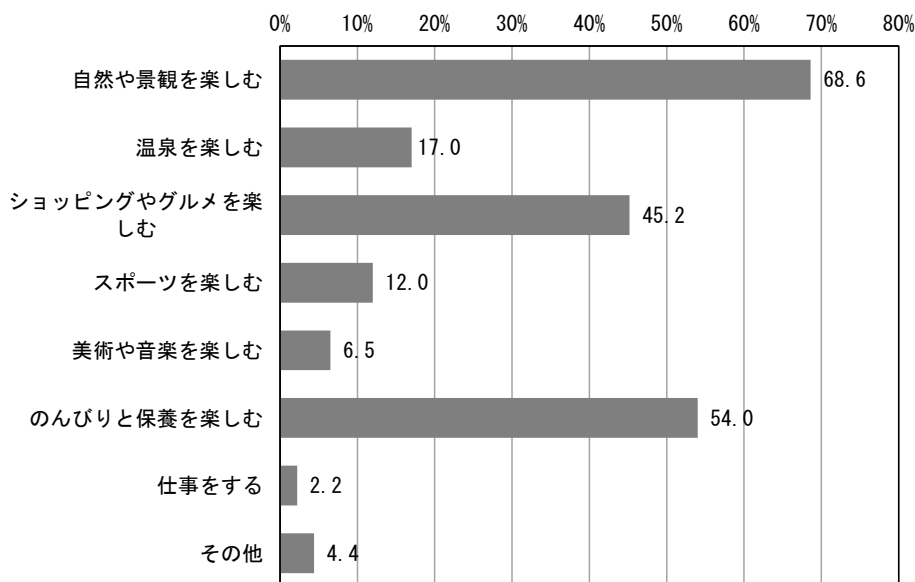
【MA】

Q1で軽井沢に「1年以内・1年以上前に行った」を選んだ方限定

○軽井沢町行った主な目的については、「自然や景観を楽しむ」が68.6%と最も高く、次いで「のんびりと保養を楽しむ」が54.0%、「ショッピングやグルメを楽しむ」が45.2%の順となっています。

●年齢区分別にみると、「温泉を楽しむ」は年齢が低くなるにつれて割合が高くなる傾向となっています。また、「スポーツを楽しむ」は年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向となっています。

●“1年以上前に行った”と比較すると、“1年以内に行った”が「温泉を楽しむ」の割合が17.4ポイント高くなっています。



(n=930)

		Q7 軽井沢町に行った主な目的について								
		合計	自然や景観を楽しむ	温泉を楽しむ	ショッピングやグルメを楽しむ	スポーツを楽しむ	美術や音楽を楽しむ	のんびりと保養を楽しむ	仕事をする	その他
全体		930	638	158	420	112	60	502	20	41
		100.0	68.6	17.0	45.2	12.0	6.5	54.0	2.2	4.4
年齢	29歳以下	74	46	20	39	5	2	39	2	5
		100.0	62.2	27.0	52.7	6.8	2.7	52.7	2.7	6.8
	30歳代	180	126	45	101	10	14	82	3	8
		100.0	70.0	25.0	56.1	5.6	7.8	45.6	1.7	4.4
	40歳代	142	89	20	76	15	9	69	1	6
		100.0	62.7	14.1	53.5	10.6	6.3	48.6	0.7	4.2
	50歳代	165	104	27	72	28	12	93	4	5
		100.0	63.0	16.4	43.6	17.0	7.3	56.4	2.4	3.0
	60歳以上	369	273	46	132	54	23	219	10	17
		100.0	74.0	12.5	35.8	14.6	6.2	59.3	2.7	4.6

V 町外アンケート

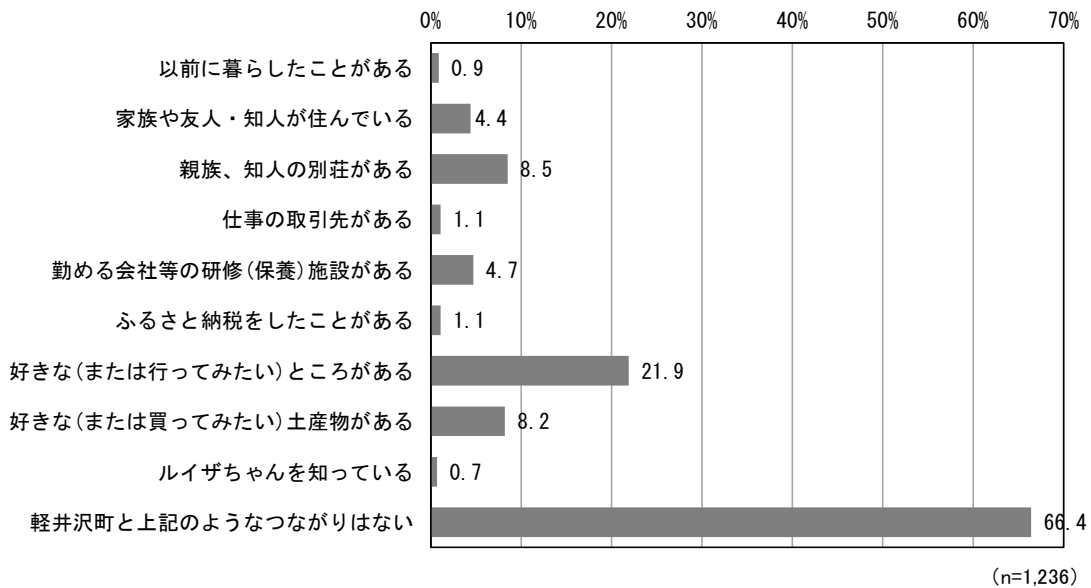
		合計	Q7 軽井沢町に行った主な目的について								
			自然や景観を楽しむ	温泉を楽しむ	ショッピングやグルメを楽しむ	スポーツを楽しむ	美術や音楽を楽しむ	のんびりと保養を楽しむ	仕事をする	その他	無回答
全体		930 100.0	638 68.6	158 17.0	420 45.2	112 12.0	60 6.5	502 54.0	20 2.2	41 4.4	0 0.0
Q1_行ったことがある都市_軽井沢	行ったことがない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1年以内に行った	105 100.0	68 64.8	34 32.4	64 61.0	10 9.5	8 7.6	57 54.3	3 2.9	6 5.7	0 0.0
	1年以上前に行った	825 100.0	570 69.1	124 15.0	356 43.2	102 12.4	52 6.3	445 53.9	17 2.1	35 4.2	0 0.0
Q2_宿泊もしくは日帰り_軽井沢	宿泊	729 100.0	504 69.1	137 18.8	323 44.3	92 12.6	43 5.9	432 59.3	13 1.8	30 4.1	0 0.0
	日帰り	201 100.0	134 66.7	21 10.4	97 48.3	20 10.0	17 8.5	70 34.8	7 3.5	11 5.5	0 0.0

Q8. 軽井沢町とのつながりについて

【MA】

○軽井沢町とのつながりについては、「軽井沢町と上記のようなつながりはない」が 66.4%で最も高く、次いで「好きな（または行ってみたい）ところがある」が 21.9%、「親族、知人の別荘がある」が 8.5%の順となっています。

- 年齢区分別にみると、「好きな（または行ってみたい）ところがある」は年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向となっています。
- “1年以上前に行った”と比較すると、“1年以内に行った”では、「好きな（または行ってみたい）ところがある」が 25 ポイント以上高くなっています。



		Q8. 軽井沢町とのつながりについて										軽井沢町と上記のようなつながりはない	無回答
		合計	以前に暮らしたことがある	家族や友人・知人が住んでいる	親族、知人の別荘がある	仕事の取引先がある	勤める会社等の研修(保養)施設がある	ふるさと納税をしたことがある	好きな(または行ってみたい)ところがある	好きな(または買ってみたい)土産物がある	ルイザちゃんを知っている		
全体		1236	11	54	105	14	58	14	271	101	9	821	0
		100.0	0.9	4.4	8.5	1.1	4.7	1.1	21.9	8.2	0.7	66.4	0.0
年齢	29歳以下	157	0	5	9	0	4	2	22	3	0	121	0
		100.0	0.0	3.2	5.7	0.0	2.5	1.3	14.0	1.9	0.0	77.1	0.0
	30歳代	255	5	13	17	6	11	6	57	26	4	163	0
		100.0	2.0	5.1	6.7	2.4	4.3	2.4	22.4	10.2	1.6	63.9	0.0
	40歳代	203	0	4	14	0	3	3	43	16	1	146	0
		100.0	0.0	2.0	6.9	0.0	1.5	1.5	21.2	7.9	0.5	71.9	0.0
50歳代		209	1	8	19	3	7	2	43	13	1	141	0
		100.0	0.5	3.8	9.1	1.4	3.3	1.0	20.6	6.2	0.5	67.5	0.0
60歳以上		412	5	24	46	5	33	1	106	43	3	250	0
		100.0	1.2	5.8	11.2	1.2	8.0	0.2	25.7	10.4	0.7	60.7	0.0

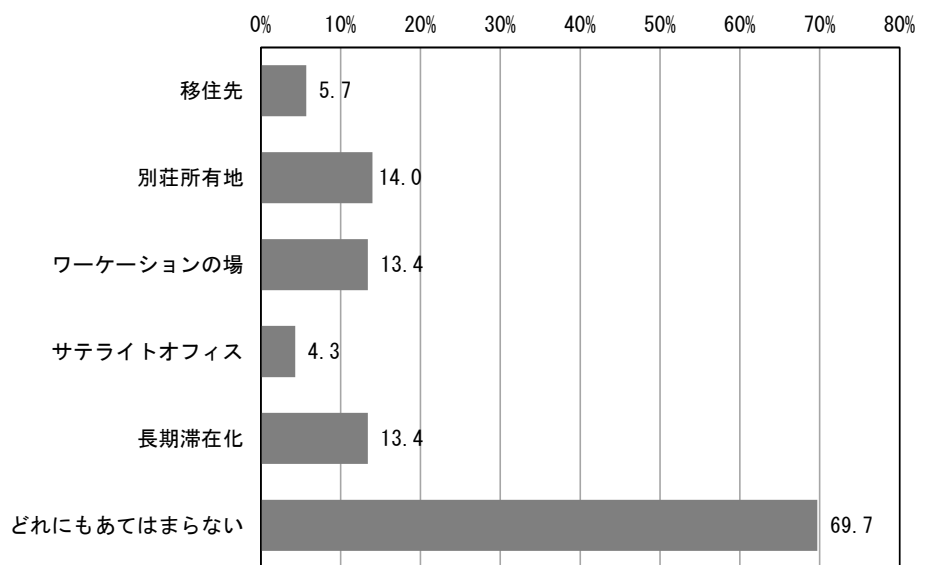
		Q8. 軽井沢町とのつながりについて										軽井沢町と上記のようなつながりはない	無回答
		合計	以前に暮らしたことがある	家族や友人・知人が住んでいる	親族、知人の別荘がある	仕事の取引先がある	勤める会社等の研修(保養)施設がある	ふるさと納税をしたことがある	好きな(または行ってみたい)ところがある	好きな(または買ってみたい)土産物がある	ルイザちゃんを知っている		
全体		1236	11	54	105	14	58	14	271	101	9	821	0
		100.0	0.9	4.4	8.5	1.1	4.7	1.1	21.9	8.2	0.7	66.4	0.0
Q1_行ったことがある都市 軽井沢	行ったことがない	306	0	6	4	1	4	1	17	6	0	274	0
		100.0	0.0	2.0	1.3	0.3	1.3	0.3	5.6	2.0	0.0	89.5	0.0
	1年以内に行った	105	3	15	21	2	8	3	56	23	0	30	0
		100.0	2.9	14.3	20.0	1.9	7.6	2.9	53.3	21.9	0.0	28.6	0.0
	1年以上前に行った	825	8	33	80	11	46	10	198	72	9	517	0
		100.0	1.0	4.0	9.7	1.3	5.6	1.2	24.0	8.7	1.1	62.7	0.0

V 町外アンケート

Q9. 今後の軽井沢町の可能性について

【MA】

- 今後の軽井沢町の可能性については、「どれにもあてはまらない」が 69.7%で最も高く、次いで「別荘所有地」が 14.0%、「ワーケーションの場」が 13.4%の順となっています。
- 年齢区分別にみると、「別荘所有地」及び「ワーケーションの場」が他の年齢区分と比べて割合が高く、ともに 20.4%となっています。
- “1年以上前に行った”と比較すると、“1年以内に行った”では、「別荘所有地」、「ワーケーションの場」及び「長期滞在化」で 10 ポイント以上割合が高くなっています。



(n=1,236)

		合計	Q9 今後の軽井沢町の可能性について						
			移住先	別荘所有地	ワーケーションの場	サテライトオフィス	長期滞在化	どれにもあてはまらない	無回答
全体		1236 100.0	70 5.7	173 14.0	166 13.4	53 4.3	166 13.4	861 69.7	0 0.0
年齢	29歳以下	157 100.0	8 5.1	26 16.6	19 12.1	3 1.9	13 8.3	115 73.2	0 0.0
	30歳代	255 100.0	24 9.4	52 20.4	52 20.4	17 6.7	36 14.1	152 59.6	0 0.0
	40歳代	203 100.0	8 3.9	26 12.8	23 11.3	10 4.9	21 10.3	149 73.4	0 0.0
	50歳代	209 100.0	11 5.3	25 12.0	28 13.4	9 4.3	25 12.0	154 73.7	0 0.0
	60歳以上	412 100.0	19 4.6	44 10.7	44 10.7	14 3.4	71 17.2	291 70.6	0 0.0

		合計	Q9 今後の軽井沢町の可能性について						
			移住先	別荘所有地	ワーケーションの場	サテライトオフィス	長期滞在化	どれにもあてはまらない	無回答
全体		1236 100.0	70 5.7	173 14.0	166 13.4	53 4.3	166 13.4	861 69.7	0 0.0
Q1_行ったことがある都市_軽井沢	行ったことがない	306 100.0	15 4.9	31 10.1	29 9.5	9 2.9	24 7.8	238 77.8	0 0.0
	1年以内に行った	105 100.0	13 12.4	33 31.4	31 29.5	10 9.5	28 26.7	41 39.0	0 0.0
	1年以上前に行った	825 100.0	42 5.1	109 13.2	106 12.8	34 4.1	114 13.8	582 70.5	0 0.0

